

# Color Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

**XL-C2000** ページプリンタ

オンラインマニュアル

# はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-C2000をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合の設定や操作方法、およびカラーデータを印刷するときの色の調整方法について説明しています。また、『XL-C2000取扱説明書』「第4章 外部との接続 ネットワーク経由で接続する」には、ネットワークにつなげる前の注意事項が記載されています。これらをよくお読みになったうえで、本プリンタをご利用ください。

なお、本プリンタの取り扱いについては、『XL-C2000取扱説明書』「製品を安全に使用していただくために」をかならずお読みください。

2003年8月

## 本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows® NT Workstation Version 4.0	Windows NT4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer
Netscape® Communicator	Netscape
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

# 本書の構成

本書は、取扱説明書にしたがってプリンタを使用可能な状態にし、ネットワークプリンタとして使用する場合の設定や機能、および色の調整を行うソフトウェアについて説明しています。

本書には、次の内容が記載されています。

目 次	内 容
第1章 ネットワークプリンタの設定	プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。
第2章 プリンタドライバのインストール	パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定	ネットワークソフトウェアのインストール方法や使用方法について説明します。
第4章 サーバを経由したネットワーク印刷の設定	プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。
第5章 Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)	Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service) の使用環境や利用方法について説明します。
第6章 カラーデータ印刷時の色の設定	プリンタで出力する色を調整する方法について説明します。
第7章 こんなときには	本プリンタをネットワークプリンタとして使用しているとき、および色の調整を行うソフトウェアを使用しているときに発生するトラブルとその対処方法を説明しています。

# 本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。



本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。  
操作する前に必ずお読みください。



本プリンタを使う際に参考にさせていただきたい内容を説明しています。  
必要に応じてお読みください。



参照するマニュアルの種類と参照先を記載しています。



オンラインマニュアル内の参照先を示します。



# ネットワーク接続の設定手順の概要

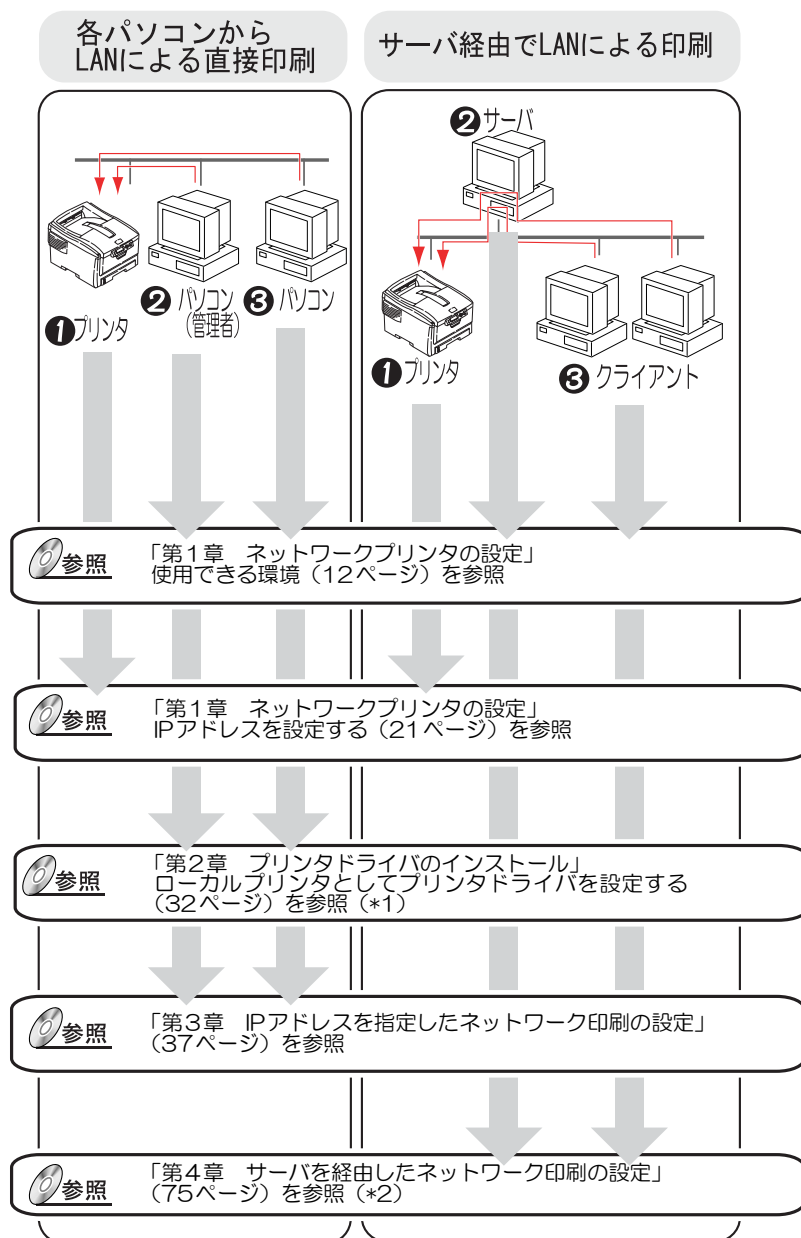
プリンタの設置が終わったら、パソコンまたはLANと接続し、印刷するために必要な設定を行います。

本書では、XL-C2000をLAN経由でパソコンと接続し、印刷するために必要な設定の手順について説明します。

プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

設定は①プリンタ②サーバまたはパソコン(管理者)③クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

## ▶ プリンタLANケーブルで接続するとき



\*1 Windows XP/Windows Server 2003環境でのインストール方法はローカル接続時と異なります。

他のOS環境でのインストール方法は、『XL-C2000取扱説明書』  
「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照してください。

\*2 『XL-C2000取扱説明書』に記載されている手順と同じ内容です。

# 目 次

はじめに .....	2
本文中の略語について .....	2
本書の構成 .....	3
本書の表記 .....	4
ネットワーク接続の設定手順の概要 .....	5

## 第1章 ネットワークプリンタの設定 ..... 11

使用できる環境.....	12
ネットワークに接続するときの注意事項 .....	13
ネットワーク環境と接続例について .....	16
ネットワークに接続する .....	18
LANケーブルを接続する .....	18
ネットワーク機能を初期化する.....	19
設定内容の一覧を印刷する .....	20
IPアドレスを設定する .....	21
設定の流れ .....	21
アドレスを設定する.....	23
設定内容の一覧を印刷する .....	27
アドレス以外を設定する .....	28

## 第2章 プリンタドライバのインストール ... 31

ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する .....	32
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 .....	32
Windows XP/Windows Server 2003の場合 .....	34

## 第3章 IPアドレスを指定した ネットワーク印刷の設定 ..... 37

ネットワーク環境で使用する .....	38
プリンタ側の設定を行う .....	39
IPアドレスの設定を行う .....	40
プリンタの設定を確認する (設定内容一覧の印刷) .....	41
パソコン側の設定を行う .....	42
TCP/IPプロトコルを設定する .....	42
プリンタポートを設定する .....	51
FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合 .....	52
FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合 .....	69

## 第4章 サーバを経由した ネットワーク印刷の設定 ..... 75

Windows 95/98/Meのとき .....	76
サーバ側の設定 .....	76
クライアント側の設定 .....	78
Windows NT4.0のとき .....	80
サーバ側の設定 .....	80
クライアント側の設定 .....	83
Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき .....	85
サーバ側の設定 .....	85
クライアント側の設定 .....	89

## 第5章 Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service) .. 93

Color Printia LASER Internet Serviceの概要 .....	94
Color Printia LASER Internet Serviceの画面構成 .....	96
Color Printia LASER Internet Serviceを利用する ..	97
ブラウザを設定する .....	97
プロキシサーバを設定する .....	99
プリンタ側の設定を行う .....	101
Color Printia LASER Internet Serviceについて 設定できる項目 .....	101

Color Printia LASER Internet Serviceを使用する ....	105
Color Printia LASER Internet Serviceの機能一覧 ....	107
設定を変更する .....	129

## 第6章 カラーデータ印刷時の色の設定 .... 141

カラー調整ユーティリティについて .....	142
カラー調整を行う .....	144
色見本印刷ユーティリティについて .....	154
色見本を印刷する .....	156

## 第7章 こんなときには ..... 161

プリンタ設置時のトラブル .....	162
プリンタ使用時のトラブル .....	166
共通のトラブル .....	166
FUJITSU LPRユーティリティ使用時のトラブル .....	171
LPRポート使用時のトラブル .....	173
Color Printia LASER Internet Service	
使用時のトラブル .....	174
メールの受信時のトラブル .....	176
エラー情報 .....	177
メッセージ表 .....	178
カラーデータ印刷時のトラブル .....	181
カラー調整ユーティリティ使用時のトラブル .....	181
色見本印刷ユーティリティ使用時のトラブル .....	181
ネットワーク用語の解説 .....	182

## 索引 ..... 185



# 第1章

## ネットワークプリンタの設定

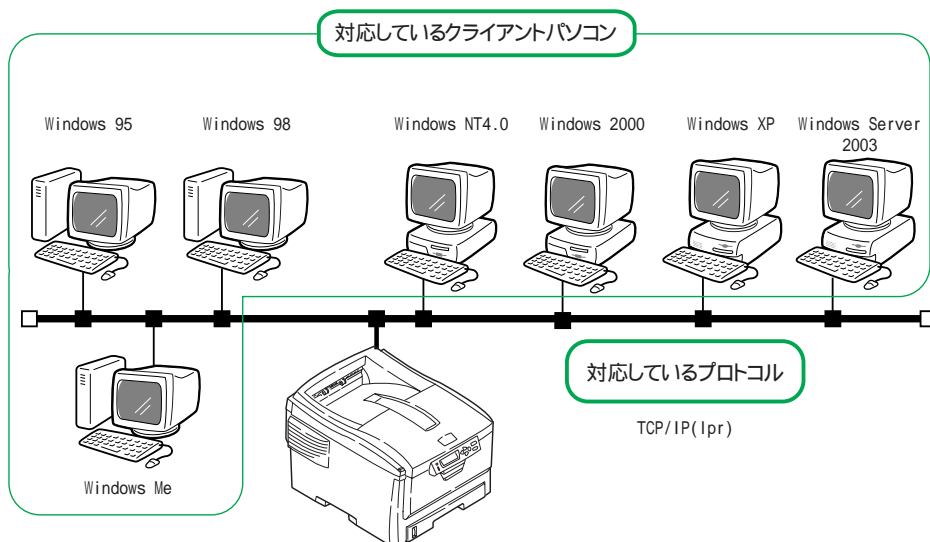
この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。

使用できる環境 .....	12
ネットワークに接続するときの注意事項 .....	13
ネットワーク環境と接続例について .....	16
ネットワークに接続する .....	18
LANケーブルを接続する .....	18
ネットワーク機能を初期化する .....	19
設定内容の一覧を印刷する .....	20
IPアドレスを設定する .....	21
設定の流れ .....	21
アドレスを設定する .....	23
設定内容の一覧を印刷する .....	27
アドレス以外を設定する .....	28

## 使用できる環境

本プリンタにLANケーブルを接続することで、ネットワークプリンタとして使用できるようになります。

本プリンタはマルチプロトコルに対応しており、異なったネットワーク環境でも1台のプリンタを共有できます。



また、インターネットを使用して、Web画面からプリンタの状態を確認したり、プリンタの各種設定を行うことができます。この機能を「Color Printia LASER Internet Service (カラープリンティアレーザインターネットサービス)」と呼びます。



参照

「第5章 Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」(93 ページ) を参照



ガイド

TCP/IP環境のプリンタのIPアドレスをDHCPサーバで管理できます。



お願い

DHCPで運用する場合には、IPアドレスが変更されることがあります。定期的にIPアドレスを確認して使用してください。



## ▼ ネットワークに接続するときの注意事項

- プリンタ LAN ケーブルはツイストペアケーブルを使用してください。
- 100BASE-TX対応のハブユニットに接続して100Mbpsでご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5のツイストペアケーブルを使用してください。
- プリンタLANケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。
- 通常は、オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK MENU」 - 「HUB LINK SETTING」を〔AUTO NEGOTIATE〕にしてプリンタLANケーブルとハブユニットを接続してください。工場出荷時は、「NETWORK MENU」 - 「HUB LINK SETTING」は〔AUTO NEGOTIATE〕なので、変更は不要です。

ただし、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のEthernetタイプを同じ規格に設定してください。

本プリンタは以下のEthernetタイプを選ぶことができます。

- ・ 自動検出 : 「AUTO NEGOTIATE」
- ・ 100Mbps FULL : 「100BASE-TX FULL」
- ・ 100Mbps HALF : 「100BASE-TX HALF」
- ・ 10Mbps FULL : 「10BASE-T FULL」
- ・ 10Mbps HALF : 「10BASE-T HALF」



参照

設定方法については、『XL-C2000 取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照してください。



お願い

「HUB LINK SETTING」の設定を変更した場合は、オペレータパネルに「ネットワークショキカチュウ」が表示され、システムの再立ち上げが完了したことを確認してください。その後、必ずプリンタの電源を一旦切り、再び投入してください。

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

- 10Mbps(10BASE-T) のハブユニットと接続する場合は、次の点にご注意ください。

ハブユニットの規格を取扱説明書にて確認し、本プリンタのEthernetタイプを「自動 (AUTO NEGOTIATE)」、「10BASE-T FULL」または「10BASE-T HALF」に設定してください。

「100BASE-TX FULL」または「100BASE-TX HALF」にすると、ファイルサーバのファイルが参照できない等のネットワーク障害の原因となります。ネットワーク障害が発生した際には、下記手順にしたがってネットワーク障害を解消してください。

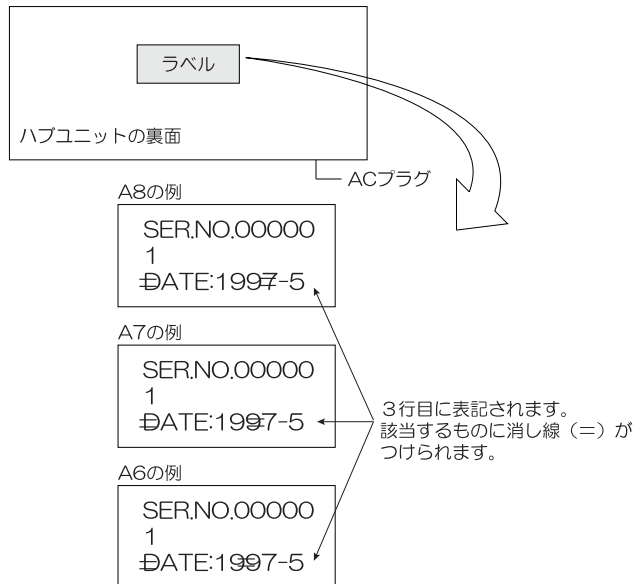
- 1 プリンタLANケーブルを抜いてください。  
(ネットワーク障害は解消されます。)
- 2 本プリンタのEthernetタイプを正しく設定してください。
- 3 プリンタの電源スイッチを〔O〕側に倒して、電源を切ってください。
- 4 プリンタLANケーブルを接続してください。
- 5 プリンタの電源スイッチを〔I〕側に倒して、電源を入れてください。  
(ネットワーク障害は解消され、本プリンタも使用できます。)

- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ・ ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ・ ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、『XL-C2000取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

ラベルの位置…ハブユニットの裏面の次に示す場所にあります。



- 本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう1台のパソコンをパラレルポートまたはUSBポートに接続することができます。パラレルポートまたはUSBポートとLANポートの両方にプリンタを接続した場合は、次の点にご注意ください。
  - ・ ポートは自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの切り替えに時間がかかる場合があります。
  - ・ 片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。2つのポートを同時に使用し、パソコンの画面にエラー画面などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。

## ▼ ネットワーク環境と接続例について

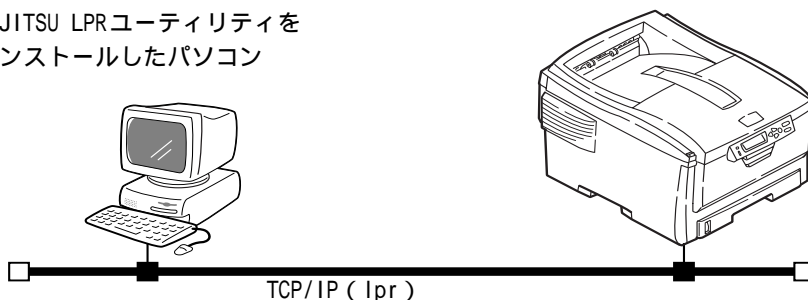
本プリンタを使用できるネットワーク環境をプロトコル別に紹介します。

### FUJITSU LPRユーティリティ

FUJITSU LPRユーティリティとは、パソコンからネットワーク上のプリンタに、サーバなどを経由しないで印刷データを直接送信して印刷するためのソフトウェアです。

この場合、プリンタと使用するパソコンにIPアドレスを設定する必要があります。

FUJITSU LPRユーティリティを  
インストールしたパソコン



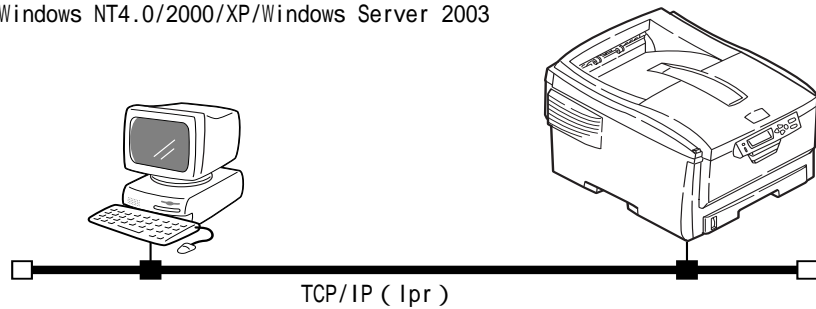
参照

設置手順は、「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」(37 ページ)を参照してください。

## TCP/IP (Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003)

プリンタは、TCP/IP (lpr) プロトコルをサポートしているため、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で動作するパソコンから、LPRで印刷データを直接送信して、印刷できます。この場合は、プリンタとWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で動作するパソコンに、IPアドレスを設定する必要があります。

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003



設置手順は、「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」(37 ページ) を参照してください。

# ネットワークに接続する

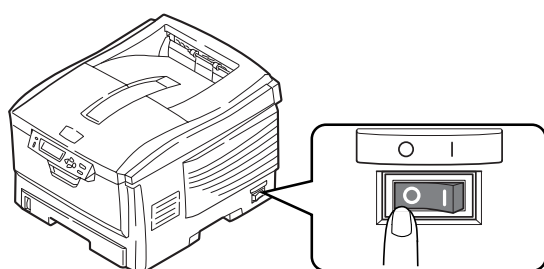
ここではネットワーク環境で印刷するために必要な設定について説明します。

## LANケーブルを接続する

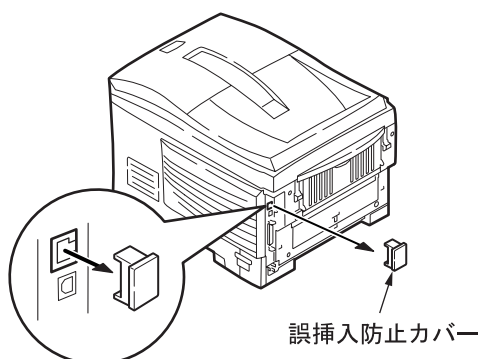
使用するネットワーク（HUB）に接続します。



ネットワークに接続する時には、「ネットワークに接続するときの注意事項」（13 ページ）を参照してください。



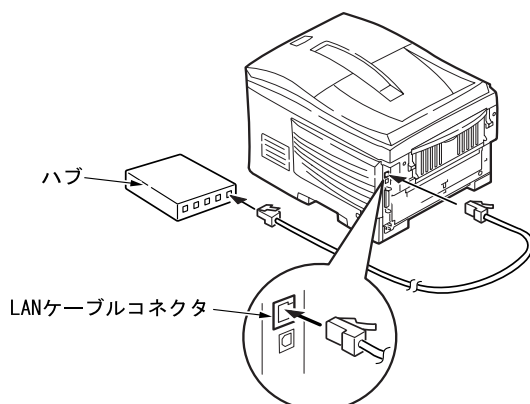
- 1 プリントラ本体右側面にある電源スイッチの〔 〕側を押す  
電源が切れます。



- 2 プリントラ背面の LAN ケーブルコネクタに挿入されているカバーを外す

### ガイド

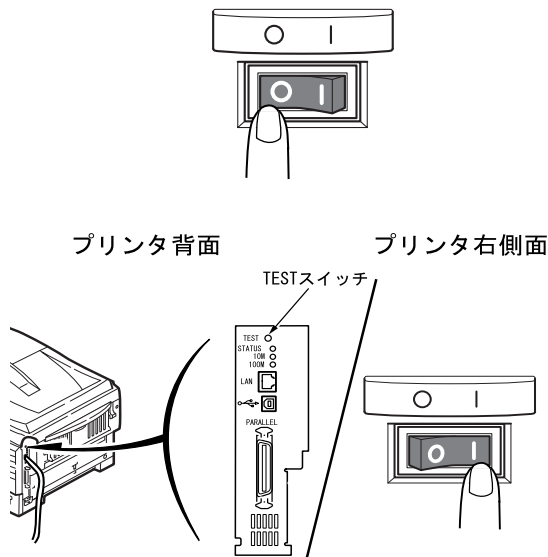
手順2で外したカバーは捨てずに保管し、ネットワークに接続しないでプリントラを使用する場合に取り付けてください。



- 3 LANケーブルをプリントラの LAN ケーブルコネクタに差し込む
- 4 LANケーブルをネットワークに接続されているハブに差し込む

## ▼ ネットワーク機能を初期化する

ネットワーク機能を初期化します。



**1** プリンタの電源が切れていることを確認する  
電源スイッチが〔O〕側に倒れていることを確認します。

**2** ボールペンの先などの細い棒でプリンタ背面のTESTスイッチを押したままプリンタの電源を入れ、〔オンライン〕と表示されたらTESTスイッチから棒を離す

約30秒間、プリンタは自動的に初期化のための準備をします。

### ◆ ガイド

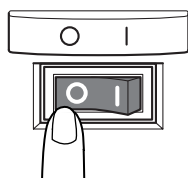
ネットワーク機能の初期化やネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても2～3分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。

準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。

システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information (2ページ目) が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、ネットワーク機能を初期化してください。プリンタは問題なく復旧します。

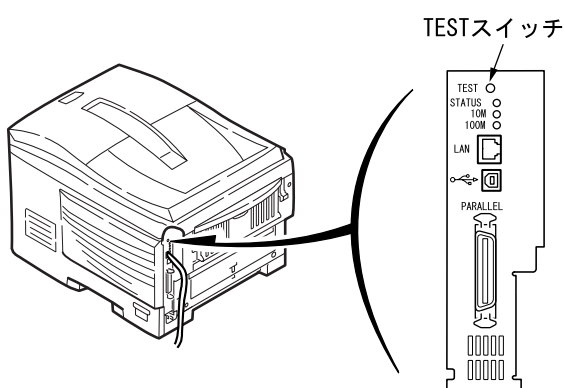
## ▼ 設定内容の一覧を印刷する

プリンタに取り付けたオプション品の情報など現在のプリンタに設定されている内容を一覧で印刷します。

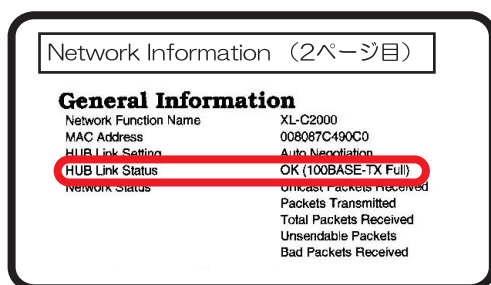


- 1 プリンタ本体右側面にある電源スイッチが入っていることを確認する

電源スイッチが「I」側に倒れていることを確認します。



- 2 ボールペンの先などの細い棒でプリンタ背面のTESTスイッチを3秒以上押し続けてから棒を離す  
プリンタの設定内容が一覧で印刷されます。



NetWork Information (2ページ目) の「General Information」 - 「Hub Link Status」が「OK(\*\*\*)」と記載されていることを確認してください。

### ガイド

「General Information」 - 「Hub Link Status」が「Link Fail」の場合は、ネットワークに接続できていません。「第7章 こんなときには」 - 「プリンタ設置時のトラブル」(162 ページ) を参照し、ネットワークの接続を完了してください。

### ガイド

オペレータパネルの操作により設定内容の一覧を印刷する場合は、『XL-C2000取扱説明書』「第8章 日常のメンテナンス」「設定内容を印刷する」を参照してください。



# IPアドレスを設定する

ここでは、IPアドレスの設定方法について説明します。

ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上にDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を起動しているWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003ホストがある場合、本プリンタはこれらのアドレス情報をDHCPサーバから取得できます。

なお、工場出荷時の設定では、これらのアドレスをDHCPサーバから自動的に取得するようになっています。

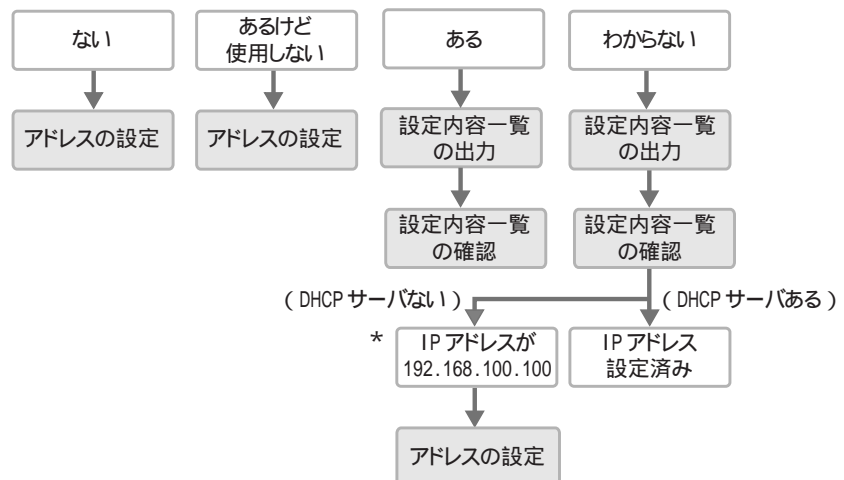
## ▼ 設定の流れ

DHCPサーバがあるかどうか分からないときは、ここで説明する手順にしたがって、DHCPサーバの有無を確認してください。DHCPサーバがあった場合は、IPアドレスは自動的に設定されるのでIPアドレスの入力は不要です。なかった場合は、「アドレスを設定する」(23 ページ)を参照し、IPアドレスを設定してください。

### DHCPサーバの確認

スタート

DHCPサーバがありますか？





お願い

\* でIPアドレスが〔192.168.100.100〕になった場合は、DHCPサーバがない状態を示しています。設定可能なIPアドレスを確認し、設定し直してください。

また、ネットワーク接続に失敗した場合もIPアドレスが〔192.168.100.100〕になります。このようなときは、「第7章 こんなときには」-「プリンタ設置時のトラブル」(162 ページ)を参照し、ネットワークに接続してください。



ガイド

DHCP環境やIPアドレスについて不明な点は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

## 設定内容一覧の出力

### 1 設定内容の一覧を印刷する



参照

「設定内容の一覧を印刷する」(20 ページ)を参照

### 2 設定内容一覧1枚目の〔NETWORK MENU〕項目にある「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GEATEWAY ADDRESS」のアドレスを確認する



参照

設定内容一覧の確認方法については、次の「設定内容一覧の確認」を参照してください。

## 設定内容一覧の確認

#### ▶ TCP/IPアドレスが取得されていない場合

DHCPサーバは存在しません。「アドレスを設定する」(23 ページ)を参照し、IPアドレスを設定してください。

#### ▶ TCP/IPにアドレスが取得されている場合

DHCPサーバが稼動しているので、DHCP環境を使用することをお勧めします。本プリンタのIPアドレスは、DHCPサーバが設定します。

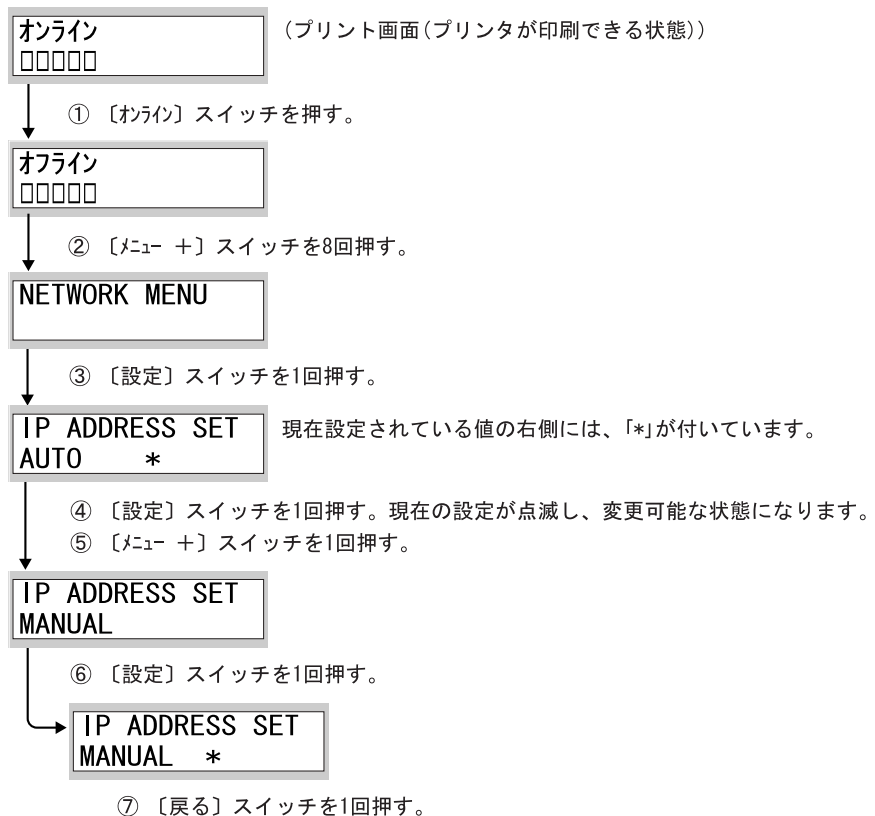
## ▼ アドレスを設定する

ここでは、オペレータパネルでIPアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定も必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。



オペレータパネルの操作方法については、『XL-C2000 取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照してください。

### IPアドレスの取得方法を【MANUAL】に設定



続いてIPアドレスの設定を行います。

## IPアドレスの設定



IPアドレスは、小数点で区切られた4つの数値(10進数)を設定します。それぞれの10進数は、0～255までの値で設定します。

前ページから

⑧ [メニュー +] スイッチを1回押す。

IP ADDRESS

\*\*\*. \*\*\*. \*\*\*. \*\*\*

ここでの設定例

- ・ IPアドレス 「192.168.1.100」
- ・ サブネットマスク 「255.255.255.0」
- ・ ゲートウェイアドレス 「192.168.1.254」

⑨ [設定] スイッチを1回押す。IPアドレス1の設定が点滅し、変更可能な状態になります。

⑩ [メニュー +] または [メニュー -] スイッチを、目的の数値(設定例: 192)になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。

IP ADDRESS

192. \*\*\*. \*\*\*. \*\*\*

⑪ [設定] スイッチを1回押す。IPアドレス2の設定が点滅し、変更可能な状態になります。

⑫ [メニュー +] または [メニュー -] スイッチを、目的の数値(設定例: 168)になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。

IP ADDRESS

192. 168. \*\*\*. \*\*\*

⑬ [設定] スイッチを1回押す。IPアドレス3の設定が点滅し、変更可能な状態になります。

⑭ [メニュー +] または [メニュー -] スイッチを、目的の数値(設定例: 1)になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。

IP ADDRESS

192. 168. 001. \*\*\*

⑮ [設定] スイッチを1回押す。IPアドレス4の設定が点滅します。(変更可能状態)

⑯ [メニュー +] または [メニュー -] スイッチを、目的の数値(設定例: 1)になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。

IP ADDRESS

192. 168. 001. 100

⑰ [戻る] スイッチを1回押す。(IPアドレス: 192.168.1.100を設定)

続いてサブネットマスクの設定を行います。



途中で、どの階層のメニューが表示されているのかわからなくなった場合は、『XL-C2000 取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」の「共通メニュー画面の設定一覧」を参照して、メニュー全体の構成を確認してください。

## サブネットマスクの設定

前ページから

- ↓ ⑱ [メニュー +] スイッチを1回押す。(IPアドレスの設定時と同様)

SUBNET MASK  
\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*

- ↓ ⑲ [設定] スイッチを1回押す。サブネットマスク1の設定が点滅し、変更可能な状態になります。

- ⑳ [メニュー +] または [メニュー -] スイッチを、目的の数値(設定例: 255)になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。

SUBNET MASK  
255.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*

- ㉑ サブネットマスク2~4についてもIPアドレスの設定時と同様に設定する。  
(サブネットマスク: 255. 255. 255. 0を設定)
- ㉒ [戻る] スイッチを1回押す。

続いてゲートウェイアドレスの設定を行います。

## ゲートウェイアドレスの設定

前ページから

- ↓ ②③ 「メニュー」スイッチを1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

GATEWAY ADDRESS  
\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*

- ↓ ②④ 「設定」スイッチを1回押す。サブネットマスク1の設定が点滅し、変更可能な状態になります。  
②⑤ 「メニュー」または「メニュー」スイッチを、目的の数値（設定例：255）になるまで何回か押す。  
このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。

GATEWAY ADDRESS  
192.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*

- ②⑥ ゲートウェイアドレス2～4についてもIPアドレスの設定時と同様に設定する。  
（ゲートウェイアドレス：192.168.1.254を設定）  
②⑦ 「戻る」スイッチを1回押す。

- ②⑧ ここまでの設定ができたなら、「オンライン」スイッチを押し、共通メニュー画面を終了させる。パネルは「オンライン」を表示します。

オンライン  
□□□□

- ↓ ②⑨ 約30秒間、自動的にプリンタは初期化のための準備を行います。

ネットワーク ショキカチュウ  
シバ ラク オマチクダサイ

- ↓ ③⑩ 約1分間、自動的にプリンタは初期化、設定変更およびシステムの再立ち上げを行います。

オンライン  
□□□□



プリンタのネットワーク情報の初期化や設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには「オンライン」と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても2～3分間オペレータパネルに「オンライン」と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。準備が完了するとオペレータパネルの表示は「ネットワーク ショキカチュウ」に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。

システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information (2ページ目) が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタのネットワーク情報を初期化してください。

## ▼ 設定内容の一覧を印刷する

設定内容の一覧を印刷し、IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。



確認方法については「設定内容の一覧を印刷する」(20 ページ) を参照してください。

# アドレス以外を設定する

オペレータパネルの操作によりIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス以外に下記4項目のネットワークプリンタの設定が行えます。必要な項目を設定してください。



参照

オペレータパネルの操作方法については、『XL-C2000 取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照してください。

カテゴリ	オペレータパネルの表示		内容	備考
	設定項目 (上段)	設定項目 (下段)		
NETWORK MENU	WEB	ENABLE (工場出荷時)	Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service) の有効/無効を設定します。Webサーバ機能を使用されないときに「DISABLE」にしてください。	参照 「第5章 Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」(93 ページ) 参照
		DISABLE		
	SNMP	ENABLE (工場出荷時) DISABLE	SNMPエージェントの有効/無効を設定します。SNMPエージェント (SNMPトラップ発行等) を使用されないときに「DISABLE」にしてください。	ガイド 「DISABLE」にすると、FUJITSU LPRユーティリティのIPアドレスの検索/設定ができません。
	LAN	NORMAL (工場出荷時) SMALL	LANの規模を設定します。LANに接続されているコンピュータが2、3台の場合、「SMALL」に設定してください。	お願い 「SMALL」に設定した場合、スパニングツリー機能を持つHUBに接続したときに効率よく動作しないことがあります。



カテゴリ	オペレータパネルの表示		内容	備考
	設定項目 (上段)	設定項目 (下段)		
NETWORK MENU	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE (工場出荷時) 100BASE- TX FULL 100BASE- TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブとの接続タイプ（規格）を設定します。通常は〔AUTO NEGOTIATE（工場出荷時設定）〕にしてください。〔AUTO NEGOTIATE〕で接続できない場合に、ハブユニットと同じタイプ（規格）にしてください。	<p>▶ <b>お願い</b></p> <p>「HUB LINK SETTING」の設定変更後に、プリンタの電源を再投入しない場合、ネットワークに接続できないことがあります。</p> <p>「HUB LINK SETTING」の設定変更後は、かならず電源を再投入してください。</p>



ネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても2～3分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information（2ページ目）が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタのネットワーク情報を初期化してください。プリンタは問題なく復旧します。



# 第2章

## プリンタドライバのインストール



この章では、パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する.....	32
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 .....	32
Windows XP/Windows Server 2003の場合 ....	34

# ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する

ここではローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する方法を説明します。

本プリンタとパソコンの接続方法およびご使用になるOSからインストール方法を選択してください。

- ・ Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 .....32 ページ
- ・ Windows XP/Windows Server 2003 の場合 .....34 ページ

## ▼ Windows 95/98/Me/NT4.0/2000

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

ここでは、Windows 98 を例に説明します。

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。



**ガイド**

ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。



**お願い**

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「README.TXT」をお読みください。( CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥XLC2000¥Readme.txt」を参照してください。)

### 1 Windows を起動する



**お願い**

Windows NT4.0/2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

### 2 プリントソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

### 3 〔マイコンピュータ〕を開く

### 4 〔XL-C2000〕アイコンをダブルクリックする

## 5 「SETUP」アイコンをダブルクリックする

富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動します。

## 6 「使用許諾契約」を読み、「同意する」をクリックする

## 7 「プリンタドライバのインストール」を選択し、「選択」をクリックする

## 8 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックする

**ガイド**

ネットワーク印刷の設定を完了している場合は、「ネットワークプリンタ」を選択してインストールを続けることができます。

**参照**

「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」(37ページ)を参照

## 9 ポートで「LPT1」を選択し、「次へ」をクリックする

## 10 プリンタの機種名「FUJITSU XL-C2000」を選択し、「次へ」をクリックする

## 11 プリンタ名を入力し、「通常使うプリンタに設定する」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

Windows 95/98/Meをご使用の場合、ここでファイルのコピーが行われます。

**ガイド**

Windows 2000/NT4.0をご使用の場合、「プリンタの共有」が表示されたら、「共有しない」を選択し、「次へ」をクリックしてください。Windows NT4.0では、ファイルのコピーが行われます。また、Windows 2000をご使用の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されたら、「はい」をクリックしてください。ファイルのコピーが行われます。

## 12 〔完了〕をクリックする



〔コンピュータの再起動〕が表示されたら、〔再起動する〕にチェックをつけ、〔完了〕をクリックしてください。Windowsが再起動したら、手順14へ進みます。

## 13 〔終了〕をクリックする

## 14 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。  
以上でインストールは完了です。

## ▼ Windows XP/Windows Server 2003の場合

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。  
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows XP/Windows Server 2003のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。



お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。（CD-ROMドライブがFの場合、「F:¥XLC2000¥Readme.txt」を参照してください。）
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

## 1 Windowsを起動し、管理者権限でログオンする

## 2 「プリンタの追加ウィザード」を起動する

Windows XPの場合：

〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタとFAX〕の順に選択し、〔プリンタのインストール〕をクリックします。

Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕－〔プリンタとFAX〕の順に選択し、〔プリンタの追加〕をクリックします。

## 3 「プリンタの追加ウィザード」が起動したら、〔次へ〕をクリックする

## 4 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、〔プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕をクリックする

## 5 「次のポートを使用」を選択し、「LPT1:(推奨プリンタポート)」を選択し、〔次へ〕をクリックする

## 6 「ディスク使用」をクリックする

## 7 「フロッピーディスクからインストール」が表示されたら、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、〔製造元のファイルのコピー元〕に「F:¥XLC2000¥WINXP」(CD-ROMドライブがFの場合)と入力し、〔OK〕をクリックする

## 8 「FUJITSU XL-C2000」を選択し、〔次へ〕をクリックする



既に他のドライバがインストールされている場合は、〈既存のドライバを使う〉と表示されたら、「新しいドライバに置き換える」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

- 9 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、  
〔次へ〕をクリックする
- 10 〔このプリンタを共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
- 11 〔テストページを印刷しますか？〕で「いいえ」を選択し、〔次  
へ〕をクリックする
- 12 プリンタの追加ウィザードの完了 と表示されたら、〔完了〕  
をクリックする
- 13 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕  
をクリックする  
ファイルのコピーが開始されます。  
〔プリンタとFAX〕フォルダにプリンタアイコンが表示されていること  
を確認してください。

以上で、インストールは完了です。



# 第3章

## IPアドレスを指定した ネットワーク印刷の設定



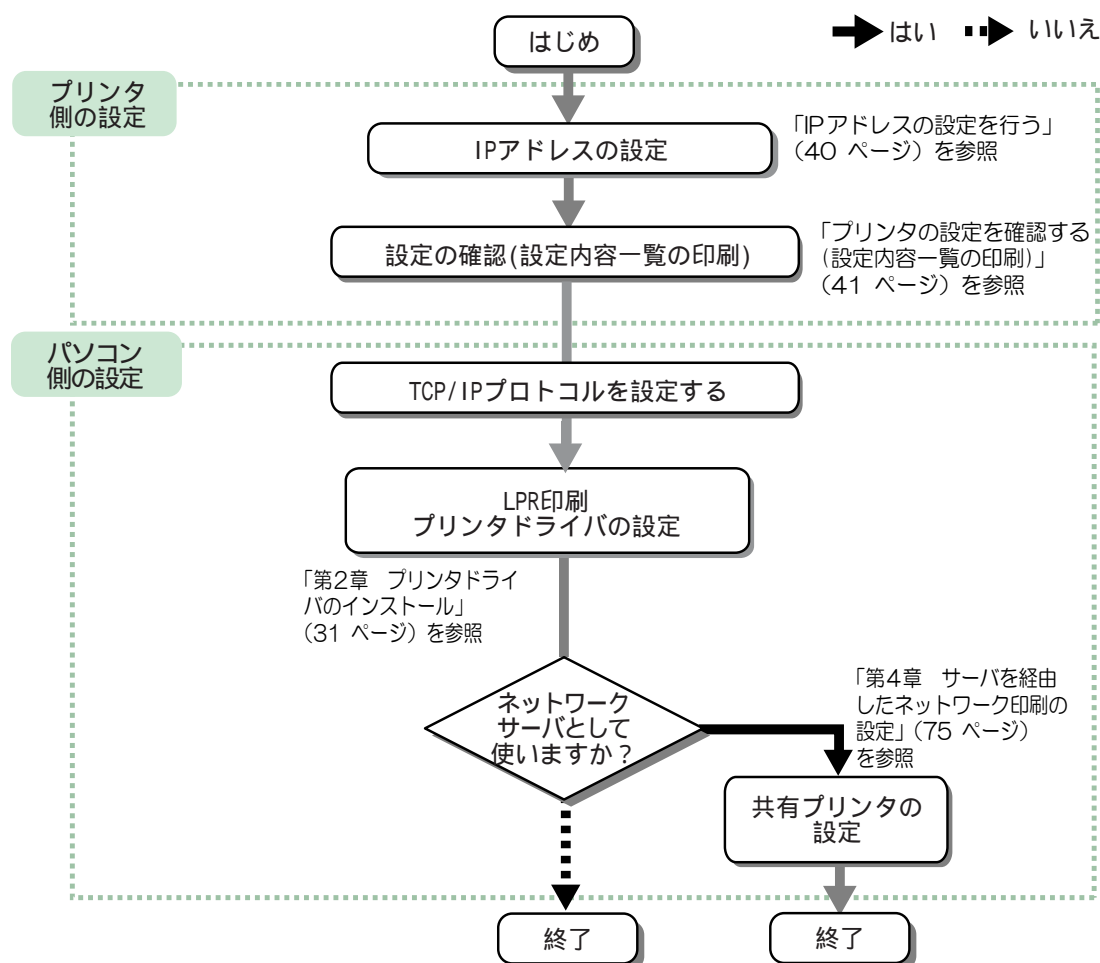
この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法や使用方法について説明します。

ネットワーク環境で使用する .....	38
プリンタ側の設定を行う .....	39
IPアドレスの設定を行う .....	40
プリンタの設定を確認する(設定内容一覧の印刷) .....	41
パソコン側の設定を行う .....	42
TCP/IPプロトコルを設定する .....	42
プリンタポートを設定する .....	51
FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合 .....	52
FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合 .....	69

# ネットワーク環境で使用する

ここでは、本プリンタをネットワーク環境に接続して使用方法について説明します。以降の操作は、プリンタとパソコンがネットワークに接続されていることを前提としています。プリンタとパソコンがネットワークに接続されていない場合は、接続してから次の操作を行ってください。

全体のながれは次のようになります。



# プリンタ側の設定を行う

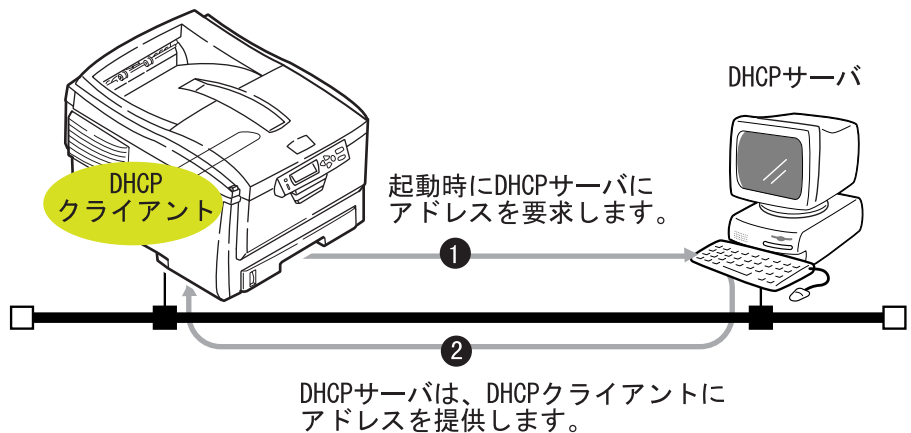
ここでは、ネットワーク環境で使用するためのプリンタ側の設定について説明します。

ネットワーク環境で使用するためには、プリンタに次の項目を設定する必要があります。

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・ゲートウェイアドレス

プリンタを接続するネットワークにDHCPサーバがある場合は、プリンタの電源を入れたときに、これらの項目をDHCPサーバから自動的に取得することもできます。

DHCPサーバがない場合には、管理者が割り当てた固定のアドレスをオペレータパネルで設定します。



## ガイド

- ・ DHCPで運用する場合には、IPアドレスが変更されることがあります。このときは、定期的にIPアドレスを確認して使用してください。
- ・ DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、DHCPサーバからDHCPクライアントにIPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルです。プリンタを接続するネットワークにDHCP環境があるかどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。

## IPアドレスの設定を行う

ここでは、IPアドレスの設定について説明します。

### DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合

ネットワーク上にDHCPサーバが存在し、プリンタ側の「NETWORK MENU」-「IP ADDRESS SET」が「[AUTO NEGOTIATE]」に設定されている場合は、IPアドレスは自動的に取得されるためプリンタ側の設定は不要です。

工場出荷時の「IP ADDRESS SET」は「[AUTO NEGOTIATE]」に設定されています。

「IP ADDRESS SET」の設定を変更している場合は、「[AUTO NEGOTIATE]」に設定し直してください。



参照

設定方法については、「アドレスを設定する」(23 ページ)を参照してください。

### オペレータパネルでIPアドレスを設定する場合

オペレータパネルを使用して、「IP ADDRESS SET」を「[MANUAL]」に設定したあと、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。



ガイド

IPアドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤ったIPアドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てるIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してから設定してください。



参照

設定方法については、「アドレスを設定する」(23 ページ)を参照してください。

## ▼ プリンタの設定を確認する (設定内容一覧の印刷)

設定内容の一覧を印刷して、設定内容を確認します。



印刷される項目は、プリンタの機種やオプション品の取り付け状態によって異なります。印刷方法については、「設定内容の一覧を印刷する」(20 ページ)を参照してください。

### Network Information

#### System Information

Asset Number  
System Contact  
System Name  
System Location

#### 設定内容

XL-C2000

CJ version:FO.20 [ 100.92.52.4 On B02.60 F00] PPT50CKe 400MHz 00083311 00020010 F33 ]  
PU version:01.03.07 [ P102.12 L000.09.19 Q000.74.13 T200.75.06 ] ET:000202020403202C2B0000000000000000  
Program version:01.53 [ DA.16 X00.34 P.F ]  
両面ユニット:installed  
Total Memory Size:320 MB

#### インフォメーションメニュー

設定内容印刷  
フロント印刷  
ゲスト印刷  
エラーログ印刷

#### 印刷メニュー

用紙枚数  
用紙長さチェック  
モノクロ印刷速度

#### メディアメニュー

トレイ1用紙サイズ  
トレイ2用紙サイズ  
MPトレイ用紙サイズ

#### カラーメニュー

自動濃度補正モード  
濃度補正  
自動色ずれ補正  
シアン位置ずれ微調整  
マゼンタ位置ずれ微調整  
イエロー位置ずれ微調整  
UCR  
CMY100%濃度

#### システム構成メニュー

パワーセーブ移行時間  
タイムアウト印刷  
シャムリカバリ

#### セントロメメニュー

双方向セントロ  
ECP  
ACK値  
ACK/BUSYタイミング  
I-PRIME

#### USBメニュー

ソフトリセット  
SPEED

#### NETWORK MENU

IP ADDRESS SET  
IP ADDRESS  
SUBNET MASK  
GATEWAY ADDRESS  
WEB  
SNMP  
LAN  
HUB LINK SETTING

#### 位置調整メニュー

X補正  
Y補正  
両面印刷X補正  
両面印刷Y補正  
ヘキサダンプ

#### 補助メニュー

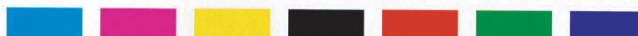
メニューリセット  
パワーセーブ機能  
普通紙ブラックセッティング  
普通紙カラーセッティング  
OHPブラックセッティング  
OHPカラーセッティング

#### 寿命メニュー

総印刷枚数  
トレイ1印刷枚数  
トレイ2印刷枚数  
MPトレイ印刷枚数  
カラーページ印刷枚数  
モノクロページ印刷枚数  
ブラックドラムユニット(使用量)  
シアンドラムユニット(使用量)  
マゼンタドラムユニット(使用量)  
イエロードラムユニット(使用量)  
ベルトユニット(使用量)  
定着器ユニット(使用量)  
フラクツナー  
シアンフラクツナー  
マゼンタフラクツナー  
イエローフラクツナー

#### カラーレスモード

カラーレスモード



# パソコン側の設定を行う

ネットワーク環境で使用するためのパソコン側の設定について説明します。

## ▼ TCP/IP プロトコルを設定する

TCP/IP プロトコルの設定方法を OS ごとに説明します。ご使用になる OS を確認し、該当するページを参照してください。

- ・ Windows 95/98/Me ..... 42 ページ
- ・ Windows NT4.0 ..... 46 ページ
- ・ Windows 2000/XP/  
Windows Server 2003 ..... 48 ページ

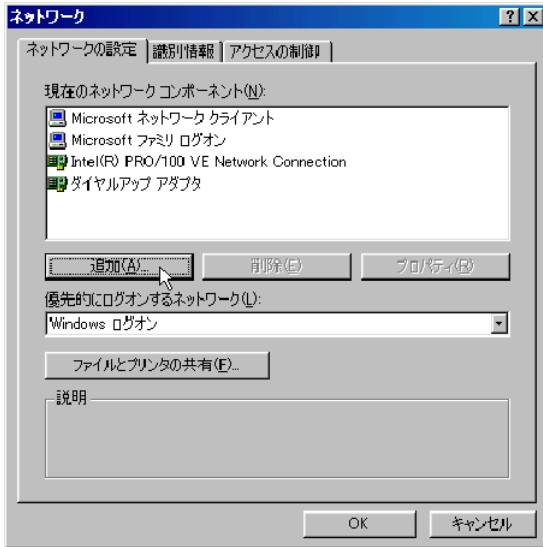
### Windows 95/98/Me の場合

Windows 95/98/Me が動作するパソコンをご使用になっている場合の TCP/IP プロトコルの設定方法について説明します。ここでは、Windows 98 を例に説明します。

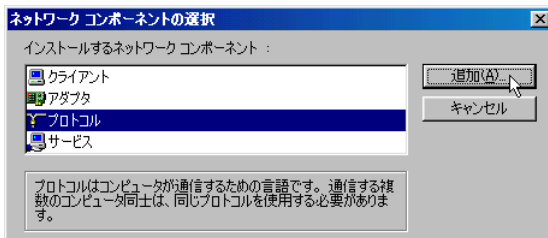
- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」の順に選択し、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする

Windows Me で「ネットワーク」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP -> \*\*\* (\*\*\* はアダプタ名)」が表示されている場合は、5 へ進んでください。



2 「追加」をクリックする



3 「ネットワークコンポーネントの選択」ダイアログで「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックする

ご使用になるOSによって、次のダイアログが表示されます。

Windows 95の場合：

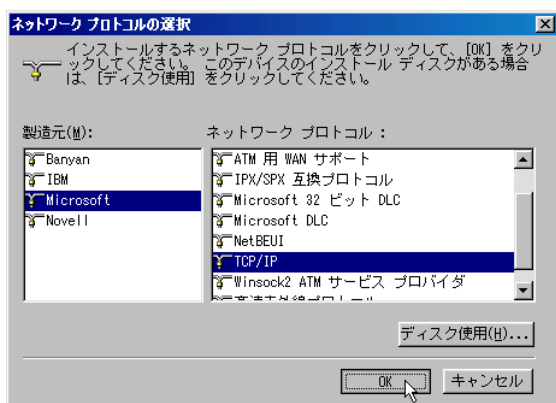
〔ネットワークコンポーネントの追加〕

Windows 98の場合：

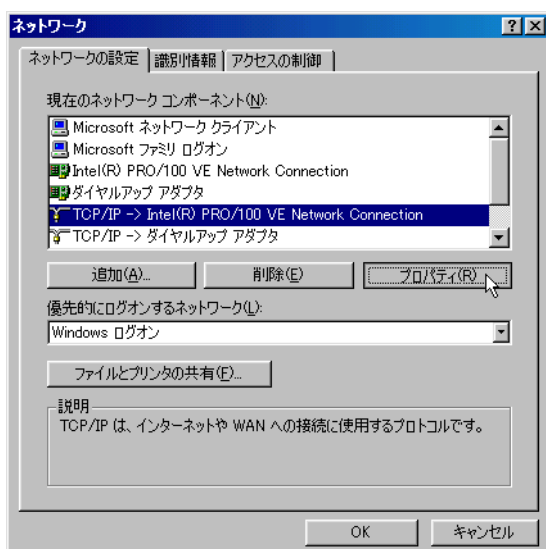
〔ネットワークコンポーネントの選択〕

Windows Meの場合：

〔ネットワークコンポーネントの種類を選択〕

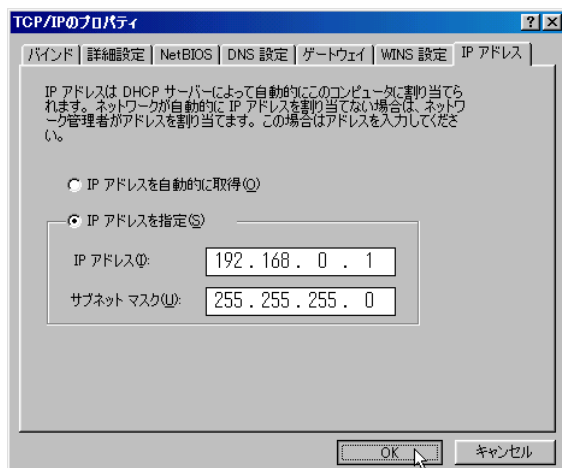


- 4 製造元 で [Microsoft] を、ネットワークプロトコル で [TCP/IP] を選択し、[OK] をクリックする



- 5 [TCP/IP -> \*\*\*] (\*\*\*) はアダプタ名) を選択し、[プロパティ] をクリックする





- 6 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、〔 IPアドレスを自動的に取得 〕 に設定する  
DHCPサーバが存在しない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを設定し、最後に〔 OK 〕をクリックする

### ガイド

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSについて不明な点は、ネットワーク管理者に確認してください。

- 7 Windowsを再起動する

## Windows NT4.0の場合

Windows NT4.0が動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。

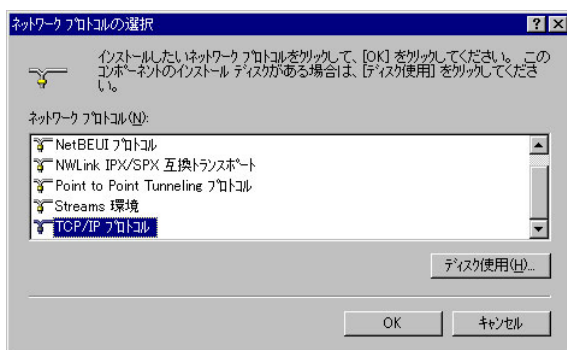
1 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕アイコンをダブルクリックする

2 〔プロトコル〕タブをクリックする

〈ネットワークプロトコル〉に〔TCP/IPプロトコル〕が表示されている場合は、5へ進んでください。



3 〔追加〕をクリックする



4 〔TCP/IP プロトコル〕を選択し、〔OK〕をクリックする



5 [TCP/IP プロトコル] を選択し、[プロパティ] をクリックする



6 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、[DHCP サーバから IP アドレスを取得する] に設定する  
DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に [OK] をクリックする



デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSについて不明な点は、ネットワーク管理者に確認してください。

7 Windowsを再起動する

## Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合

Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。

ここではWindows XPを例にして説明します。

### 1 ネットワーク接続のメニューを開く

Windows 2000の場合：

〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕の順に選択します。

手順3へ進んでください。

Windows XPの場合：

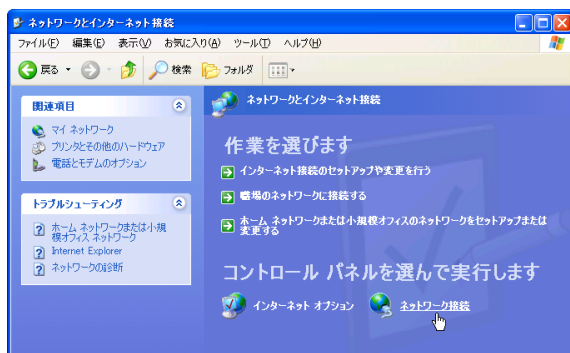
〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワークとインターネット接続〕をクリックします。

手順2へ進んでください。

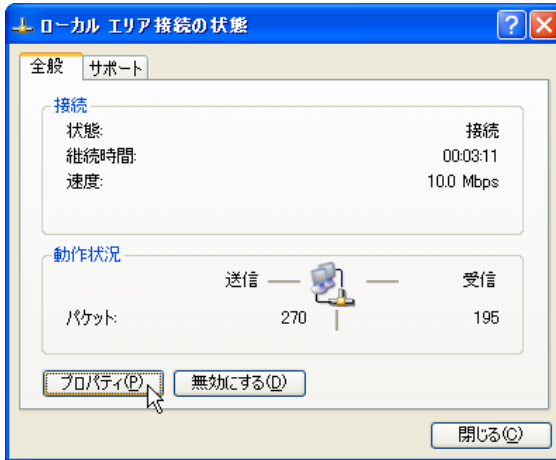
Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク接続〕 - 〔ローカルエリア接続〕の順に選択し、〔プロパティ〕をクリックします。

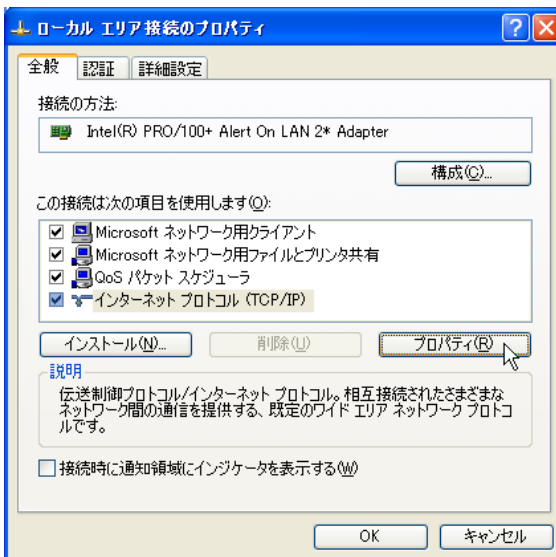
手順4へ進んでください。



### 2 〔コントロールパネルを選んで実行します〕の〔ネットワーク接続〕をクリックする

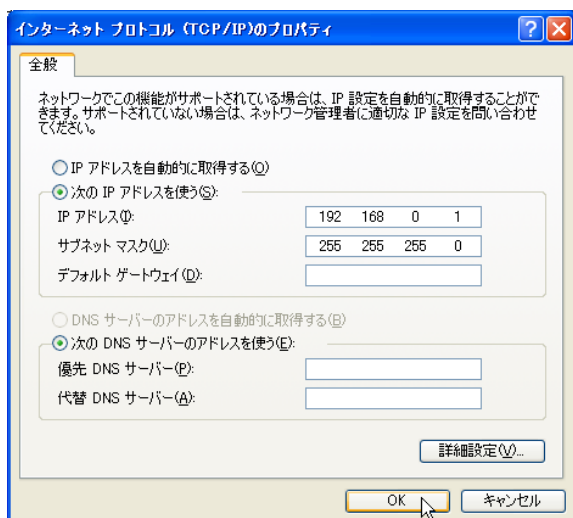


3 「ローカルエリア接続」をダブルクリックし、「プロパティ」をクリックする



4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックする

3



5 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、〔IPアドレスを自動的に取得する〕に設定する DHCPサーバが存在しない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSを設定し、最後に〔OK〕をクリックする

〔ローカルエリア接続〕を閉じます。



デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバについて不明な点はネットワーク管理者に確認してください。

## ▼ プリンタポートを設定する

サーバ等を経由しないで直接プリンタにネットワーク印刷する場合、プリンタポートの設定方法にはFUJITSU LPRユーティリティを使用する場合と使用しない場合とがあります。該当するページを参照してください。

- ・ FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合（通常の場合）...52 ページ
- ・ FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合.....69 ページ



- ・ FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003にてプリンタポートの設定ができます。FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合は、OSのサービスを組み込むことでWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 にてプリンタポートの設定ができます。
- ・ FUJITSU LPRユーティリティをインストールされた場合には、プリンタポートの設定以外に下記の機能を使用できます。
  - ・ 印刷データファイルをプリンタに送信することができます。（58ページ）
  - ・ 印刷ジョブの表示、削除、他のプリンタへの転送ができます。（59ページ）
  - ・ プリンタのステータスが表示できます。（60ページ）
  - ・ IPアドレスの自動再設定ができます。（66ページ）

## ▼ FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合

LPR印刷を行うには、FUJITSU LPRユーティリティを使用します。ここでは、FUJITSU LPRユーティリティのインストール方法、機能、アンインストール方法について説明します。

### インストール

FUJITSU LPRユーティリティをインストールし、プリンタポートを設定することによりLPR印刷ができます。FUJITSU LPRユーティリティのインストールには、プリンタドライバと同時にインストールする方法と、FUJITSU LPRユーティリティのみインストールする方法の2通りあります。次の手順にしたがって、FUJITSU LPRユーティリティのインストールおよび、プリンタポートを設定してください。

#### ▶ プリンタドライバと同時にインストールする

- 1 プリンタの電源が入り、ネットワークに接続されていることを確認し、Windowsを起動する



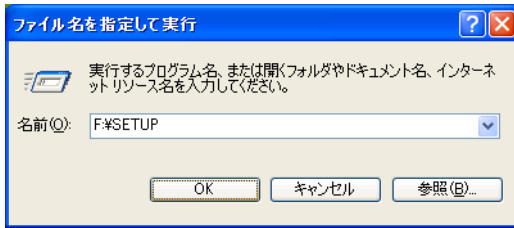
ネットワークの接続方法については、「第1章 ネットワークプリンタの設定」（11 ページ）を参照



Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログインしてください。

- 2 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする
- 3 〔スタート〕-〔ファイル名を指定して実行〕の順に選択する





- 4 〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「SETUP」を入力し、〔OK〕をクリックする  
(CD-ROM ドライブが F の場合、「F:\SETUP」と入力してください。)

富士通 Printia LASER シリーズ  
セットアップが起動します。

- 5 「使用許諾契約」を読み、〔同意する〕をクリックする
- 6 〔プリンタドライバのインストール〕を選択し、〔選択〕をクリックする
- 7 〔ネットワークプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
- 8 〔TCP/IP プロトコル〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
- 9 プリンタの IP アドレスを入力し、〔次へ〕をクリックする  
プリンタの IP アドレスがわからない場合は、〔検索するサブネット〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
- 10 手順 9 でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名を選択し、〔次へ〕をクリックする
- 11 プリンタ名を入力し、〔通常使うプリンタに設定する〕にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする  
プリンタドライバと FUJITSU LPR ユーティリティがインストールされます。
- 12 FUJITSU LPR ユーティリティのポート変更画面が表示されたら〔OK〕をクリックする
- 13 〔完了〕をクリックする
- 14 〔終了〕をクリックする  
〔プリンタ〕フォルダにプリンタアイコンが表示され、FUJITSU LPR ユーティリティにプリンタ名が追加されます。

## ▶ FUJITSU LPRユーティリティのみインストールする

- 1 XL-C2000 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する



参照

プリンタドライバのインストール方法は「第2章 プリンタドライバのインストール」(31 ページ) を参照してください。

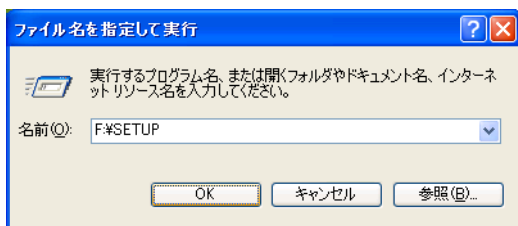


お願い

プリンタの名称を変更する場合には、手順2の前に変更を完了してください。FUJITSU LPR ユーティリティの設定後にプリンタの名称を変更した場合は、名称を変更したプリンタから印刷が行えません。

- 2 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

- 3 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]の順に選択する



- 4 名前 に CD-ROM ドライブ名と「SETUP」を入力し、[OK] をクリックする  
(CD-ROMドライブがFの場合、「F:\SETUP」と入力してください。)


富士通Printia LASERシリーズ  
セットアップが起動します。

- 5 「使用許諾契約」を読み[同意する]をクリックする
- 6 [添付ソフトウェアのインストール]を選択し、[選択]をクリックする
- 7 [FUJITSU LPRユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックする

- 8 セットアッププログラムが起動したら、〔次へ〕をクリックする
- 9 インストール先とスプール先のフォルダを確認し、〔次へ〕をクリックする
- 10 〔スタートアップに登録する〕にチェックが入っていることを確認し、〔次へ〕をクリックする
- 11 プログラムフォルダ名（ :〔FUJITSU〕）を確認し、〔次へ〕をクリックする



「スプールディレクトリのアクセス権変更」が表示された場合は〔はい〕をクリックしてください。

- 12 〔完了〕をクリックする  
FUJITSU LPRユーティリティが起動します。
  - 13 富士通Printia LASERシリーズセットアップの〔終了〕をクリックする
  - 14 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの追加〕を選択する
  - 15 〔プリンタ〕で XL-C2000 を選択し、〔IP アドレス〕にプリンタのIPアドレスを入力する
-  「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。
- 16 〔詳細設定〕をクリックする

**17** LPRバイトカウントを有効にする にチェックを付け、〔OK〕をクリックする

**18** さらに〔OK〕をクリックする  
メインウィンドウにXL-C2000が追加されます。

以上で設定は完了です。

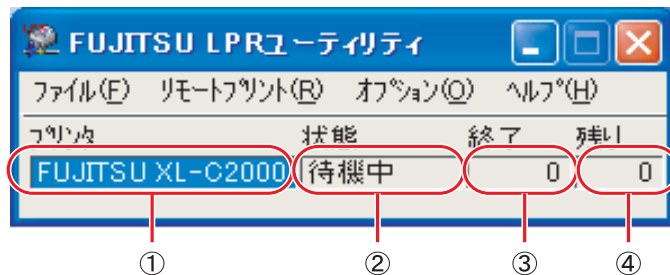
FUJITSU LPRユーティリティを起動した状態で、アプリケーションから印刷します。

## FUJITSU LPRユーティリティの機能

FUJITSU LPRユーティリティの機能について説明します。

### ▶ メインウィンドウ

メインウィンドウでは、FUJITSU LPRユーティリティのステータスを表示できます。

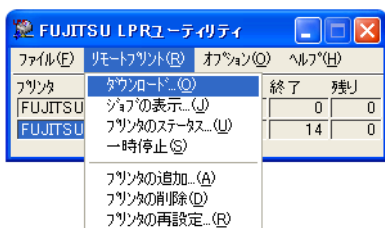


①プリンタ	登録されているプリンタ名を表示する。	
②状態	FUJITSU LPRユーティリティのプリンタポートの状態を表示する。	
	状態	内容
	待機中	プリンタポートが待機中の状態
	接続中	プリンタに接続を試みている状態
	送信中 - **%	プリンタにデータを送信している状態 %表示は送信済みの割合
	停止中	〔リモートプリント〕メニューで一時停止された、もしくはエラーが発生して送信を停止している状態
	問合せ中	プリンタのステータスの問合せをしている状態
	未接続	〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔プリンタ〕 (Windows XP/Windows Server 2003では、〔プリンタとFAX]) フォルダからプリンタが削除された、もしくは、プリンタのIPアドレスが正しく設定されていない状態 印刷できない状態
③終了	送信が終了したジョブ数を表示する。	
④残り	送信が終了していないジョブ数を表示する。	

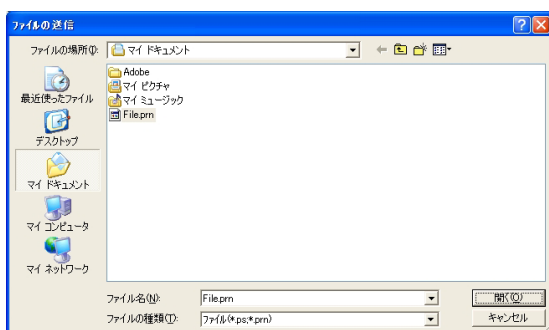
## ▶ ファイルのダウンロード

印刷データファイルをプリンタに送信することができます。

### 1 プリンタを選択する



### 2 〔リモートプリント〕メニューの〔ダウンロード〕を選択する



### 3 ダウンロードするファイルを選択し、〔開く〕をクリックする

ファイルがダウンロードされ、印刷が開始されます。



**ガイド**

XL-C2000以外の印刷データファイルをファイルのダウンロードにて印刷はできません。他のプリンタの印刷データファイルを選択し、〔開く〕をクリックすると、プリンタ本体の故障の原因となります。

## ▶ ジョブの表示、削除、転送

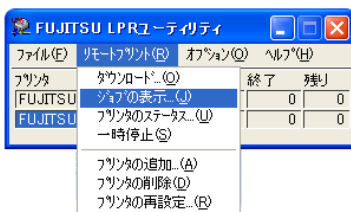
印刷ジョブを表示したり、削除したりすることができます。

また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。



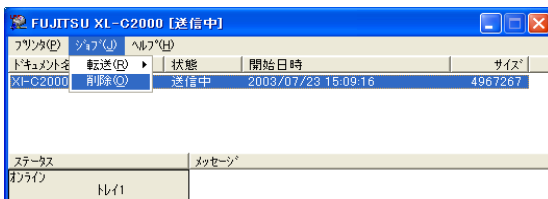
- ・ 他機種のプリンタへは転送できません。
- ・ 利用しているプリンタの機種名（ここではXL-C2000-B）を選択し、転送してください。

### 1 プリンタを選択する



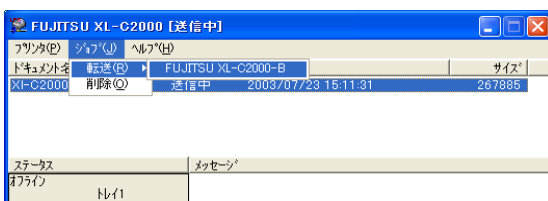
### 2 〔リモートプリント〕メニューの〔ジョブの表示〕を選択する

ジョブが表示されます。



### 3 印刷ジョブを削除する場合は、削除したい印刷ジョブを選択し、〔ジョブ〕メニューの〔削除〕を選択する

ジョブが削除されます。



### 4 印刷ジョブを転送する場合は、転送したい印刷ジョブを選択し、〔ジョブ〕メニューの〔転送〕をクリックし転送先のプリンタを選択する

転送先のプリンタにジョブが送られます。



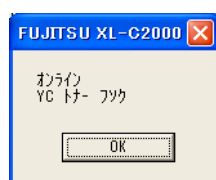
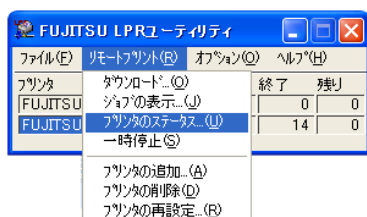
転送できるプリンタは、あらかじめFUJITSU LPRユーティリティに設定されている必要があります。

ジョブの自動転送の設定については、「ジョブの自動転送」（65 ページ）を参照してください。

## ▶ プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示できます。

### 1 プリンタを選択する



### 2 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタのステータス〕を選択する

プリンタのステータスが表示されます。



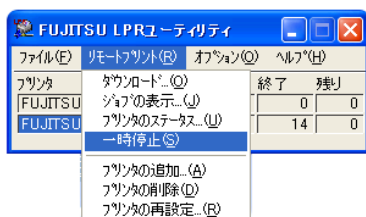
〔ジョブ表示〕ダイアログの〔ステータス〕でも確認できます。



## ▶ 一時停止

印刷データの送信を停止したり、停止状態を解除することができます。

### 1 プリンタを選択する



### 2 〔リモートプリント〕メニューの〔一時停止〕を選択する

状態欄は「停止中」になり、メニューにはチェックがつきます。

一時停止中に選択すると、一時停止状態を解除します。

送信中のジョブを一時停止すると、「現在送信中のジョブが再送信になりますがよろしいですか？」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックするとジョブの送信をいったん中止します（一時停止解除後再送信）。「いいえ」がクリックされたら一時停止を解除し、送信を続けます。

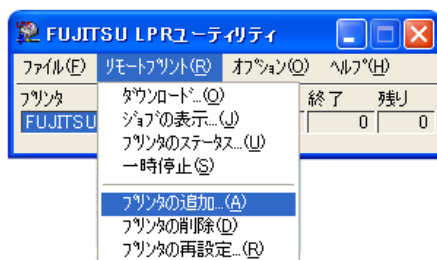
3

## ▶ プリンタの追加

印刷先のポートをFUJITSU LPRポートに変更することができます。



すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されているプリンタは追加できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」(67ページ)を選択してください。  
また、FUJITSU LPRユーティリティにはプリンタを30台まで登録することができます。



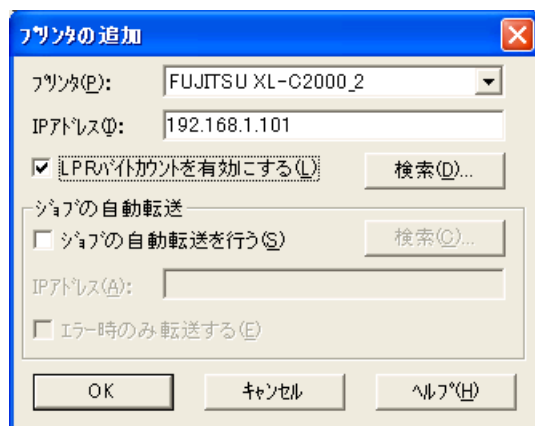
1 「リモートプリント」メニューの「プリンタの追加」を選択する



2 「プリンタ」を選択し、「IPアドレス」にプリンタのIPアドレスを入力し、「詳細設定」をクリックする



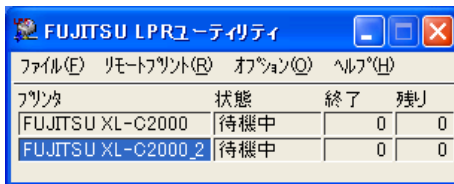
「検索」をクリックし、ネットワーク上のプリンタを選択するとIPアドレスを設定できます。



3 LPRバイトカウントを有効にする にチェックを付け、「OK」をクリックする



- ・〈LPRバイトカウントを有効にする〉をチェックをしないと、データ数をチェックしない信頼性の低い通信になります。必ずチェックを付けてください。
- ・〔プリンタ〕には、〔プリンタ〕（Windows XP/Windows Server 2003の場合は「プリンタとFAX」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。
- ・〔検索〕をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。



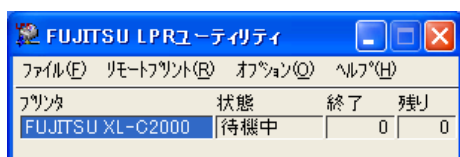
メインウィンドウにプリンタが追加されます。

## ▶ プリンタの削除

### 1 プリンタを選択する



### 2 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの削除〕を選択する



### 3 削除のメッセージが表示され、「はい」をクリックする

メインウィンドウからプリンタが削除されます。

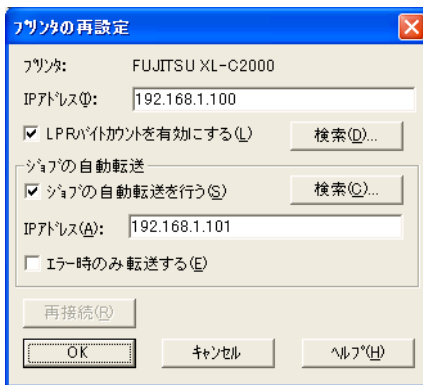
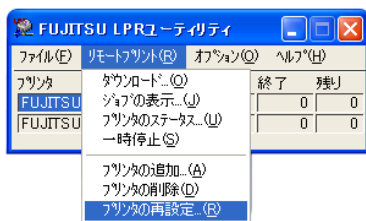
## ▶ ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。



- ・ 他機種のプリンタへは転送できません。
- ・ 利用しているプリンタの機種名（ここではXL-C2000）を選択し、転送してください。

### 1 プリンタを選択する



### 2 〔リモートプリント〕メニューの〔プリンタの再設定〕を選択する

### 3 〔詳細設定〕ボタンをクリックする

### 4 〔ジョブの自動転送を行う〕にチェックをつけ、転送先となるプリンタのIPアドレスを設定する



〔検索〕をクリックして、ネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

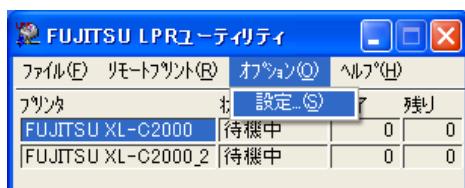
### 5 〔OK〕をクリックする

## ▶ IPアドレスの自動再設定

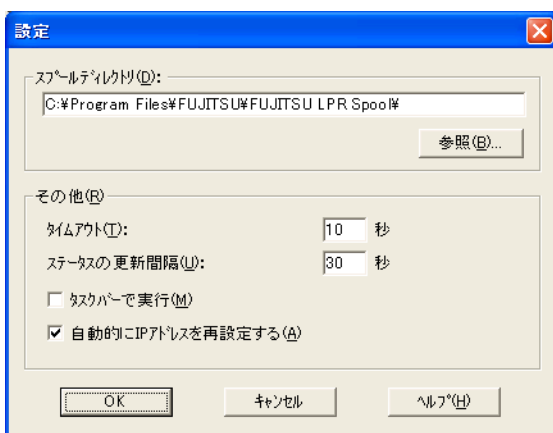
DHCPサーバに接続し、プリンタの電源を入れるたびにプリンタのIPアドレスが変更になる場合、変更されたIPアドレスを検索し自動的に再設定することができます。



検索対象は、FUJITSU LPRユーティリティの検索範囲設定にしています。



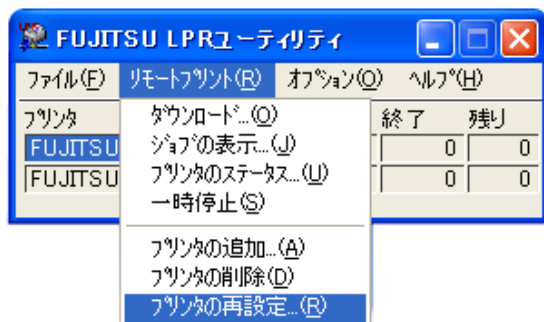
1 [オプション]メニューの  
[設定]を選択する



2 [自動的に IP アドレスを  
再設定する]にチェック  
を付け、[OK]をクリック  
する

## ▶ プリンタの再設定

すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されているプリンタの設定ができます。



### 1 プリンタを選択する

### 2 「リモートプリント」メニューの「プリンタの再設定」を選択する

### 3 必要な項目を再度設定する

「プリンタの追加」(62 ページ)、「ジョブの自動転送」(65 ページ)で設定できる項目が再設定の対象となります。

3

## アンインストール

- 1 タスバーにあるFUJITSU LPRユーティリティアイコンを右クリックする

アイコンが表示されていない場合は、手順3へ進んでください。

- 2 表示されるメニューの〔終了〕を選択する

- 3 〔スタート〕 - 〔プログラム〕 - 〔Fujitsu〕 - 〔FUJITSU LPRユーティリティ〕の順に選択し、〔FUJITSU LPRユーティリティの削除〕をクリックする

(Windows XP/Windows Server 2003では〔スタート〕 - 〔すべてのプログラム〕 - 〔Fujitsu〕 - 〔FUJITSU LPRユーティリティ〕 - 〔FUJITSU LPRユーティリティの削除〕)

- 4 削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

FUJITSU LPRユーティリティのアンインストールが行われます。



FUJITSU LPRユーティリティのインストール先のフォルダやスプール先のフォルダに、インストール後に追加したファイルが存在すると、フォルダを削除できません。あらかじめ、余分なファイルを削除してから〔FUJITSU LPRユーティリティの削除〕を行ってください。



## ▼ FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合

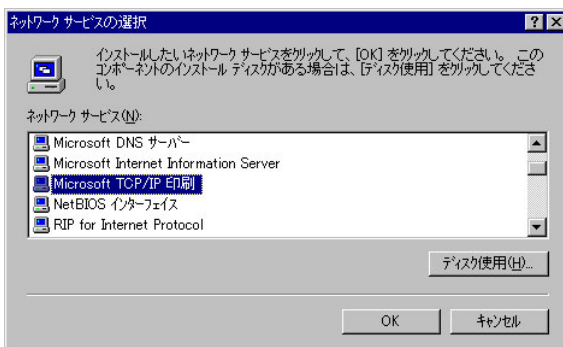
### ▶ Windows NT4.0の場合

- 1 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロール〕の順に選択し、〔ネットワーク〕アイコンをダブルクリックする



- 2 〔サービス〕タブをクリックする

- 3 〔追加〕をクリックする  
〔ネットワークサービス〕に  
〔Microsoft TCP/IP印刷〕と〔簡  
易TCP/IPサービス〕が表示され  
ている場合は、手順7へ進んでく  
ださい。



- 4 〔Microsoft TCP/IP印刷〕  
を選択し、〔OK〕をクリック  
する

- 5 〔簡易TCP/IPサービス〕を  
選択する

手順は、〔Microsoft TCP/IP 印  
刷〕の場合と同じです。

- 6 Windowsを再起動する

## 7 XL-C2000 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする



参照 プリンタドライバのインストール方法は、「第2章 プリンタドライバのインストール」(31 ページ)を参照してください。

## 8 [スタート] - [設定] - [プリンタ]の順に選択する

## 9 手順7で追加したXL-C2000のアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する

## 10 [ポート]タブをクリックする

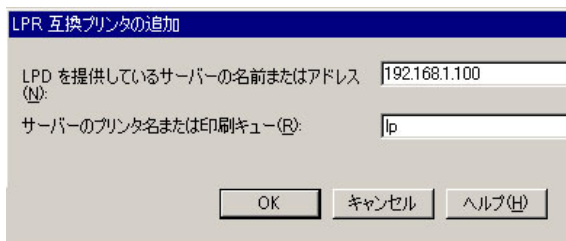
## 11 [ポートの追加]をクリックする



## 12 [LPR Port]を選択し、[新しいポート]をクリックする



[LPR Port]以外は、選択しないでください。



## 13 [プリンタの IP アドレス]と[プリンタキュー名]を設定する

プリンタキュー名は、任意の名前を付けてください。

## 14 [OK]、[閉じる]の順にクリックする

プロパティを閉じます。

以上で設定は完了です。

## ▶ Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合

ここでは、Windows XPを例に説明します。

### 1 XL-C2000を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする



**参照**

プリンタドライバのインストール方法は、「第2章 プリンタドライバのインストール」(31 ページ)を参照してください。

### 2 プリンタのメニューを開く

Windows 2000の場合：

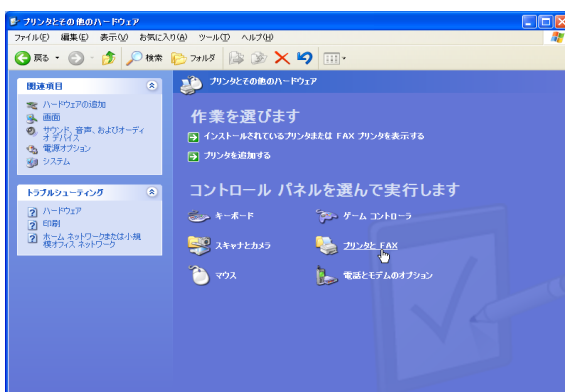
〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔プリンタ〕の順に選択します。  
手順4へ進んでください。

Windows XPの場合：

〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔プリンタとその他のハードウェア〕をクリックします。

Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕 - 〔プリンタとFAX〕の順に選択します。  
手順4へ進んでください。



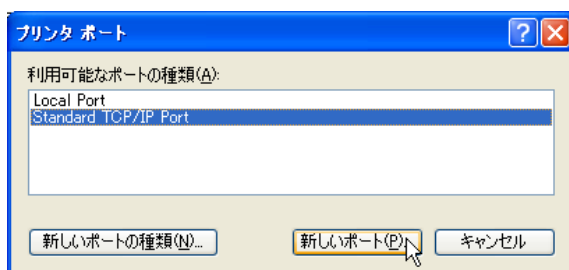
### 3 〔コントロールパネルを選んで実行します〕の〔プリンタとFAX〕をクリックする

### 4 手順1で追加したXL-C2000のアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

## 5 「ポート」タブをクリックする



## 6 「ポートの追加」をクリックする

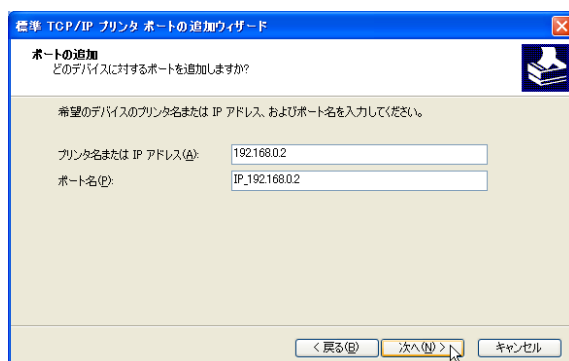


## 7 「Standard TCP/IP Port」を選択し、「新しいポート」をクリックする

お願い

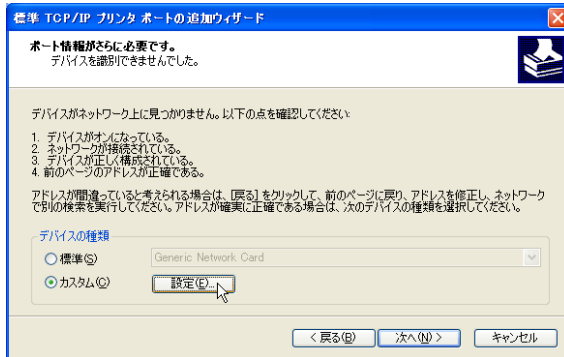
「Standard TCP/IP Port」以外は、選択しないでください。

## 8 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、「次へ」をクリックする

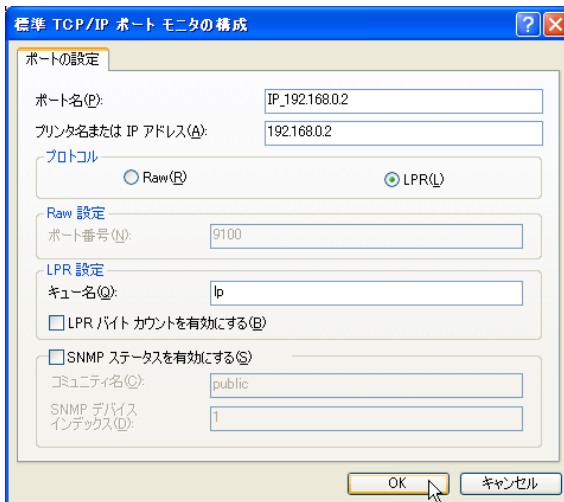


## 9 「プリンタ名または IP アドレス」と「ポート名」を設定し、「次へ」をクリックする

「ポート名」は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP\_ (IP アドレス) です。



10 デバイスの種類 で〔カスタム〕を選択し、〔設定〕をクリックする



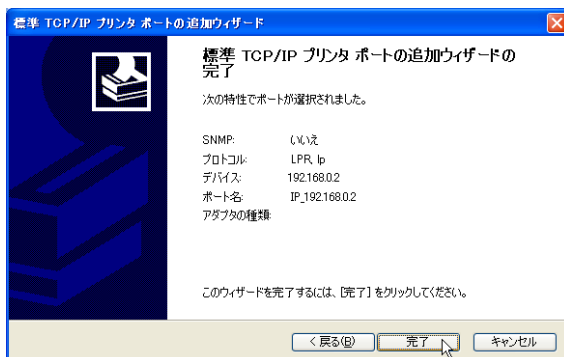
11 〔ポートの設定〕タブの各項目を設定し、〔OK〕をクリックする

〈プロトコル〉で〔LPR〕を選択します。

〈LPR設定〉の〈キュー名〉を入力します。キュー名は任意の名前を付けてください。

〔LPRバイトカウントを有効にする〕と〔SNMPステータスを有効にする〕のチェックが外れていることを確認します。

12 〔次へ〕をクリックする



13 〔完了〕をクリックする  
プロパティを閉じます。

以上で設定は完了です。



# 第4章

## サーバを経由したネットワーク印刷の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 95/98/Meのとき .....	76
サーバ側の設定 .....	76
クライアント側の設定 .....	78
Windows NT4.0のとき .....	80
サーバ側の設定 .....	80
クライアント側の設定 .....	83
Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき .....	85
サーバ側の設定 .....	85
クライアント側の設定 .....	89

## Windows 95/98/Meのとき

ここでは、OSがWindows 95/98/Meのパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要な設定について説明します。

### ▼サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

#### 準 備

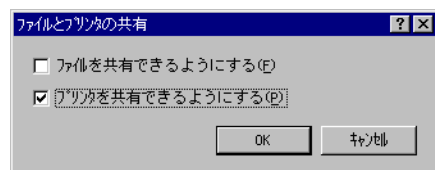
ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

#### 1 「ネットワーク」プロパティを開く

〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。



#### 2 「ファイルとプリンタの共有」をクリックする



#### 3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、〔OK〕をクリックする

#### 4 「ネットワーク」プロパティの〔OK〕をクリックして閉じ、OSを再起動する



## 設 定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

### 1 XL-C2000のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する



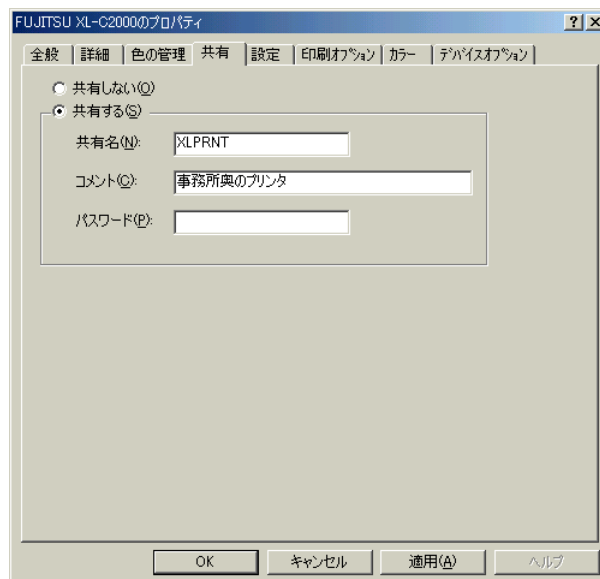
**参照** プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」（37 ページ）を参照してください。

### 2 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

### 3 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

### 4 「共有する」を選択し、共有名を入力する

必要に応じてコメント、パスワードを入力してください。



共有名.....共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント.....プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード.....他のユーザがこの共有プリンタに接続するとき  
に使うパスワードを指定します。  
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

## ▼ クライアント側の設定

Windows 95/98/Meをクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows 95/98/MeのクライアントからWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由してサーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

サーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合は、代替インストールが必要となります。



**参照**

代替インストールについては、「サーバ側の設定」Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき（85ページ）、Windows NT4.0のとき（80ページ）を参照

## 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ.....Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント.....Windows 95/98/Meが動作するパソコンです。

## 設 定

### 1 エクスプローラを起動する

〔スタート〕 - 〔プログラム〕 - 〔エクスプローラ〕 (Windows Meは〔スタート〕 - 〔プログラム〕 - 〔アクセサリ〕 - 〔エクスプローラ〕) の順に選択します。

### 2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク コンピュータ〕(Windows Meは〔マイネットワーク〕) をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

### 3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

## Windows NT4.0のとき

ここでは、OSがWindows NT4.0のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要な設定について説明します。



参照

プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」（37 ページ）を参照してください。

### ▼ サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

#### 設 定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

#### 1 XL-C2000のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する



参照

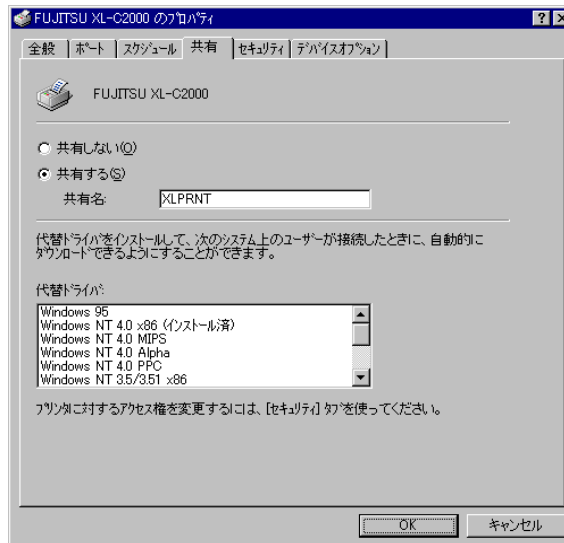
プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」（37 ページ）を参照してください。

#### 2 Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする

#### 3 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

#### 4 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

## 5 「共有する」を選択し、共有名を入力する



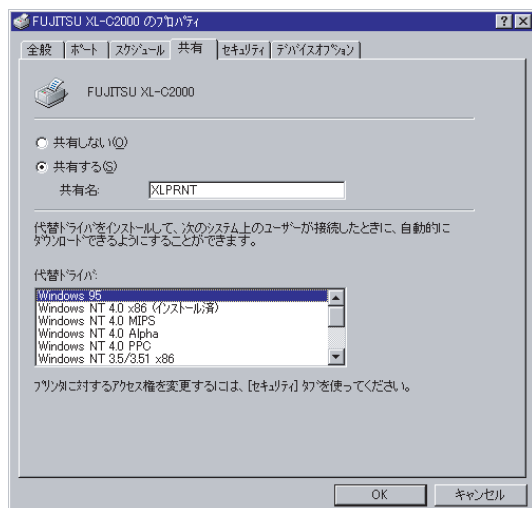
共有名.....共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

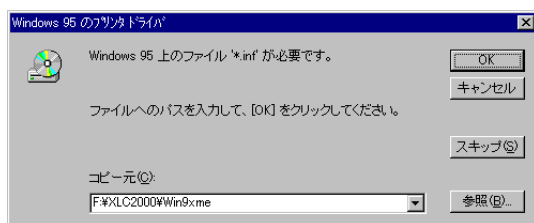
クライアントのOSがWindows 95/98/Meの場合は、引き続き手順6以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。



代替ドライバをインストールしないときは、[OK] をクリックして設定を終了します。



## 7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする



## 6 「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択し、[OK]をクリックする

### ガイド

Windows 98/Me の代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

## 8 「コピー元」に「F:¥XLC2000¥WIN9XME」と入力する、または[参照]をクリックして「F:¥XLC2000¥WIN9XME」を選択する (CD-ROM ドライブが F: のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

## ▼ クライアント側の設定

Windows NT4.0をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows NT4.0のクライアントからWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。



サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

### 準 備

クライアント側の設定には、本プリンタ添付のプリンタソフトウェアCD-ROMが必要です。（サーバがWindows 95/98/Meのとき）

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ.....Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント .....Windows NT4.0が動作するパソコンです。

## 設 定

- 1   〔スタート〕-〔プログラム〕-〔Windows NTエクスプローラ〕  
の順に選択する
- 2   〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、一覧から共有  
プリンタのサーバをクリックする
- 3   〔プリンタ〕をクリックする  
利用可能な共有プリンタが表示されます。
- 4   設定を行う共有プリンタを右クリックし、〔インストール〕  
をクリックする  
ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加  
されたらプリンタドライバのインストールは完了です。



# Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき

ここでは、OSがWindows 2000/XP/Windows Server 2003のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要な設定について説明します。



参照

プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」（37 ページ）を参照してください。

## ▼ サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

- 1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003を起動し、管理者権限でログオンする



参照

プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」（37 ページ）を参照してください。

- 2 〔共有プリンタ〕を選択する

Windows 2000の場合：

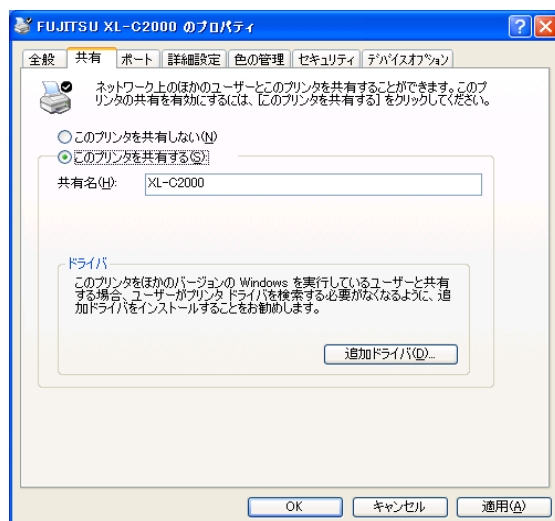
〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕－〔プリンタとFAX〕を選択し、共有するプリンタをクリックします。

- 3 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

## 4 「共有する」を選択し、共有名を入力する



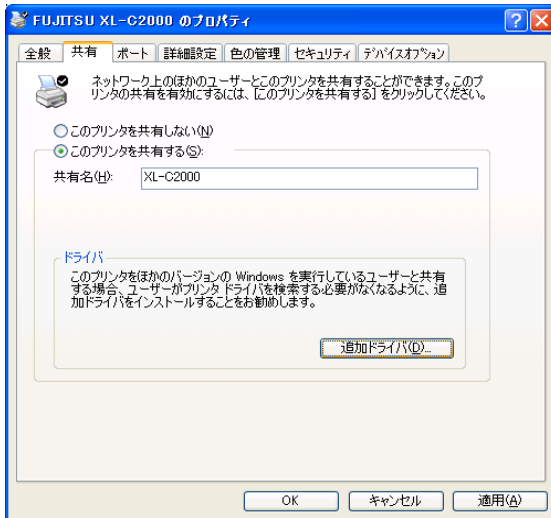
共有名 ..... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。

ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0の場合は、引き続き手順4以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。



- ・追加ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。
- ・共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。



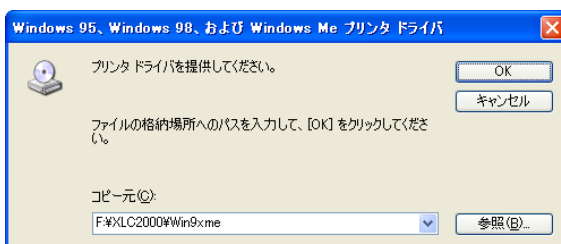
5 「追加ドライバ」をクリックする



6 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSをチェックし、「OK」をクリックする

(画面はクライアントがWindows 95/98/Me用のとき)

7 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、「OK」をクリックする



8 「コピー元」にクライアントのOS用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または「参照」をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、「開く」をクリックする

入力が終わったら「OK」をクリックします。



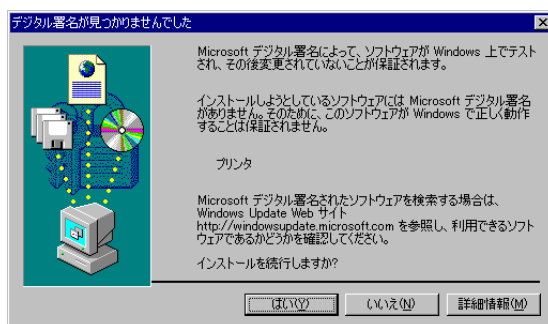
プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。  
(CD-ROMドライブがF:の場合)

クライアントのOS	フォルダ名
Windows 95/98/Me	F:\¥XLC2000¥WIN9XME
Windows NT4.0	F:\¥XLC2000¥WINNT
Windows 2000	F:\¥XLC2000¥WIN2000
Windows XP/ Windows Server 2003	F:\¥XLC2000¥WINXP

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

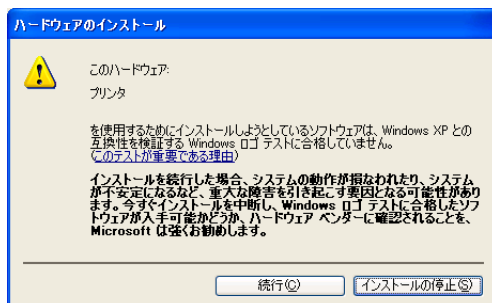
### ▶ Windows 2000の場合

〔デジタル署名が見つかりませんでした〕ダイアログが表示されたときは、〔はい〕を選択してください。



### ▶ Windows XP/Windows Server 2003の場合

〔ハードウェアのインストール〕ダイアログが表示されたときは、〔続行〕を選択してください。



## ▼ クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。  
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

### ネットワーク経由による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

#### ▶ お願い

サーバが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」(90 ページ)でインストールしてください。

#### ▶ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ.....Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント .....Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

## ▶ 設 定

1 Windows 2000の場合：  
〔スタート〕-〔プログラム〕-〔アクセサリ〕-〔エクスプローラ〕の順に選択する

Windows XP/Windows Server 2003の場合：  
〔スタート〕-〔すべてのプログラム〕-〔アクセサリ〕-〔エクスプローラ〕の順に選択する

2 〔マイネットワーク〕の〔ネットワーク全体〕を表示し、〔コンピュータの検索〕(Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔検索〕)をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

### ポート変更による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからサーバがWindows 2000/XP/Windows Server 2003以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定してCD-ROMからプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。  
この際、管理者権限でログオンしてください。

## ▶ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ.....Windows 95/98/Me/NT4.0が動作するパソコンです。

あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント .....Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。

## ▶ 設 定

### 1 プリンタドライバをインストールする



プリンタドライバのインストールについては、「第2章 プリンタドライバのインストール」(31 ページ)を参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート(ローカルポート:LPT1など)を、テスト印刷は「いいえ」(テスト印刷をしない)を選択します。



2を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

### 2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

#### 1 Windows 2000の場合：

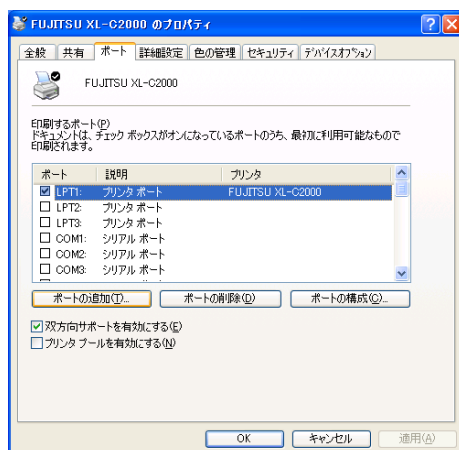
〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する

Windows XP/Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕－〔プリンタとFAX〕を選択し、設定を行うプリンタを選択する

#### 2〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕タブをクリックする

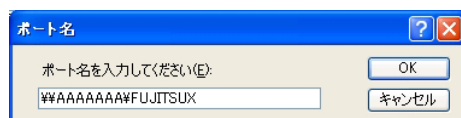
### 3 [ポートの追加] をクリックする



### 4 「Local Port」を選択し、[新しいポート] をクリックする



### 5 [ポート名] ダイアログに共有プリンタのネットワークパス(「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥¥プリンタの共有名」)を入力する 入力が終わったら、[OK] をクリックして設定を終了します。





# 第5章

## Webサーバ機能

### (Color Printia LASER Internet Service)



この章では、Webサーバ機能（Color Printia LASER Internet Service）の使用環境や利用方法について説明します。

Color Printia LASER Internet Serviceの概要.....	94
Color Printia LASER Internet Serviceの画面構成.....	96
Color Printia LASER Internet Serviceを利用する....	97
ブラウザを設定する.....	97
プロキシサーバを設定する .....	99
プリンタ側の設定を行う .....	101
Color Printia LASER Internet Serviceについて設定できる項目 .....	101
Color Printia LASER Internet Serviceを使用する...	105
Color Printia LASER Internet Serviceの機能一覧...	107
設定を変更する .....	129

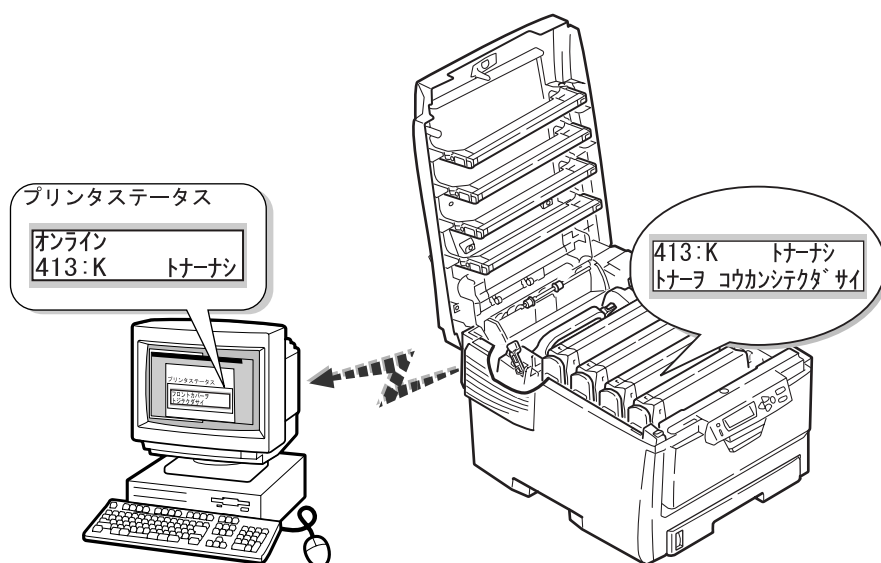
## Color Printia LASER Internet Serviceの概要

ネットワークに接続されたXLプリンタの状態を参照／印刷したり、プリンタの各種設定を行ったりすることができます。

また、プリンタに搭載された機能のため、Webブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用のソフトをインストールせずに使用することが可能です。

この機能を、「Color Printia LASER Internet Service (カラープリンティアレーザインターネットサービス)」と呼びます。

Color Printia LASER Internet Serviceでは、プリンタにセットされている消耗品などの残量も確認できます。



Color Printia LASER Internet Serviceを使用できる環境、OS、およびブラウザは、以下のとおりです。

### 使用できる環境について

Color Printia LASER Internet Serviceを利用するには、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク環境が必要です。

## OSについて

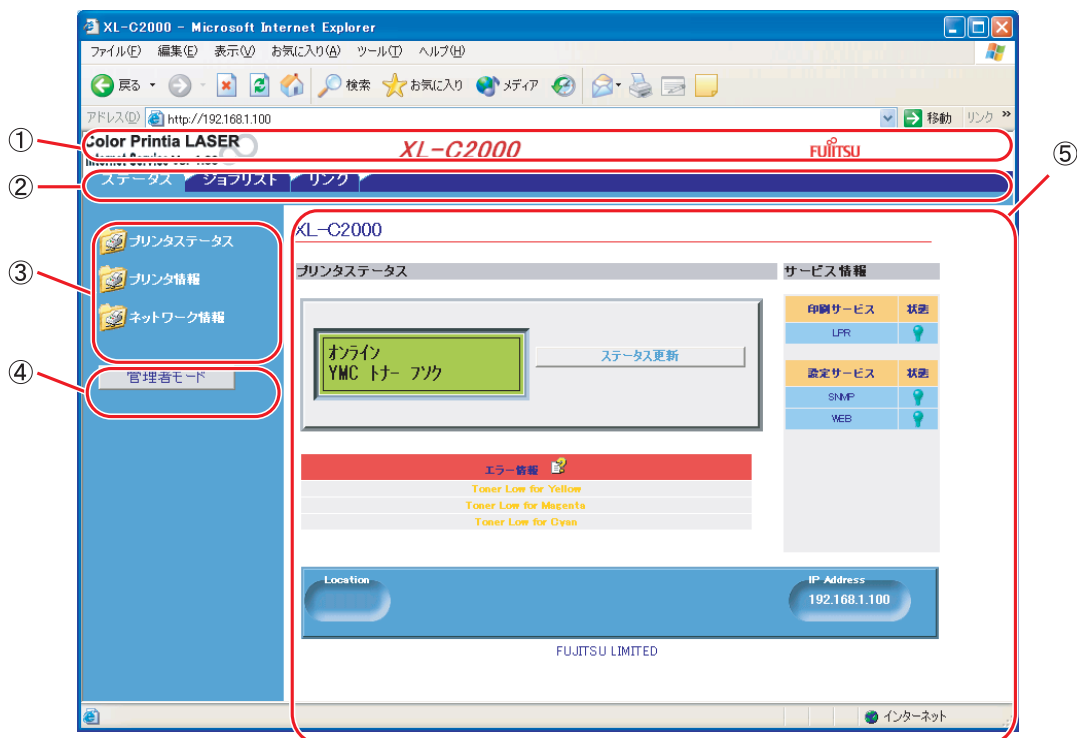
- Windows 95
- Windows 98
- Windows Me
- Windows NT4.0
- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Server 2003

## ブラウザについて

- Netscape<sup>®</sup> Communicator 4.0以上
- Microsoft<sup>®</sup> Internet Explorer 4.0以上

## Color Printia LASER Internet Serviceの画面構成

Color Printia LASER Internet Serviceの画面構成について説明します。



- ①タイトル タイトルロゴとプリンタモデル名を表示します。
- ②カテゴリタブ 各カテゴリに移動するタブ（リンク）を表示します。
- ③メニュー カテゴリ内のリンク先メニューを表示します。
- ④管理者モード 管理者用のボタンをクリックし、ユーザ名とパスワードを入力すると管理者モードを表示します。
- ⑤情報 [カテゴリ] タブで選択したトップメニューの情報やメニューで選択した情報を表示します。



一部の項目では、ヘルプを参照できます。

ヘルプアイコンをクリックすると詳しい説明を表示します。

# Color Printia LASER Internet Serviceを利用する

Color Printia LASER Internet Serviceを利用する場合の設定と機能について説明します。

## ▼ ブラウザを設定する

本サービスを利用する前に、使用するWebブラウザで以下の設定を確認してください。

### Netscape Communicatorでの確認

ここではバージョン4.75で設定する場合を例に説明します。

- 1 「編集」メニューの「設定…」をクリックする
- 2 「カテゴリ」で「詳細」をクリックする
- 3 「JavaScriptを有効にする」がオンになっていることを確認する
- 4 「カテゴリ」の「詳細」の左にある「+」を選択する
- 5 「詳細」の下「キャッシュ」を選択する
- 6 「キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較」で、「セッション毎」または「毎回」を選択する
- 7 「OK」をクリックする  
ダイアログを閉じます。

## Internet Explorerでの確認

ここではバージョン5.50で設定する場合を例に説明します。

- 1 「ツール」メニューから「インターネット オプション...」を選択する

バージョン4.xでは、「表示」メニューから「インターネット オプション...」を選択します。

- 2 「全般」タブにある、「インターネット一時ファイル」の「設定...」をクリックする

- 3 「設定」ダイアログの「保存しているページの新しいバージョンの確認:」で、「ページを表示することに確認する」または「Internet Explorerを起動することに確認する」を選択し、「OK」をクリックする

- 4 「セキュリティ」タブをクリックする

- 5 「イントラネットゾーン」の「このゾーンのセキュリティレベル」で「レベルのカスタマイズ」をクリックする

- 6 「Java」の「Javaの許可」で「Javaを無効にする」以外に設定し、「OK」をクリックする

- 7 「インターネットオプション」ダイアログの「OK」をクリックする

ダイアログを閉じます。



Internet Explorerのバージョン5では、パラメータとして不正な値が入力されると、「ページが見つかりません」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、次のように設定してください。

- 1 Internet Explorerの「ツール」メニューの「インターネットオプション」を選択します。
- 2 「詳細設定」タブの「ブラウズ」の「HTTP エラーメッセージを簡易表示する」がオンの場合は、オフにします。



## ▼ プロキシサーバを設定する

Color Printia LASER Internet Service を利用する場合のプロキシサーバの設定について説明します。

Color Printia LASER Internet Service を使用する場合には、プロキシサーバを経由しないで直接接続することをお勧めします。

### Netscape Communicator の場合

ここでは、バージョン4.75で設定する場合を例に説明します。

- 1 **〔編集〕メニューの〔設定〕をクリックする**  
〔設定〕ダイアログが表示されます。
- 2 **〔カテゴリ〕のツリーの〔詳細〕の左にあるマークをクリックする**  
〔詳細〕の下に〔プロキシ〕が表示されます。
- 3 **〔プロキシ〕をクリックする**  
右側のフレームに〔プロキシ〕ページが表示されます。  
  
 バージョン6.0/6.1/6.2/7.0/7.1 で設定されている場合は、手順5の「ガイド」に進んでください。
- 4 **〔手動でプロキシを設定する〕をオンにし、〔表示〕をクリックする**
- 5 **〔次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない〕にプリンタのIPアドレスを入力し、〔OK〕をクリックする**  
  
 バージョン6.0/6.1/6.2/7.0/7.1 の場合は、〔プロキシなし〕にプリンタのIPアドレスを入力し、〔OK〕をクリックしてください。
- 6 **〔設定〕ダイアログで、〔OK〕をクリックする**

## Internet Explorerの場合

ここでは、バージョン5.50で設定する場合を例に説明します。

- 1 [ツール]メニューの[インターネットオプション]をクリックする  
[インターネットオプション]ダイアログが表示されます。
- 2 [接続]タブをクリックする
- 3 [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定]の[LANの設定...]をクリックする
- 4 [プロキシサーバ]の[プロキシサーバを使用する]を選択し、[詳細]をクリックする
- 5 [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックする
- 6 [OK]をクリックして順にダイアログを閉じ、最後に[インターネットオプション]ダイアログの[OK]をクリックする



プロキシサーバを経由する場合、ブラウザでプリンタのIPアドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その時は、ブラウザ側でプリンタのIPアドレスをプロキシサーバを使用しない経由しない設定にします。設定方法については、お使いのブラウザの説明書をご覧ください。



## ▼ プリンタ側の設定を行う

Color Printia LASER Internet Serviceを使用する場合は、プリンタ本体にIPアドレスが設定されている必要があります。



お願い

IPアドレスの設定の方法は、「IPアドレスを設定する」(21 ページ)を参照してください。

## ▼ Color Printia LASER Internet Serviceについて設定できる項目

本体側でColor Printia LASER Internet Serviceを起動したあと、Color Printia LASER Internet Serviceに関する以下の項目を設定できます。



参照

Color Printia LASER Internet Serviceの機能一覧(107ページ)を参照



参照

「設定を変更する」(129 ページ)を参照

5

タブ	メニュー	設定できる項目	工場出荷時
ステータス	プリンタステータス	Refreshing Interval (ステータスウィンドウの更新間隔)	1 分
プリンタ	印刷メニュー	コピー枚数	1
		用紙長さチェック	有効
		モノクロ印刷速度	モード 1
		セッティング(普通紙/ブラックトナー)	0
		セッティング(普通紙/カラートナー)	0
		セッティング(OHP/ブラックトナー)	0
		セッティング(OHP/カラートナー)	0
		印刷位置	
		X(横)補正	0.00
		Y(縦)補正	0.00
		両面印刷 X(横)補正	0.00
		両面印刷 Y(縦)補正	0.00
	メディアメニュー	トレイ構成	
		トレイ 1	A4
		トレイ 2	A4
		MPトレイ	A4

タブ	メニュー	設定できる項目		工場出荷時
プリンタ	カラーメニュー	UCR		少ない
		CMY 100% 濃度		無効
		自動濃度補正モード		オン
		濃度補正		設定なし
		色ずれ補正		設定なし
		手動補正	シアン位置ずれ微調整	0
			マゼンタ位置ずれ微調整	0
			イエロー位置ずれ微調整	0
	プリンタ構成メニュー	パワーセーブ移行時間		60分
		ジャムリカバリ		オン
		タイムアウト印刷		40秒
	インターフェースメニュー	セントロ	双方向セントロ	有効
			ECP(双方向高速通信)	有効
			ACK 幅	狭い
			ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
			I-PRIME	無効
		USB	Speed	480Mbps
			ソフトリセット	無効
ネットワーク	一般設定	System Contact		設定なし
		System Name		設定なし
		System Location		設定なし
		プリンタ管理番号		設定なし
	TCP/IP	IPアドレスの取得方法		自動取得
		IPアドレス		設定なし
		サブネットマスク		設定なし
		ゲートウェイアドレス		設定なし
		DNSサーバアドレス (プライマリ)		設定なし
		DNSサーバアドレス (セカンダリ)		設定なし

タブ	メニュー	設定できる項目	工場出荷時
ネットワーク	E-mail設定	SMTP送信	無効
		SMTPサーバ	設定なし
		プリンタEmailアドレス	設定なし
		返信先Emailアドレス	設定なし
		SMTPポート番号	25
		Email送信先設定	設定なし
		Email警告送信設定	設定なし
		Email署名	設定なし
	SNMP Traps	プリンタTrapコミュニティ名設定	Public
		プリンタTrapアドレス設定	設定なし
		プリンタTrap送信条件設定	設定なし
ジョブリスト	ジョブキュー	ジョブキュー表示項目設定	ドキュメント名
			ジョブ状態
			コンピュータ名
			ユーザー名
メンテナンス	設定/情報の印刷	設定内容	設定なし
		フォントリスト	設定なし
		エラーログ	設定なし
		テスト印刷	設定なし
	プリンタの再起動		設定なし
	ネットワークの再起動		設定なし
	設定初期化		設定なし
	操作パネルのロック		ロック解除
	サービスの設定	Webサービス	有効
		SNMPサービス	有効
	LANの規模設定		普通
	IPフィルタリング	IPフィルタリングの設定	無効
		IPフィルタリングの範囲設定	設定なし
		管理者IPアドレスの保存	設定なし

タブ	メニュー	設定できる項目	工場出荷時
メンテナンス	Hexダンプ		設定なし
	パスワード 設定/変更		設定なし
リンク	リンク編集 メニュー	サポートリンク5件 (*)	設定あり
		その他のリンク5件	設定なし

\*: サポートリンクの工場出荷時の設定URL

ドライバダウンロード:

<http://www.fmworld.net/biz/fmv/driversearch/printer.html>

テクニカルサポート:

<http://www.fmworld.net/biz/contact.html>

消耗品の注文:

<https://www.coworco.com/servlet/LoginUser>

製品情報:

<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/printer1.html>

富士通のホームページ:

<http://jp.fujitsu.com/>

上記URL情報は工場出荷後に変更されることがあります。

その場合は、管理者モードに切り替えてURL情報を更新してください。



参照

「設定を変更する」(129 ページ) を参照

## Color Printia LASER Internet Serviceを使用する

Color Printia LASER Internet Serviceを使用する場合は、次の手順にしたがってブラウザを起動してください。

- 1 パソコンを起動し、ブラウザを起動する
- 2 ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、[Enter] キーを押す



- ・ プリンタの IP アドレスがわからない場合は、FUJITSU LPRユーティリティでネットワークに接続された本プリンタのIPアドレスを検索するか、設定内容の一覧を印刷して確認してください。設定内容一覧の印刷方法は、「第1章 設定内容の一覧を印刷する」(20 ページ)を参照してください。
- ・ ネットワークがDNS(Domain Name System)を使用していてDNSのネームサーバにプリンタのホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせた「インターネットアドレス」を使用して、プリンタにアクセスできます。
- ・ DNSとは、インターネットでホスト名からIPアドレスを入手するための名前解決サービスです。ネットワークでDNSを使用しているかどうかや、プリンタのインターネットアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

- ・ プリンタのIPアドレスを指定した例  
(IPアドレスがaaa.bbb.ccc.dddの場合)  
「http://aaa.bbb.ccc.ddd/」



- ・ インターネットアドレスを指定した例  
(インターネットアドレスがXL-C2000.aaa.bbb.fujitsu.com (ホスト名:XL-C2000、ドメイン名:aaa.bbb.fujitsu.com) の場合)



Color Printia LASER Internet Serviceの画面が表示されます。



**参照** 「Color Printia LASER Internet Serviceの画面構成」  
(96 ページ) を参照

## Color Printia LASER Internet Serviceの機能一覧

Color Printia LASER Internet Serviceの各機能の概要を、カテゴリタブ別に説明します。また、注意の必要な項目には「\*」を付け、詳細な説明をしています。

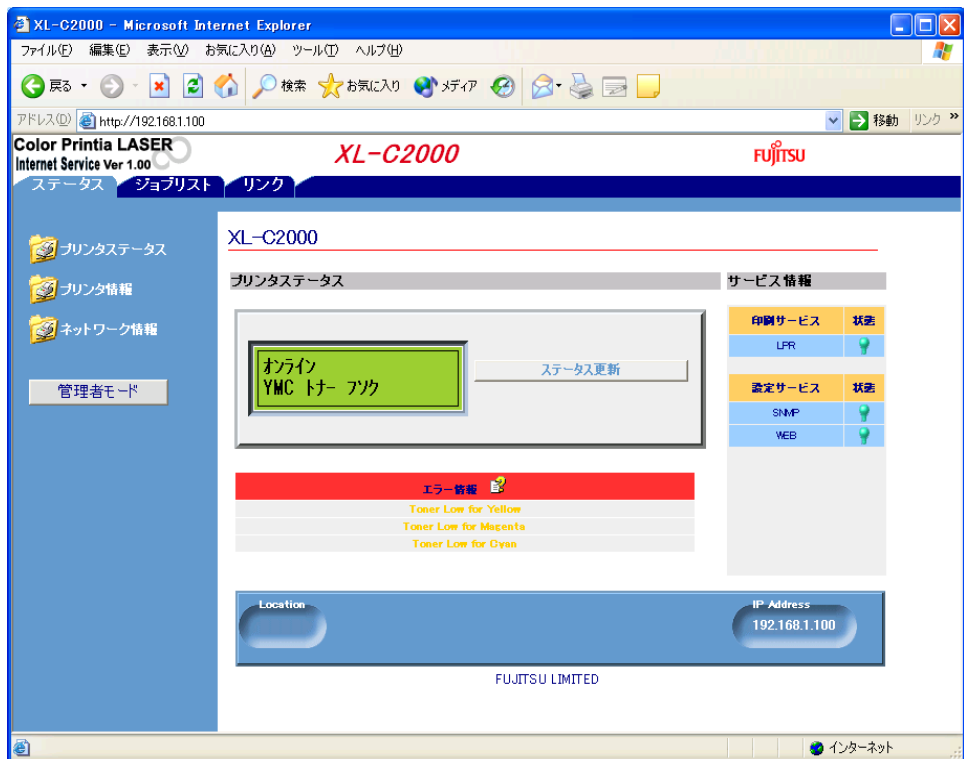
本Color Printia LASER Internet Serviceには、通常モードと管理者モードの2種類のモードがあります。

通常モードでは、ステータス、ジョブリスト、リンクの3種類のカテゴリタブを表示でき、管理者モードでは、ステータス、プリンタ、ネットワーク、ジョブリスト、メンテナンス、リンクの6種類のカテゴリタブを表示し、各カテゴリタブの設定を変更することができます。



「設定を変更する」(129 ページ)を参照

### ▶ 通常モード時の画面



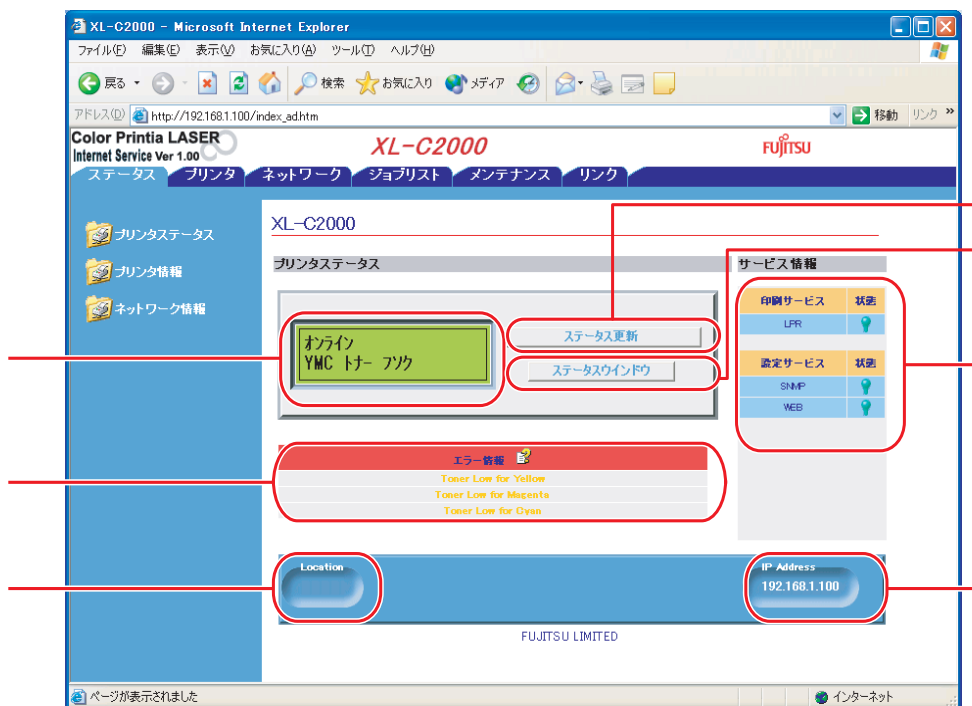
## ▶ 管理者モード時の画面








## ステータスタブ

このカテゴリタブでは、プリンタステータス、プリンタ情報、ネットワーク情報が確認できます。



5

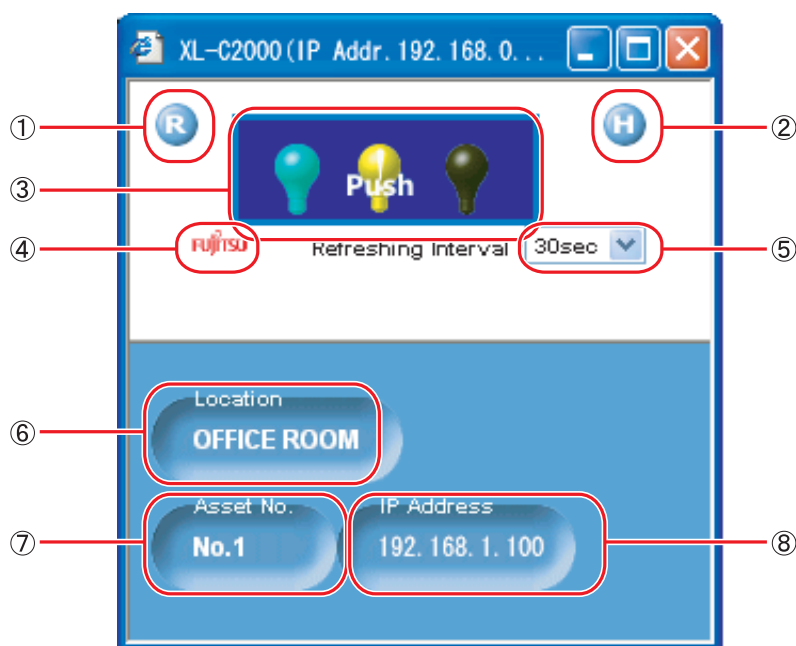
	設定できる項目	説 明
①	オペレータパネル ウィンドウ	プリンタのオペレータパネルと同じ内容を表示します。ただし、表示内容が多少異なることがあります。  <div>  <b>参照</b> 表示内容については『XL-C2000 取扱説明書』「第11章 こんなときには」を参照 </div>
②	ステータス更新ボ タン	ステータスタブの情報を更新します。
③	ステータスウィ ンドウボタン	ステータスウィンドウ（111 ページ）を開きます。
④	エラー情報	エラー情報を表示します。エラー情報が無い場合には表示されません。  <div>  <b>参照</b> 「エラー情報」（177 ページ）を参照 </div>

	設定できる項目	説 明
⑤	サービス情報	XL-C2000のネットワークサービスであるLPR、SNMP、Web (Internet Service) を表示します。 ランプ点灯（緑色）時にネットワークサービスが使用できます。
⑥	Location	〔ネットワークタブ〕 - 〔一般設定メニュー〕の〔System Location〕にて設定された内容を表示します。  <u>参照</u> 〔System Location〕の設定方法は、「ネットワークタブ」（119 ページ）を参照
⑦	IP Address	プリンタのIP アドレスを表示します。

● ステータスウィンドウ



ステータスウィンドウから、プリンタステータスの詳細情報が参照できます。

〔ステータス〕タブ-〔ステータスウィンドウ〕の順にクリックすると、ステータスウィンドウが開きます。



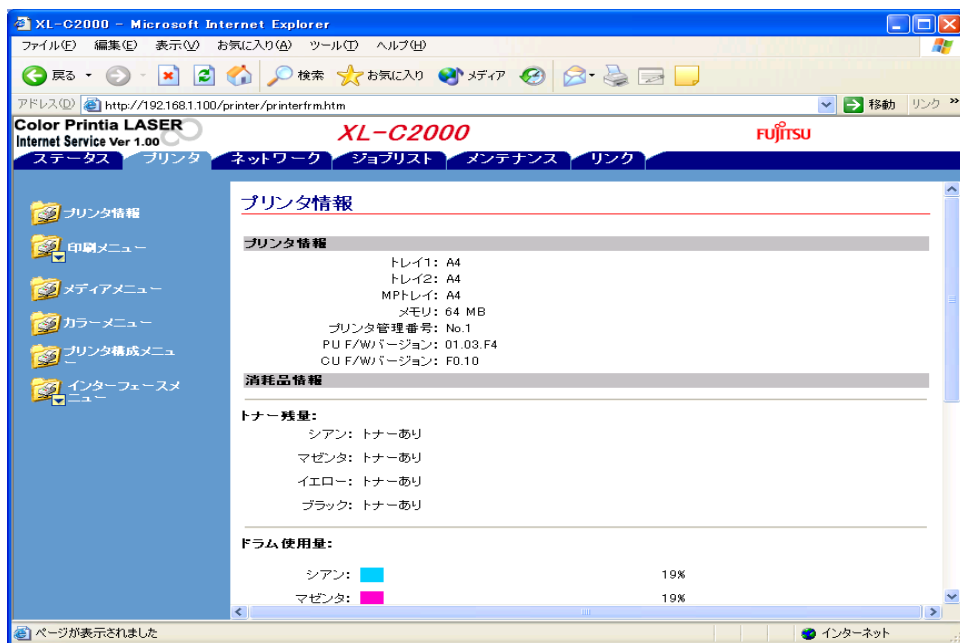
5

	設定できる項目	説 明
①	リフレッシュボタン	クリックすると、ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新します。
②	ホームボタン	クリックすると、ステータスタブを開きます。

設定できる項目	説 明
③ ステータスランプ	<p>プリンタのステータスをランプの色で表現します。</p> <p>緑（左）：点灯時-印刷可、消灯時-印刷不可</p> <p>黄（中）：点灯時-注意レベルのエラー有り、クリックするとエラー情報が表示されます。</p> <p>赤（右）：点滅時-警告レベルのエラー有り、クリックするとエラー情報が表示されます。</p> <p> <b>参照</b> エラー情報については「エラー情報」（177 ページ）を参照</p>
④ 富士通ロゴ	<p>クリックすると、富士通のホームページを開きます。</p>
⑤ リフレッシュ間隔	<p>ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新する間隔を表示します。</p> <p>また、30秒、1分、5分、10分、1時間 およびOFF（自動で更新しない）を選択して設定できます。</p>
⑥ Location	<p>〔ネットワーク〕タブ-〔一般設定〕メニューの〔System Location〕にて設定された内容を表示します。</p>
⑦ Asset No.	<p>〔ネットワーク〕タブ-〔一般設定〕メニューの〔プリンタ管理番号〕にて設定された内容を表示します。</p> <p> <b>参照</b> 〔System Location〕と〔プリンタ管理番号〕の設定方法は、「ネットワークタブ」（119 ページ）を参照</p>
⑧ IP Address	<p>プリンタのIP アドレスを表示します。</p>

## プリンタタブ

このカテゴリタブでは、プリンタ情報やプリンタに関する情報が確認できます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
印刷 メニュー	印刷方法	
	コピー枚数	コピー枚数を設定します。
	両面印刷	両面印刷するかどうかを指定します。 オフ：両面印刷を行いません。 オン：両面印刷を行います。また、オンの場合とじしろ位置を設定することができます。
	綴じ方	横綴じ：用紙の長辺をとじます。ポートレイトの場合（用紙を縦置きにした場合）、裏面は表面と同じ方向に印刷します。左辺または右辺をとじる時に見やすい印刷結果となります。ランドスケープの場合（用紙を横置きにした場合）、裏面は表面と逆方向に印刷します。上辺または下辺をとじる時に見やすい印刷結果となります。 縦綴じ：用紙の短辺をとじます。ポートレイトの場合（用紙を縦置きにした場合）、裏面は表面と逆方向に印刷します。上辺または下辺をとじる時に見やすい印刷結果となります。ランドスケープ場合（用紙を横置きにした場合）、裏面は表面と同じ方向に印刷します。左辺または右辺をとじる時に見やすい印刷結果となります。
	用紙長さチェック	印刷データ内で指定されている用紙サイズと、マルチパーパストレイ（MPトレイ）にセットされている用紙サイズが異なっている場合に、警告を出して印刷を一時停止するかどうかを選択します。注意：定型サイズの用紙のみがチェック対象となります。

メニュー	設定できる項目	説明
印刷 メニュー	印刷方法	モノクロページの印刷速度を設定します。
	モノクロ 印刷速度	モード1： カラー／モノクロが混在したデータの処理に応じて最適な印刷速度になります。 ただし、カラーページの印刷後は、すべてカラー印刷速度(A4印刷時は12ppm)になります。 モード2： カラー印刷速度 (A4印刷時は12ppm) になります。 モード3： モノクロ印刷速度(A4印刷時は20ppm) になります。
	印刷品質	普通紙印刷で、ブラックの印字結果にかすれ、汚れなどが発生する場合に、調整を行うことができます。 印刷がかすれる場合には＋方向へ、汚れが発生する場合には－方向へ値を変更してください。
	セッティング (普通紙/ ブラックトナー)	普通紙印刷で、カラーの印字結果にかすれ、汚れなどが発生する場合に、調整を行うことができます。 印刷がかすれる場合には＋方向へ、汚れが発生する場合には－方向へ値を変更してください。
	セッティング (OHP/ブラック トナー)	OHPフィルム印刷で、ブラックの印字結果にかすれ、汚れなどが発生する場合に、調整を行うことができます。 印刷がかすれる場合には＋方向へ、汚れが発生する場合には－方向へ値を変更してください。
	セッティング (OHP/カラー トナー)	OHPフィルム印刷で、カラーの印字結果にかすれ、汚れなどが発生する場合に、調整を行うことができます。 印刷がかすれる場合には＋方向へ、汚れが発生する場合には－方向へ値を変更してください。
	印刷位置	X(横) 補正
		Y(縦) 補正
		X方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は、表面／裏面ともに微調整します。
		Y方向の印刷位置を微調整します。 両面印刷時は、表面／裏面ともに微調整します。

メニュー	設定できる項目	説明
印刷 メニュー	印刷位置 両面印刷X（横） 補正	両面印刷の場合、裏面のX方向のみ印刷位置を微調整します。〔X ホセイ〕と加算した値が裏面の補正值となります（両面ユニット実装時のみ表示）。
	両面印刷Y（縦） 補正	両面印刷の場合、裏面のY方向のみ印刷位置を微調整します。〔Y ホセイ〕と加算した値が裏面の補正值となります（両面ユニット実装時のみ表示）。
メディアメニュー	トレイ1	トレイ1の用紙サイズを設定します。
	トレイ2	トレイ2の用紙サイズを設定します。
	MPトレイ	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。
カラー メニュー	UCR	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色のトナーで表現されている部分から、シアン、マゼンタ、イエローの3色のトナーを取り除き、これをブラックに置き換える割合を選択します。 シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック4色のトナーで表現されている部分にトナーがのりすぎてベトベト感を感じたり、用紙のカールが発生したときは、「普通」や「多い」を選択すると、トナーののり過ぎやカール量が軽減されることがあります。
	CMY 100% 濃度	CMY（シアン、マゼンタ、イエロー）濃度を有効とするかどうかを設定します。 無効の場合は、諧調補正機能によりCMY100%諧調値に対してCMYの100%出力とならない場合があります。 有効の場合は、CMYの100%出力となり、ベタ画像の多い印刷が鮮やかになる場合があります。
	自動濃度補正 モード	濃度補正と諧調補正を自動で行なうかを選択します。 自動の場合：プリンタは自動的に濃度補正を実行し、諧調補正に反映します。
	濃度補正	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行い、諧調補正に反映します。
	色ずれ補正	実行を選択すると、プリンタは直ちに色ずれ補正を行います。



印刷中に濃度補正および色ずれ補正を設定すると、設定が反映されないことがあります。

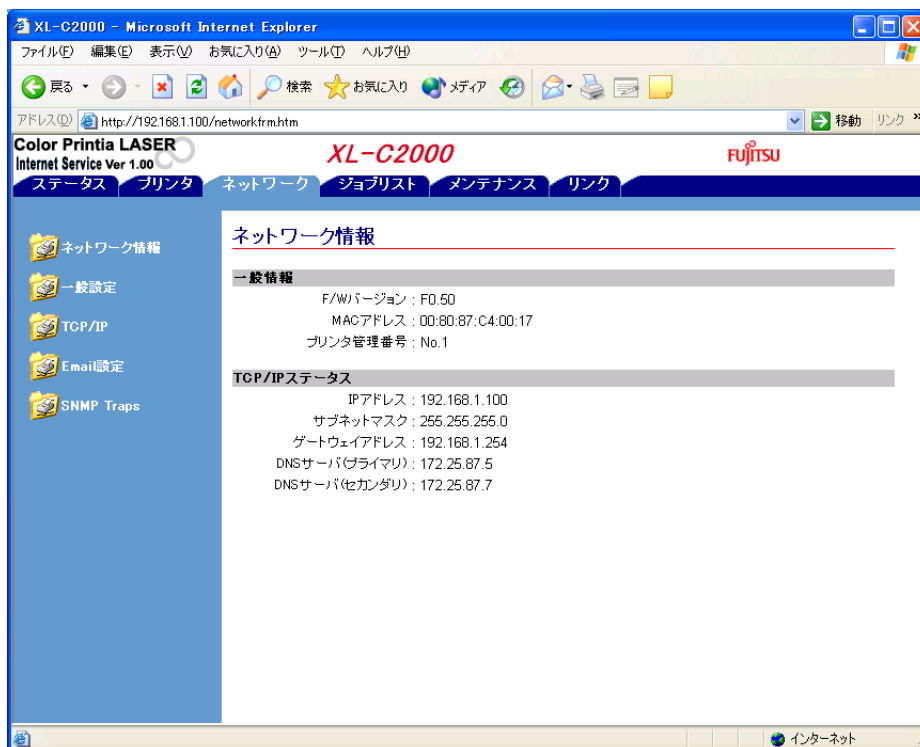


メニュー	設定できる項目	説明
カラー メニュー	手動補正 (各色の位置ずれ 微調整)	用紙に印刷される画像の上下の位置を微調整します。 用紙走行方向を上とするとプラスを設定した場合、画像が相対的に下方向にずれます。
プリンタ構成 メニュー	パワーセーブ 移行時間	パワーセーブモードに移行する時間を設定します。5分、15分、30分、60分、240分から選択して設定できます。
	ジャムリカバー	印刷中に紙詰まりが発生した場合、復旧後、紙詰まりが発生したページの再印刷を、行うかどうかを設定します。
	タイムアウト 印刷	印刷ジョブの受信中に受信が途絶えた場合に、後続のデータを待つ時間を設定します。0= オフ、5～300(秒)の範囲で設定できます。
インター フェース メニュー	セントロ 双方向セントロ	双方向通信をサポートするかを選択します。 有効：双方向通常通信（ニブル）をサポートします。 無効：双方向通信をサポートしません。
	ECP(双方向 高速通信)	セントロ及び双方向セントロが有効の場合に、双方向高速通信（ECP）をサポートするかを選択します。 有効：より高速な通信を行うことができます。 無効：双方向通常通信（ニブル）をサポートします。
	ACK 幅	双方向通常通信（ニブル）受信時の受信速度を設定します。ACK 幅が短いほど、高速で受信することができます。通常は、初期値のまま使用してください。
	ACK/BUSY タイミング：	双方向通常通信（ニブル）受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。通常は、初期値のまま使用してください。 ただし、初期値のまま使用して、受信できない場合にはACK WHILE BUSYに変更してください。
	I-PRIME	I-PRIME 信号の有効時間/無効を設定します。セントロインターフェースの受信バッファをクリアする場合に、“I-PRIME”機能を使用するソフトウェアがあります。そのようなソフトウェアを使用し、セントロインターフェースをリセットしたい場合には、本項目は有効に設定しておく必要があります。

メニュー		設定できる項目	説 明
インター フェース メニュー	USB	Speed	USBインターフェースの最大転送速度を設定します。
		ソフトリセット	ソフトリセットコマンドの有効/無効を設定します。USBインターフェースの受信バッファをクリアする場合に、“ソフトリセット”機能を使用するソフトウェアがあります。そのようなソフトウェアを使用し、USBインターフェースをリセットしたい場合には、本項目は有効に設定しておく必要があります。

## ネットワークタブ

このカテゴリタブでは、ネットワーク情報、Eメール設定、SNMP設定が確認できます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
一般設定	System Contact	連絡先等の情報を入力します。1～255文字の半角英数字を入力できます。
	System Name <sup>(※1)</sup>	プリンタの名前等の情報を入力します。1～63文字の半角英数字で入力できます。
	System Location	設置場所等の情報を入力します。1～255文字の半角英数字で入力できます。
	プリンタ管理番号	プリンタの管理番号を入力します。1～8文字の半角英数字で入力できます。
TCP/IP	IPアドレスの取得方法	IPアドレスの取得方法にて自動で取得するか手動で設定するかを設定します。
	IPアドレス	IPアドレスを設定します。
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを設定します。
	DNSサーバアドレス (プライマリ)	DNSサーバアドレス (プライマリ) の設定をします。
	DNSサーバアドレス (セカンダリ)	DNSサーバアドレス (セカンダリ) の設定をします。
Email 設定 (※2)	SMTP送信	Eメールのサービスを使用するかしないかを設定します。
	SMTPサーバ	プリンタがEメールを送信する際に経由するSMTPサーバのアドレスを設定します。1～64文字の半角英数字を入力できます。
	プリンタ Email アドレス	送信元アドレス (本プリンタのアドレス) を設定します。1～64文字の半角英数字を入力できます。
	返信先Email アドレス	送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するアドレスを設定します。1～78文字の半角英数字を入力できます。
	SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。(通常は、工場出荷時設定のまま使用してください)
	Email送信先設定	Eメール送信先のアドレスを5件まで設定できます。1～78文字の半角英数字を入力できます。

メニュー	設定できる項目	説 明
Email 設定 (*2)	Email警告送信 設定	設定した各アドレスについて、Eメール を通知する条件を設定します。
	Email署名	Eメールの署名を63文字×4行まで入 力できます。
SNMP Traps	プリンタTrap コミュニティ名設定	Trap発行時のコミュニティ名を設定し ます。1～31文字の半角英数字を入力 できます。
	プリンタTrap アドレス設定	Trap発行先アドレスを5件まで設定で きます。
	プリンタTrap(*3) 送信条件設定	設定した各アドレスについて、Trapを 通知する条件を設定します。

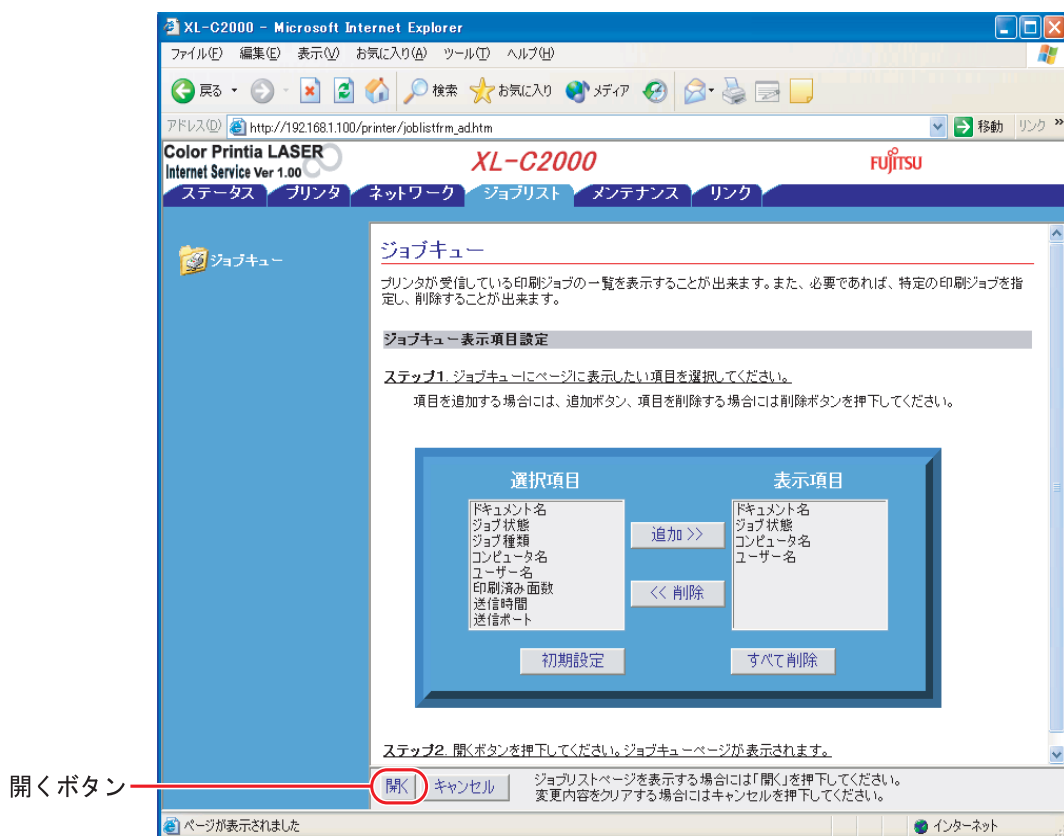
\*1: 「System Nameの設定」(130 ページ) を参照してくだ  
さい。

\*2: 「Eメールの設定」(131 ページ) を参照してください。

\*3: 「SNMPトラップ (プリンタTrap送信条件)」(136 ペ  
ージ) を参照してください。

## ジョブリストタブ

このカテゴリタブでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧およびジョブキューページを設定できます。また、ジョブキューページでは特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
ジョブキュー	ジョブキュー表示 項目設定	8種類のジョブキューを選択して設定します。

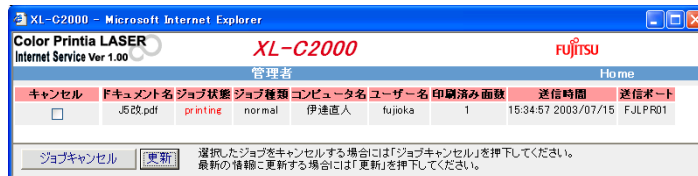
ジョブキューページは、「開く」ボタンをクリックすると表示できます。



ジョブキューページを1度表示すると、2回目以降は「ジョブリスト」タブを選択すると自動的にジョブキューページも表示されるようになります。

● ジョブキューページ

ジョブキューページでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧を確認できます。また、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。



表示できる項目は次のとおりです。

表示項目	説 明	備 考
キャンセル	チェックボックスにチェックを入れ、ジョブキャンセルをクリックすると、ジョブ（印刷）をキャンセルできます。	
ドキュメント名	受信している印刷ジョブのファイル名を表示します。	例) Microsoft Word Test.doc
ジョブ状態	ジョブに対するプリンタの状態を表示します。	表示 : 意味 ----- free : 未処理 preinterpreting : 先読み中 waiting : 編集待ち proprocessing : 編集中 proprocessed : 編集完了 printing : 印刷中 canceling : キャンセル中 finished : 終了
ジョブ種類	ジョブの種類を表示します。	表示 : 意味 ----- local : 設定内容、フォントリスト、エラーログ、またはテスト印刷 normal : 通常印刷ジョブ unknown : 未定ジョブ
コンピュータ名	印刷ジョブの送信元のWindowsに登録しているコンピュータ名を表示します。	例) FMV-XXXXXX
ユーザー名	印刷ジョブの送信元のWindowsに登録しているユーザー名を表示します。	例) Fujitsu
印刷済み面数	印刷済みのページ数を表示します。	例) 5
送信時間	印刷ジョブの送信開始時間、日付を表示します。	例) 17:19:09 2002/11/27
送信ポート	印刷ジョブの送信ポート名を表示します。	例) FJLPRO1

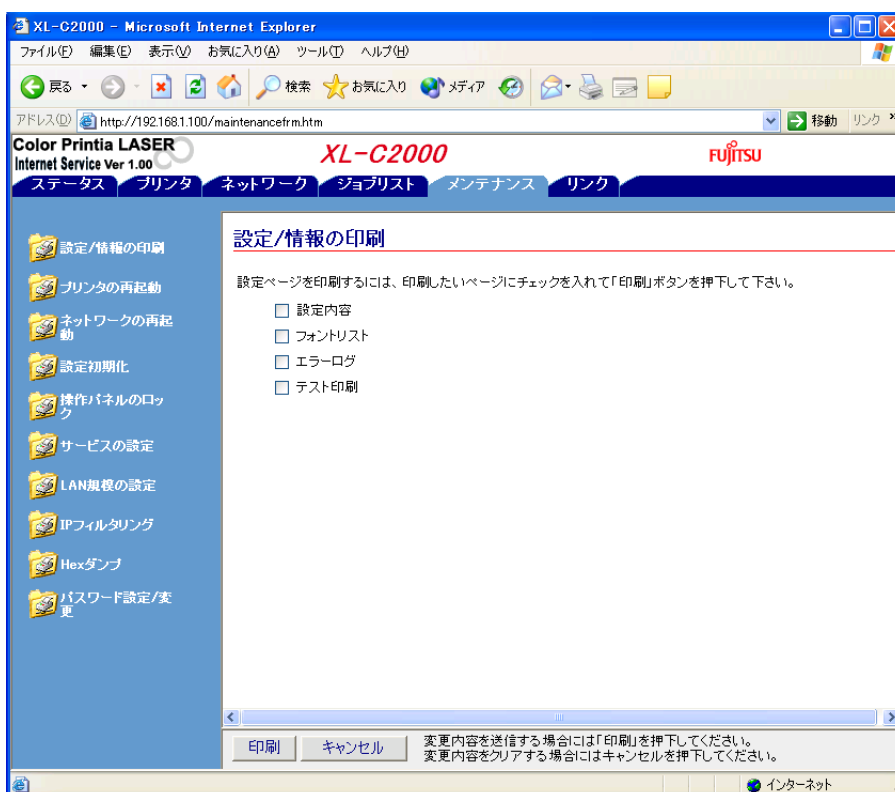
## メンテナンスタブ

このカテゴリタブでは、プリンタやネットワークの再起動ができます。また、特定のIPアドレスからのみプリンタを使用できる（IPフィルタリング）ように設定できます。



参照

IPアドレスを使用してプリンタの使用を制限する場合は、「プリンタへのアクセス制限（IPフィルタリング）」（138 ページ）を参照してください。





設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
設定／情報の印刷	設定／情報の印刷	設定内容、フォントリスト、エラーログの印刷、およびテスト印刷をします。
プリンタの再起動	プリンタの再起動	プリンタを再起動します。
ネットワークの再起動	ネットワークの再起動	プリンタのネットワークを再起動します。
設定初期化	設定初期化	プリンタの設定を工場出荷時設定に戻します。
操作パネルのロック	操作パネルのロック	プリンタのオペレータパネルを設定変更できないようにロックするかしないかを設定します。
サービスの設定	Web サービス	Web サーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service) の有効/無効を設定します。
	SNMP サービス	SNMP の有効/無効を設定します。

#### ガイド

- ・ 操作パネルのロックメニューでプリンタのオペレータパネルをロックした場合、プリンタの設定は変更できなくなります。
- ・ サービスの設定メニューでWebサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service) を無効に設定した場合、プリンタの設定は変更できなくなります。

#### 参照

Color Printia LASER Internet Serviceの管理者モードの画面が表示されない場合は、「プリンタ使用時のトラブル」の「オペレータパネルでの設定ができない」(170ページ)を参照してください。

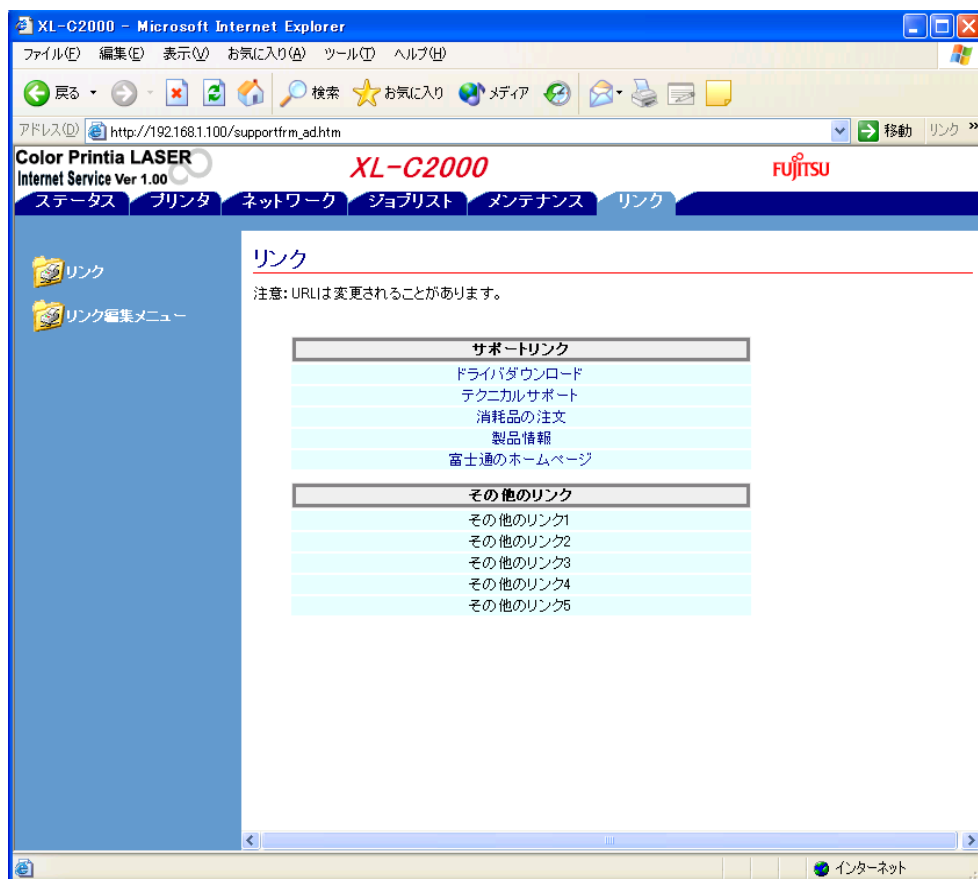
メニュー	設定できる項目	説 明
LANの規模 の設定	LAN	<p>普通： 通常は、この設定を使用してください。スパンニングツリー機能を持つ大規模なLANにも対応します。ただし、コンピュータが2、3台の小規模なLANに接続するとプリンタの起動時間が長くなります。</p> <p>小規模： コンピュータが2、3台の小規模LANから大型のLANまで対応します。ただし、スパンニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。</p>
IPフィルタ リング(*1)	IPフィルタリング の設定	IPアドレスにて印刷／設定の制限をするかしないかを設定します。
	IPフィルタリング の範囲設定	制限するIPアドレスの範囲を設定します。
	管理者IPアドレス の保存	管理者IPアドレスを登録すると、IPフィルタリングの対象外となります。
HEXダンプ	HEXダンプ	プリンタをHEXダンプモードにします。HEXダンプモードを終了するには電源をOFFしてください。HEXダンプモード時は、受信したデータを全て16進数で印刷します。
パスワード 設定／変更 (*2)	パスワード設定／ 変更	管理者のパスワードを変更します。1～15文字の半角英数字を入力してください。

\*1：「プリンタへのアクセス制限（IPフィルタリング）」  
（138 ページ）を参照してください。

\*2：「パスワードの変更」（129 ページ）を参照してください。

## リンクタブ

このカテゴリタブでは、プリンタに関するURLや管理者の設定したURLへのリンクを表示できます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
リンク編集メニュー	サポートリンク5件	URLを5件まで設定できます。URLは1～255文字の半角英数字を入力してください。
	その他のリンク5件	タイトルとURLを5件まで設定できます。タイトルは1～40文字、URLは1～255文字の半角英数字を入力してください。



〔その他のリンク〕は、「ネットワーク機能を初期化する」(19 ページ)を行うと、工場出荷時の値に設定し直されます。URLを変更する場合には、再設定できるようにメモを取っておくことをお勧めします。(工場出荷時の設定については、104ページを参照してください。)

## ▼ 設定を変更する

Color Printia LASER Internet Serviceの利用時に必要な設定の変更方法について説明します。

### 管理者モードへの切り替え

Color Printia LASER Internet Serviceでは、管理者モードで設定画面を表示させ、必要な設定を行った後画面下の〔送信〕をクリックすることで設定が確定します。

管理者モードにするには、通常モードのステータスタブの画面で〔管理者モード〕をクリックし、入力画面でユーザー名とパスワードを入力してください。



お願い

ユーザー名やパスワードは、工場出荷時に次のように設定されています。管理上の安全のため、できるだけ早い時期にパスワードを変更してください。

- ・ユーザー名 「xladmin」(固定)
- ・パスワード 「なし」

5

### パスワードの変更

次の手順にしたがって、パスワードを変更してください。

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 〔メンテナンス〕タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「パスワード設定 / 変更」をクリックする
- 4 新しいパスワードを入力する  
「新しいパスワードの入力」に新しいパスワードを入力したら、確認のため、「新しいパスワードの再入力」に再度同じパスワードを入力してください。
- 5 〔送信〕をクリックする  
パスワードの設定が変更されます。

## パスワードの初期化

ネットワーク機能を初期化することにより、Color Printia LASER Internet Serviceの管理者モードのパスワードを初期化できます。

パスワードを忘れた場合には、ネットワーク機能を初期化してください。

ネットワーク機能の初期化の方法は、「ネットワーク機能を初期化する」(19 ページ) を参照してください。

### お願い

ネットワーク機能を初期化すると、Color Printia LASER Internet Serviceおよびオペレータパネルでのネットワーク設定もすべて初期化されます。

## System Nameの設定

ネットワークタブの一般設定にある「System Name」には、プリンタ名等を設定してください。

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 [ネットワーク] タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「一般設定」をクリックする
- 4 「System Name」を入力する

5 [送信] をクリックする  
System Nameが設定されます。  
新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。



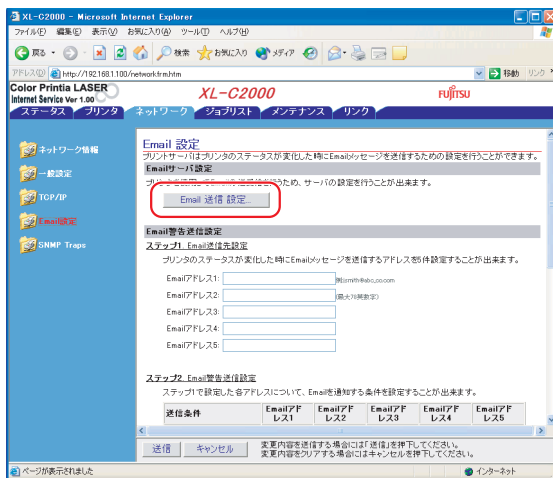
- 6 [1つ前のページ] をクリックする  
設定された内容を確認してください。

## Eメールの設定

Eメールの設定により、プリンタのステータスが変化した時にEメールのメッセージを送信します。

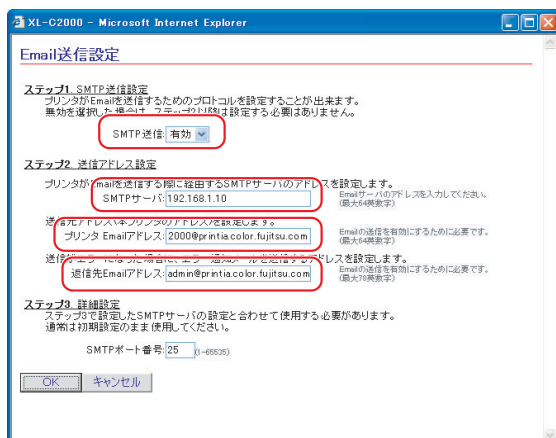
次の手順にしたがって、Eメールの設定を行ってください。

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 〔ネットワーク〕タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「Email設定」をクリックする



- 4 「Email送信設定」のボタンをクリックする

5



## 5 「Email送信設定」をステップに従って設定する

### ステップ1 SMTP送信設定

SMTP送信：有効

### ステップ2 送信アドレス設定

SMTPサーバ：

メールサーバのIPアドレス  
(1～64文字の半角英数字で入力してください。)

プリンタEmailアドレス：

プリンタのメールアドレス  
(1～64文字の半角英数字で入力してください。)

返信先Emailアドレス：

送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するメールアドレス(1～78文字の半角英数字で入力してください。ここでは、プリンタの管理者のメールアドレスを入力することをお勧めします。)

## 6 [OK] をクリックする

[ネットワーク] タブの設定画面に戻ります。

## 7 「Email警告送信設定」をステップに従って設定する

### ステップ1 Email送信先設定

プリンタのステータスが変化した時にEメールのメッセージを送信するアドレスを入力してください。

最大5件設定できます。(1～78文字の半角英数字で入力してください。)

### ステップ2 Email警告送信設定

ステップ1で設定した各アドレスについて、Eメールを送信する条件を設定してください。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説 明										
チェック間隔	<p>プリンタのステータスが変化し、以後Email警告送信条件が継続している状態のとき、設定したチェック間隔でEmail警告を繰り返し送信します。本設定は、チェック設定した送信条件に対してのみ有効となります。</p> <table border="1"> <tr> <td>設定値</td><td>Eメールの送信条件</td></tr> <tr> <td>無効 (デフォルト)</td><td>ステータスが変化したときのみEメールを送信</td></tr> <tr> <td>30分</td><td>ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後30分毎</td></tr> <tr> <td>60分</td><td>ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後60分毎</td></tr> <tr> <td>24時間</td><td>ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後24時間毎</td></tr> </table>	設定値	Eメールの送信条件	無効 (デフォルト)	ステータスが変化したときのみEメールを送信	30分	ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後30分毎	60分	ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後60分毎	24時間	ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後24時間毎
設定値	Eメールの送信条件										
無効 (デフォルト)	ステータスが変化したときのみEメールを送信										
30分	ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後30分毎										
60分	ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後60分毎										
24時間	ステータスが変化したときにEメールを送信し、以後24時間毎										
オフライン	チェック設定の場合は、プリンタがオフラインのときにEメール送信します。										
メンテナンス(ドラム、フューザ…)	チェック設定の場合は、ドラム(プロセスカートリッジ)が寿命にちかいときや、ドラム(プロセスカートリッジ)が正しくセットされていないときにEメール送信します。										
トナー交換	チェック設定の場合は、トナーの残量が少ないときや、トナーセンサーに異常が発生しているときにEメール送信します。										
用紙補充	チェック設定の場合は、各用紙トレイ(トレイ1、トレイ2、MPトレイ)に用紙がないとき、印刷時に用紙のないトレイを選択したときや、各用紙トレイが正しくセットされていないときにEメール送信します。										
用紙ジャム	チェック設定の場合は、装置内での紙詰まりが発生したときにEメール送信します。										
カバーオープン	チェック設定の場合は、トップカバーとトレイ2のカバーが開いているときにEメール送信します。										
スタッカエラー	本プリンタでは対象外です。										
ストレージエラー	本プリンタでは対象外です。										
復旧可能エラー	チェック設定の場合は、両面ユニット内の紙づまり発生時に両面ユニットが抜かれていたり、メモリアーオーバーフロー等のエラーが発生したときにEメール送信します。										

設定項目	説 明
サービスコール要求	<p>チェック設定の場合は、プリンタのハードウェアが故障したりプログラムが正常に働かなかったときにEメール送信します。</p> <p>プリンタの電源を切り、再度入れ直してください。</p> <p>それでも復旧しない場合は、ご購入元または『XL-C2000 取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。</p>

### ステップ3 Email署名

署名はプリンタからのEメールの送信メッセージの文末に付加する文字を任意に入力してください。

この欄は、連絡先、プリンタの詳細、消耗品の物品番号等を記述することができます。

全角日本語文字も入力可能ですが、正しく表示されない場合があるため、1～63文字の半角英数字での入力をお勧めします。

**8** 「Email 送信設定」と「Email 警告送信設定」の設定を確認し、〔送信〕をクリックする

**9** 〔1つ前のページ〕をクリックする

設定された内容を確認してください。

Eメールのメッセージをトップカバーが開いた時を例にして説明します。

タイトル（メールソフトによって表示内容が異なります。）

送信者: XL-C2000 <XL-C2000@aaa.bbb.ccc>	←送信者名（プリンタの型名『XL-C2000』：固定とプリンタのメールアドレスとえ先
宛先: Fujitsu-Taro@aaa.bbb.ccc	←宛先のメールアドレス
件名: Report mail from XL-C2000	←件名（『Report mail from CL-C2000』：固定）
日時: 2003年10月20日 8:41	←日時

**ガイド** 送信者と件名が固定となります。Email署名の記述により区別してください。

本文

IP Address: 172.25.14.11	←プリンタのIPアドレス
XL-C2000 F0.50	←プリンタの型名『XL-C2000』とFirmware Version
Ethernet Address: 00:80:87:C4:00:17	←プリンタLANカードのMACアドレス
Printer Name: XL-C2000	←プリンタの型名『XL-C2000』
[PRINTER STATUS]	
<40021> Cover Open for Upper cover	←ステータス：プリンタのトップカバーが開いています。
<10002> Off Line	←ステータス：オフラインです。
Dddd	←Email署名の1行目
Eeee	←Email署名の2行目
Ffff	←Email署名の3行目
Gggg	←Email署名の4行目

## SNMPトラップ（プリンタTrap送信条件）

SNMPネットワークモニタリングユーティリティを備えた機器（パソコン等）に通知するプリンタTrapの送信条件を説明します。

プリンタTrapの送信条件は次のとおりです。

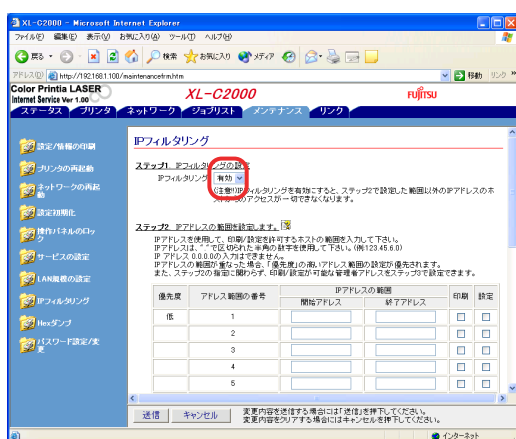
送信条件	プリンタTrap (Specific No.)	説 明
Trap送信許可	—	チェック設定の場合は、プリンタのステータスが変化したときにプリンタTrapを通知します。
プリンタ再起動	0	チェック設定の場合は、プリンタが再起動したときにプリンタTrapを通知します。
不正Trap受信	0	チェック設定の場合は、コミュニティに“public”または“internal”以外のSNMPパケットを受信したときにプリンタTrapを通知します。
オンライン	1	チェック設定の場合は、プリンタがオンラインになり印刷可能となったときにプリンタTrapを通知します。
オフライン	2	チェック設定の場合は、プリンタがオフラインになったときにプリンタTrapを通知します。
用紙なし	5	チェック設定の場合は、印刷時に各用紙トレイ（トレイ1、トレイ2、MPトレイ）に用紙がなくなったとき、印刷時に用紙のないトレイを選択したときや、各用紙トレイが正しくセットされなかったときにプリンタTrapを通知します。
用紙ジャム	6	チェック設定の場合は、装置内での紙詰まりが発生したときにプリンタTrapを通知します。
カバーオープン	7	チェック設定の場合は、トップカバー、フロントカバー、およびリアカバーが開いたときにプリンタTrapを通知します。

送信条件	プリンタTrap (Specific No.)	説 明
プリンタエラー	16	チェック設定の場合は、両面ユニット内の紙づまり発生時に両面ユニットが抜かれていたり、メモリアーバーフロー等のエラーが発生したときにプリンタTrapを通知します。また、プリンタのハードウェアが故障したりプログラムが正常に働かなかったときに、プリンタTrapを通知します。この場合、プリンタの電源を切り、再度入れ直してください。復旧しない場合は、ご購入元または『XL-C2000取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。

## プリンタへのアクセス制限 (IPフィルタリング)

IPアドレスを管理して、プリンタの使用を制限することができます。  
次の手順にしたがって、プリンタの使用を制限してください。

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 「メンテナンス」タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「IPフィルタリング」をクリックする



- 4 ステップ1. IPフィルタリングの設定 で「有効」を選択する



IPフィルタリングを「有効」にすると、「ステップ2」で設定する範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

- 5 「ステップ2」で、プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を設定する



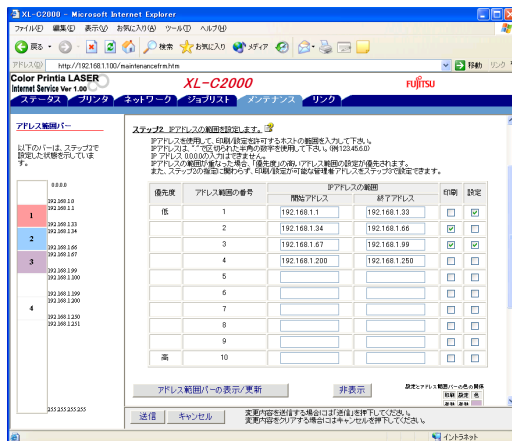
- ・ 印刷 / 設定を許可するホストの範囲を IP アドレスを使用して、入力してください。
- ・ IPアドレスは、“.”で区切られた半角の数字を使用してください。
- ・ IPアドレス0.0.0.0は、入力できません。
- ・ IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ・ ステップ2の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

## 6 印刷 / 設定を許可するかどうかを設定する

チェックをつけた機能が有効になります。

印刷：印刷が可能です。

設定：Color Printia LASER Internet Serviceからの設定および変更が可能です。



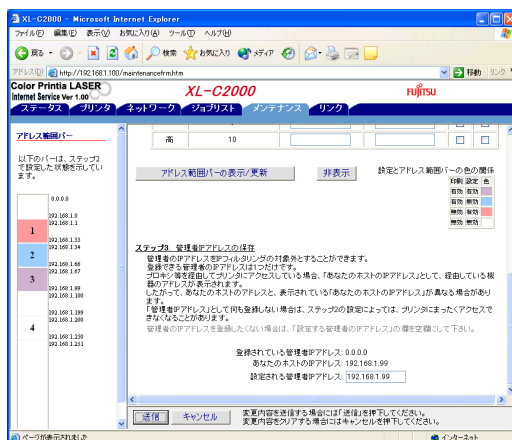
## 7 「アドレス範囲バーの表示 / 更新」をクリックする

設定を行ったIPアドレスの範囲が正しいかどうか確認します。

IPアドレスの範囲を修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直してください。

再度IPアドレスの範囲を確認する場合は、「アドレス範囲バーの表示 / 更新」をクリックします。

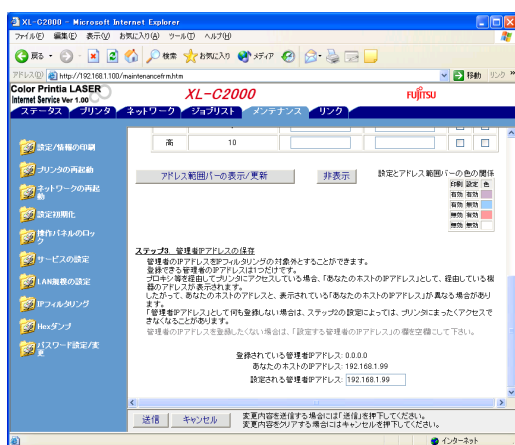
5



## 8 「ステップ2」でアクセスを制限するIPアドレスの設定が完了したら、「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を確認する

## ガイド

- ・「設定される管理者IPアドレス」に入力したIPアドレスは、IPフィルタリングの対象外となります。ただし、登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
- ・プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
- ・「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- ・管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。



9 「ステップ1」から「ステップ3」の設定を確認し、〔送信〕をクリックする

10 〔1つ前のページ〕をクリックする  
設定された内容を確認してください。



# 第6章

## カラーデータ印刷時の色の設定



この章では、カラーデータを印刷する時に色を調整する方法について説明しています。

カラー調整ユーティリティについて .....	142
カラー調整を行う .....	144
色見本印刷ユーティリティについて .....	154
色見本を印刷する .....	156

# カラー調整ユーティリティについて

カラー調整ユーティリティは、ディスプレイ上に表示される色とプリンタで出力される色が近づくように色を調整するソフトウェアです。ディスプレイに表示された色とプリンタで出力した色を比較し、色を調整します。



カラー調整ユーティリティで設定した値は、印刷時にプリンタのプロパティの〔カラー〕タブの「カラー調整」で選択することができます。

## 動作環境

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003  
日本語版

## インストール

プリンタソフトウェアCD-ROM 内のルートディレクトリに入っているSetup.exeを実行し、カラー調整ユーティリティのインストールを行います。



Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

- 1 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする
- 2 〔スタート〕-〔ファイル名を指定して実行〕の順にクリックする
- 3 〔名前〕にCD-ROMドライブ名と「Setup.exe」と入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROMドライバがFの場合、「F:¥SETUP.EXE」と入力してください。）

富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動します。

- 4 「使用許諾契約」を読み〔同意する〕をクリックする
- 5 「添付ソフトウェアのインストール」を選択し、〔選択〕をクリックする
- 6 「カラー調整ユーティリティ」を選択し、〔インストール〕をクリックする
- 7 セットアップウィザードが起動したら、〔次へ〕をクリックする
- 8 インストール先のフォルダを確認し、〔次へ〕をクリックする
- 9 プログラムフォルダ名 ( :〔FUJITSU〕)を確認し、〔次へ〕をクリックする
- 10 〔完了〕をクリックする
- 11 富士通Printia LASERシリーズセットアップの〔終了〕をクリックする

以上で、インストールは完了です。

## ▼ カラー調整を行う

ディスプレイに表示される色とプリンタで出力される色が近づくように調整します。調整には、基本となる色を1色ずつ調整する方法と、既存の色の組み合わせを微調整する方法があります。

### カラー調整ユーティリティを起動する

- 1 [スタート]-[プログラム](WindowsXP/Windows Server 2003では[すべてのプログラム])- [FUJITSU] - [カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択する
- 2 [プリンタ選択]ダイアログが表示されたら、使用するプリンタを選択し、[OK]をクリックする

### 用紙をセットする

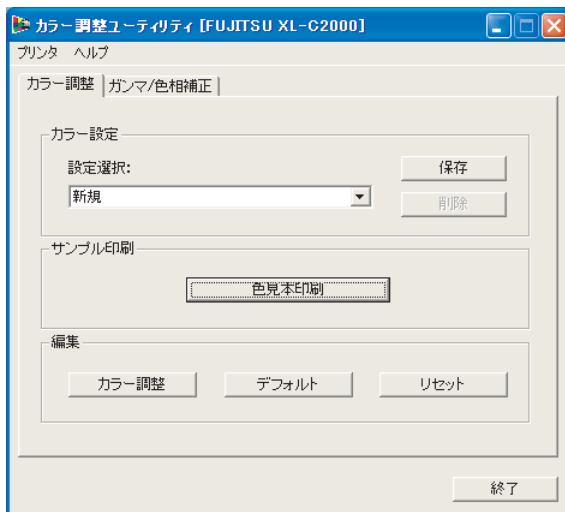
- 1 B5サイズ以上の用紙をトレイ1にセットする
- 2 プリンタのオペレータパネルの「メディアメニュー」で、セットした用紙の用紙サイズを選択する



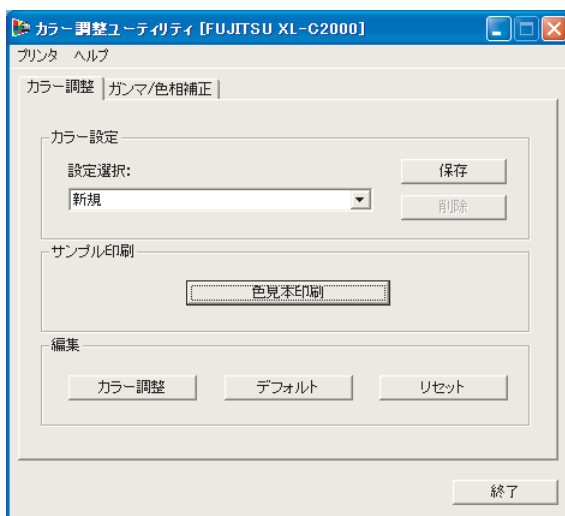
参照

設定方法については、『XL-C2000取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照してください。

## 基本色のカラーを調整する



- 1 「カラー調整」タブで「色見本印刷」をクリックする  
「色見本サンプル」が印刷されます。



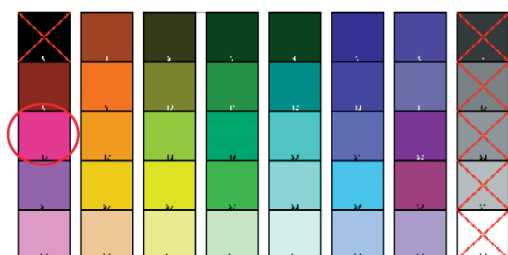
- 2 「カラー調整」をクリックする  
「パレットカラー調整」ダイアログが表示されます。



### 3 「テスト印刷」をクリックする

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

調整対象色サンプル



〔パレットカラー調整〕ダイアログ

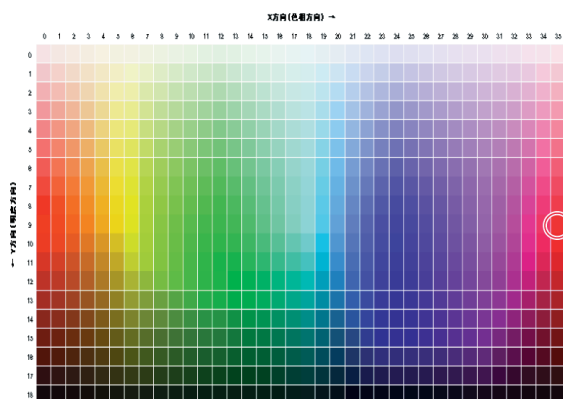


### 4 印刷された「調整対象色サンプル」と、ディスプレイに表示された〔パレットカラー調整〕ダイアログのパレットを比較し、異なる色があった場合調整を行う

（左図は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

#### ガイド

×印がついている色は調整できません。

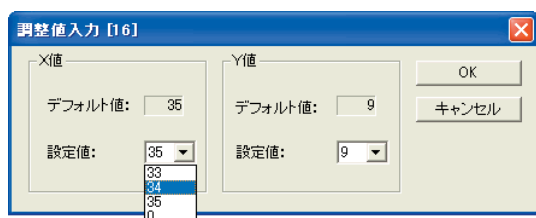


5 ディスプレイに表示された〔パレットカラー調整〕ダイアログの調整対象色と一致する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値を確認する



6 ディスプレイに表示された〔パレットカラー調整〕ダイアログの調整対象色をクリックする

〔調整値入力〕ダイアログが表示されます。



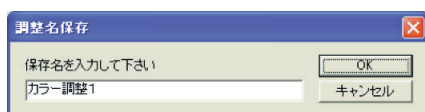
7 手順 5 で確認した X 値と Y 値を選択し、〔OK〕をクリックする



8 「テスト印刷」をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」と「パレットカラー調整」ダイアログの調整対象色とが一致しているか確認し、「設定」をクリックする

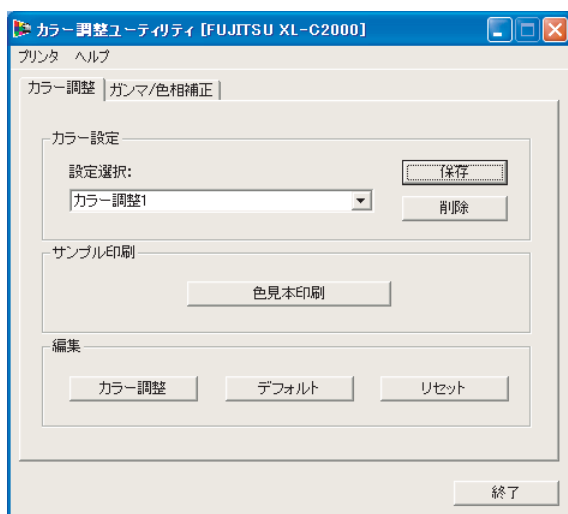
他の色を調整する場合手順5～手順8を繰り返して他の色を調整します。

9 「保存」をクリックする



10 「調整名保存」ダイアログで設定の名前を入力し、「OK」をクリックする

保存したカラー調整名が「設定選択」に表示されることを確認してください。



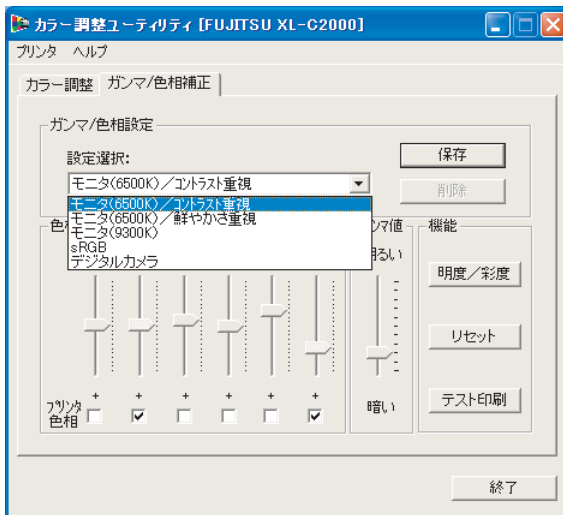
## ガイド

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。「設定選択」にカラー調整名が表示されるのを確認し、「終了」をクリックしてください。

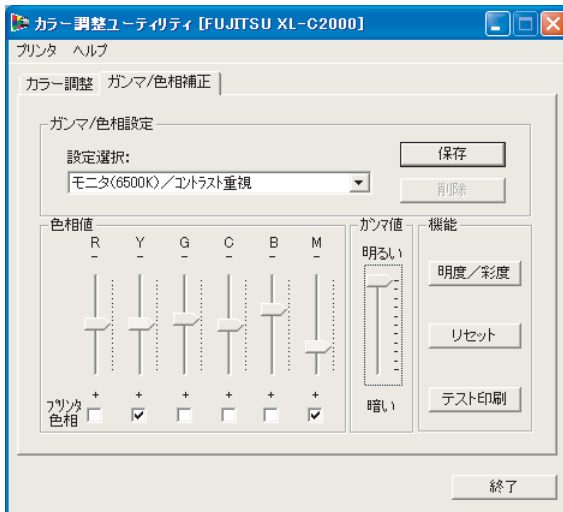
11 「終了」をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了する



## 既存の組み合わせのカラーを調整する



1 [ガンマ/色相補正]タブ  
の「設定選択」で補正し  
たいカラー調整モードを  
選択する



## 2 「ガンマ値」「色相値」の 各スライドバーの値を変 更して調整する

色相スライドバーの説明	
R：赤	C：シアン
Y：黄色	B：青
G：緑	M：マゼンタ

### ガイド

- ・〔ガンマ値〕を上方向に調整するほど明るくなります。
- ・〔色相値〕は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Ｙ（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすとＧ（緑）に近づき、（－）方向に動かすとＲ（赤）に近づきます。
- ・〔プリンタ色相〕にチェックを付けると、プリンタの標準（印刷トナー）の色相に一致させることができ、以下のよう印刷します。

色相	印刷トナーの割合
R	イエロー 50%+ マゼンタ 50%
Y	イエロー 100%
G	シアン 50%+ イエロー 50%
C	シアン 100%
B	マゼンタ 50%+ シアン 50%
M	マゼンタ 100%



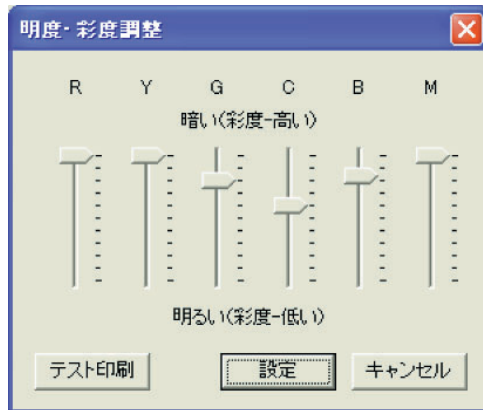
### 3 〔テスト印刷〕をクリックする

「調整確認サンプル」が印刷されます。

### 4 調整結果を確認する

明度、彩度を調整する場合手順5に進みます。

調整を終了する場合手順8に進みます。



## 5 「明度／彩度」をクリックする

「明度・彩度調整」ダイアログが表示されます。

## 6 各スライドバーの値を変更して調整する

### ガイド

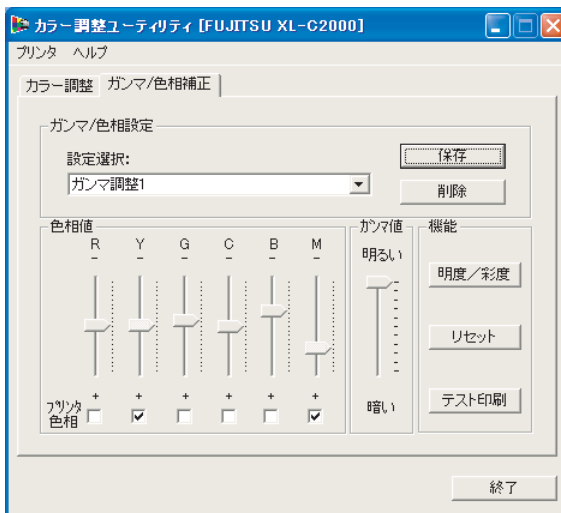
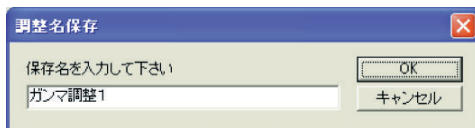
スライドバーを上方向に調整すると暗くなり、彩度は高くなります。

## 7 「テスト印刷」をクリックして調整結果を確認し、「設定」をクリックする

## 8 「保存」をクリックする

## 9 「調整名保存」ダイアログで設定名を入力し、「OK」をクリックする

「設定選択」に保存したカラー調整名が表示されることを確認してください。



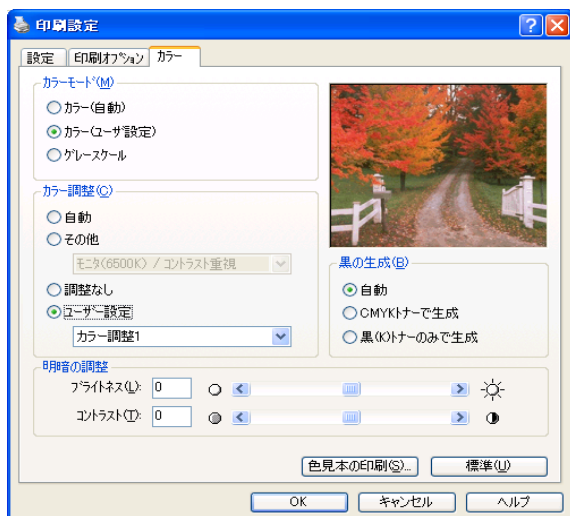
### ガイド

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。「設定選択」にカラー調整名が表示されるのを確認し、「終了」をクリックしてください。

- 10 [終了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了する

## アプリケーションから印刷する際の指定

- 1 アプリケーションの〔ファイル〕メニューの〔印刷〕を選択する
- 2 〔プロパティ〕をクリックする
- 3 〔カラー〕タブ-〔カラーモード〕-〔カラー(ユーザー設定)〕を選択する
- 4 〔カラー調整〕の〔ユーザー設定〕にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択する



- ・ CMYKカラースペースの印刷データに対しては、カラー調整は適用されません。
- ・ サーバーを経由した共有プリンタでは、カラー調整ユーティリティを使用することはできません。
- ・ カラー調整ユーティリティには、調整可能範囲があります。ご希望の調整ができないことがあります。

## アンインストール

インストールした「カラー調整ユーティリティ」が不要になった場合は、「カラー調整ユーティリティ」をアンインストールすることができます。

ここでは、〔アプリケーションの追加と削除〕を使用して、アンインストールを行います。Windows 98を例に説明します。

- 1 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕の順に選択する (Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕)  
〔コントロールパネル〕が表示されます。

- 2 〔コントロールパネル〕の〔アプリケーションの追加と削除〕 (Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔プログラムの追加と削除〕) をダブルクリックする  
〔アプリケーションの追加と削除プロパティ〕が表示されます。

- 3 リストの中から〔FUJITSU カラー調整ユーティリティ〕を選択し、〔追加と削除〕をクリックする  
〔ファイル削除の確認〕ダイアログボックスが表示されます。

- 4 〔OK〕をクリックする  
アンインストールが終了すると、アンインストールの終了を知らせるダイアログボックスが表示されます。

以上で、アンインストールは終了です。

# 色見本印刷ユーティリティについて

色見本印刷ユーティリティは、プリンタでRGB色の見本印刷を行うためのソフトウェアです。

アプリケーションで色を指定する際に、色見本印刷ユーティリティで印刷した色見本を元にRGB値を指定することで、希望どおりの色で印刷することができます。

## 動作環境

Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版



Windows 95をご使用の場合、色見本印刷はプリンタドライバにある「色見本印刷」をご利用ください。ただし、プリンタドライバの「色見本印刷」には、カスタム色見本を作成する機能はありません。

## インストール

プリンタソフトウェアCD-ROM内のルートディレクトリに入っているSetup.exeを実行し、色見本印刷ユーティリティのインストールを行います。



Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

- 1 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする
- 2 「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする
- 3 「名前」にCD-ROMドライブ名と「Setup.exe」と入力し、「OK」をクリックする（CD-ROMドライブがFの場合、「F:¥SETUP.EXE」と入力してください。）  
富士通Printia LASERシリーズセットアップが起動します。

## 4 「使用許諾契約」を読み〔同意する〕をクリックする



『XL-C2000取扱説明書』第10章 プリンタドライバの設定／印刷「〔カラー〕タブ（ユーザ設定）」を参照

## 5 「添付ソフトウェアのインストール」を選択し、〔選択〕をクリックする

## 6 「色見本印刷ユーティリティ」を選択し、〔インストール〕をクリックする

ディスプレイの指示にしたがってインストールを行ってください。

## 7 セットアップウィザードが起動したら、〔次へ〕をクリックする

## 8 インストール先のフォルダを確認し、〔次へ〕をクリックする

## 9 プログラムフォルダ名（：〔FUJITSU〕）を確認し、〔次へ〕をクリックする

## 10 〔完了〕をクリックする

## 11 富士通Printia LASERシリーズセットアップの〔終了〕をクリックする

以上で、インストールは完了です。

## 色見本を印刷する

色見本印刷ユーティリティは、あらかじめ用意された168色のシンプル色見本、またはカスタマイズしたカスタム色見本が印刷できます。ここでは、印刷方法とカスタマイズの方法を説明します。

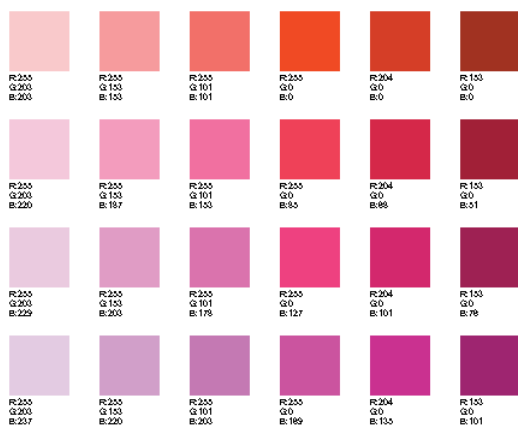
### 色見本印刷ユーティリティを起動する

- 1 [スタート]-[プログラム](WindowsXP/Windows Server 2003は[すべてのプログラム])- [fujitsu] - [色見本印刷ユーティリティ] - [色見本印刷ユーティリティ] を選択する

### シンプル色見本を印刷する

- 1 [ファイル] - [シンプル色見本] を選択する
- 2 [ファイル] - [プリント] を選択する
- 3 プリンタを選択する

- 4 [印刷] をクリックする  
色見本が印刷されます。(3ページ：168色)





## カスタム色見本を作成する

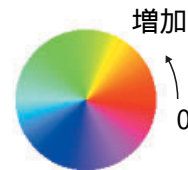
### 1 〔ファイル〕 - 〔カスタム色見本〕を選択する



### 2 希望の色がモニタ画面で表示されるまで3つのバーを調整し、〔OK〕をクリックする

色相

色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。



彩度

鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色(グレー)となります。



彩度 100

彩度 0

明度

濃さを変更します。明度が最大(100%)の場合には白、最も暗くなる(0%)と黒となります。



明度 0

明度 100

### 3 〔ファイル〕 - 〔プリント〕を選択する

### 4 プリンタを選択する

### 5 〔印刷〕をクリックする

プリンタから1ページ印刷されます。

- 6** 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順1から繰り返す

### アプリケーションで希望の色を印刷する

- 1** 印刷された色見本から印刷したい色を選択し、RGB 値をメモする
- 2** 手順1でメモしたRGB値をアプリケーションで設定し、希望の色を印刷する



- ・ アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
- ・ カラーマッチング機能を持っているアプリケーションや、RGB以外の色空間で色を扱うアプリケーションなど、お使いのアプリケーションによっては色見本のRGB値を入力できない場合があります。  
また、入力可能であっても実際に印刷された結果が希望する色見本の色と異なる場合があります。

## アンインストール

インストールした「色見本印刷ユーティリティ」が不要になった場合は、「色見本印刷ユーティリティ」をアンインストールすることができます。

ここでは、〔アプリケーションの追加と削除〕を使用して、アンインストールを行います。Windows 98を例に説明します。

- 1 〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕の順に選択する (Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕)  
〔コントロールパネル〕が表示されます。

- 2 〔コントロールパネル〕の〔アプリケーションの追加と削除〕 (Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔プログラムの追加と削除〕) をダブルクリックする  
〔アプリケーションの追加と削除プロパティ〕が表示されます。

- 3 リストの中から〔FUJITSU 色見本印刷ユーティリティ〕を選択し、〔追加と削除〕をクリックする  
〔ファイル削除の確認〕ダイアログボックスが表示されます。

- 4 〔OK〕をクリックする  
アンインストールが終了すると、アンインストールの終了を知らせるダイアログボックスが表示されます。

以上で、アンインストールは終了です。



# 第7章

## こんなときには

この章では、ネットワークプリンタ使用時および色の調整を行うソフトウェア使用時に発生するトラブルとその対処方法を説明しています。


プリンタ設置時のトラブル .....	162
プリンタ使用時のトラブル .....	166
共通のトラブル .....	166
FUJITSU LPRユーティリティ使用時のトラブル...	171
LPRポート使用時のトラブル .....	173
Color Printia LASER Internet Service使用時のトラブル.....	174
メールの受信時のトラブル .....	176
エラー情報 .....	177
メッセージ表 .....	178
カラーデータ印刷時のトラブル .....	181
カラー調整ユーティリティ使用時のトラブル...	181
色見本印刷ユーティリティ使用時のトラブル...	181
ネットワーク用語の解説 .....	182



# プリンタ設置時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの〔O〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	プリンタLANケーブルは正しく接続されていますか。	プリンタの電源を入れてからプリンタLANケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。再度、電源スイッチの〔O〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを接続してから電源スイッチを〔I〕側に倒して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルの種類は正しいですか。	ツイストペアケーブルを使用してください。 100Mbbsで使用される場合は、カテゴリ5のツイストペアケーブルを使用してください。
	プリンタのEthernetタイプは正しいですか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK MENU」-「HUB LINK SETTING」を〔AUTO NEGOTIATE〕にしてプリンタLANケーブルとハブユニットを接続してください。</li> <li>プリンタ背面のTESTスイッチを3秒以上押し続けてから指を離し、設定内容を印刷してください。</li> <li>Network Information(2ページ目)の「General Information」-「Hub Link Status」が〔OK(***)〕と記載されていれば正しく設定されています。(〔Link Fail〕の場合は、④に進んでください。)</li> </ol> <div data-bbox="779 1280 1033 1425" data-label="Image"> <p>Network Information (2ページ目)</p> <p>General Information</p> <p>Network Function Name AL-C2000</p> <p>MAC Address 00007C460C00</p> <p>IPv4 Link Status Auto Negotiation</p> <p>Hub Link Status <b>OK(100BASE-TX Full)</b></p> <p>Network status</p> <p>Transmitted Packets Received Packets</p> <p>Total Packets Received Untransmitted Packets</p> <p>Bad Packets Received</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK MENU」-「HUB LINK SETTING」をハブユニットのEthernetタイプに合わせて設定し直してください。</li> <li>2→3の手順を行い、プリンタのEthernetタイプを正しく設定してください。</li> </ol>



**参照** 取扱説明書「第9章 オペレータパネルの操作」を参照

症 状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない	「NETWORK MENU」 - 「HUB LINK SETTING」の設定変更後、プリンタの電源を切り、再度プリンタの電源をいれまし たか。	「HUB LINK SETTING」の設定変更後に、プリンタの電源を再投入しない場合、ネットワークに接続できないことがあります。 「HUB LINK SETTING」の設定変更後は、かならず電源を再投入してください。ただし、設定変更後に「オンライン」 - 「ネットワーク ショキカチュウ」 - 「オンライン」と表示が切り替わるまで2～5分かかることがあります。その間は、電源を再投入しないでください。
	他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していませんか。	プリンタがIPアドレスを自動取得設定していても、同一ネットワーク内の他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していると、正しくネットワークに接続できず、IPアドレスが「192.168.100.100」になります。設定内容の一覧や他のネットワーク機器を確認の上、IPアドレスを正しく設定してください。
	IPアドレスなどのネットワーク環境が、正しく設定されていますか。	IPアドレスなどが変更されている可能性もあります。設定内容の一覧の印刷（プリンタ背面のTESTスイッチを3秒間以上押してから指を離します）を行い、次の項目を確認してください。「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。また、ネットワーク環境から移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が違っている場合は、正しく設定してください。   <b>参照</b> 「設定内容の一覧を印刷する」（20 ページ）を参照 「ネットワーク機能を初期化する」（19 ページ）を参照 「IPアドレスを設定する」（21 ページ）を参照


症 状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない(ネットワーク障害が発生する)	プリンタのEthernetタイプは正しいですか。	<p>プリンタのEthernetタイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。ハブユニットの規格を調べた上で、次のように対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 プリンタ LAN ケーブルを抜いてください。(ネットワーク障害は解消されません。)</li> <li>2 本プリンタの Ethernet タイプを正しく設定してください。</li> <li>3 プリンタの電源スイッチを〔O〕側に倒して、電源を切ってください。</li> <li>4 プリンタ LAN ケーブルを接続してください。</li> <li>5 プリンタの電源スイッチを〔I〕側に倒して、電源を入れてください。(ネットワーク障害は解消され、本プリンタも使用できます。)</li> </ol> <p> <b>参照</b> 「ネットワークに接続するときの注意事項」(13 ページ)を参照</p>
IPアドレスが、プリンタの電源を入れるたびに変わってしまう	プリンタのIPアドレスをDHCPサーバから取得するように設定されていませんか。	<p>固定のIPアドレスを割り当てる場合は、オペレータパネルでIPアドレスのセットアップ方法をパネルに設定し、割り当てるIPアドレスを入力してください。</p> <p> <b>参照</b> 「IPアドレスを設定する」(21 ページ)を参照</p>
Windows NT4.0/Windows 2000/XP/Windows Server 2003でプリンタドライバをインストール中に、ポートを追加できない	管理者権限を持つユーザ名でログインしていますか。	<p>管理者の権限がないと、ポートを追加できません。ログインし直してください。</p>
Windows NT4.0でプリンタドライバをインストールできない	Windows NT4.0に〔Microsoft TCP/IP印刷〕を組み込んでいますか。	<p>〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔コントロールパネル〕、〔ネットワーク〕の順にクリックして、〔ネットワーク〕ウィンドウを表示します。〔サービス〕タブの〔ネットワークサービス〕に〔Microsoft TCP/IP印刷〕が表示されるかどうかを確認してください。</p> <p>表示されない場合は、〔追加〕をクリックし、〔Microsoft TCP/IP印刷〕を追加してください。なお、このときWindows NT4.0のCD-ROMが必要になります。</p>








症 状	チェック項目	対処方法
Windows 2000 でプリンタドライバをインストールできない	Windows 2000に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を組み込んでいますか。	「スタート」メニューの「設定」から、「ネットワークとダイヤルアップ接続」、 「ローカルエリア接続」、 「プロパティ」の順にクリックします。「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されるので、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が選択されているかどうかを確認してください。 選択されていない場合は、チェックボックスをクリックし、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を追加してください。





# プリンタ使用時のトラブル


## ▼ 共通のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの〔I〕側を押して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいますか。	電源スイッチの〔O〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	プリンタLANケーブルは正しく接続されていますか。	プリンタの電源を入れてからプリンタLANケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。再度、電源スイッチの〔O〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを接続してから電源スイッチを〔I〕側に倒して電源を入れてください。
	IPアドレスなどのネットワーク環境が、正しく設定されていますか。	<p>IPアドレスなどが変更されている可能性もあります。</p> <p>設定内容の一覧の印刷（プリンタ背面のTESTスイッチを3秒間以上押してから指を離します）を行い、次の項目を確認してください。</p> <p>「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。</p> <p>また、ネットワーク環境から移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。</p> <p>設定が違っている場合は、正しく設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「設定内容の一覧を印刷する」（20 ページ）を参照  「ネットワーク機能を初期化する」（19 ページ）を参照  「IPアドレスを設定する」（21 ページ）を参照</p>






症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない	IPフィルタリングにより印刷が制限されていませんか。	印刷制限が設定されていないかどうかを確認してください。  <b>参照</b> 「Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」(93 ページ) を参照
印刷できない (Windows 95/98/Meの場合)	パソコン側にアダプタが認識されていますか。	〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク〕 - 〔ネットワークの設定タブ〕の順に選択し、〔現在のネットワークコンポーネント〕で〔TCP/IP → ***〕(***はアダプタ名)が表示されているか確認してください。  <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 95/98/Meの場合」(42 ページ) を参照
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク〕 - 〔ネットワークの設定タブ〕 - 〔現在のネットワークコンポーネント〕 - 〔TCP/IP → ***〕(***はアダプタ名)の〔プロパティ〕で〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔ゲートウェイ〕を正しく設定してください。  <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 95/98/Meの場合」(42 ページ) を参照




症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (Windows NT4.0の場合)	パソコン側にTCP/IPが組込まれていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク〕 の順に選択し、〔プロトコル〕 タブの 〔ネットワークプロトコル〕 で 〔TCP/IPプロトコル〕 が表示されているか確認してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」(46 ページ) を参照</p>
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク〕 - 〔プロトコル〕 タブ-〔ネットワークプロトコル〕-〔TCP/IPプロトコル〕 の 〔プロパティ〕 で 〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕 を正しく設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」(46 ページ) を参照</p>
印刷できない (Windows 2000の場合)	パソコン側にTCP/IPが組込まれていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワークとダイヤルセットアップ〕 - 〔ローカルエリア接続〕 の順に選択し、〔プロパティ〕 に 〔インターネットプロトコル(TCP/IP)] が表示されているか確認してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合」(48 ページ) を参照</p>
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワークとダイヤルセットアップ〕 - 〔ローカルエリア接続〕 - 〔プロパティ〕 - 〔インターネットプロトコル(TCP/IP)] の 〔プロパティ〕 で 〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕 を正しく設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合」(48 ページ) を参照</p>

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (Windows XPの場合)	パソコン側にTCP/IPが 組込まれていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワークとインターネット接続〕 - 〔ネットワーク接続〕 - 〔ローカルエリア接続〕の順に選択し、〔プロパティ〕に〔インターネットプロトコル(TCP/IP)〕が表示されているか確認してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合」(48 ページ)を参照</p>
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワークとインターネット接続〕 - 〔ローカルエリア接続〕 - 〔プロパティ〕 - 〔インターネットプロトコル(TCP/IP)〕の〔プロパティ〕で〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕を正しく設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合」(48 ページ)を参照</p>
印刷できない (Windows Server 2003の場合)	パソコン側にTCP/IPが 組込まれていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク接続〕 - 〔ローカルエリア接続〕の順に選択し、〔プロパティ〕に〔インターネットプロトコル(TCP/IP)〕が表示されているか確認してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合」(48 ページ)を参照</p>
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ローカルエリア接続〕 - 〔プロパティ〕 - 〔インターネットプロトコル(TCP/IP)〕の〔プロパティ〕で〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔デフォルトゲートウェイ〕を正しく設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合」(48 ページ)を参照</p>

症 状	チェック項目	対処方法
オペレータパネルでの設定ができない	「操作パネルのロック」になっていませんか。	操作パネルのロックの設定がされていないかどうかを確認してください。  <b>参照</b> 「Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」(93 ページ) を参照
	パスワードを忘れてしまい、「Color Printia LASER Internet Service」の管理者モードの画面表示ができなため、「操作パネルのロック」が解除できない状態ですか。	どうしてもパスワードを思い出せない場合は、ネットワーク機能の初期化を行って、「Color Printia LASER Internet Service」の管理者モードの画面表示から、「操作パネルのロック」を解除してください。ネットワーク機能の初期化の手順は、「ネットワーク機能を初期化する」(19 ページ) を参照してください。ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

## ▼ FUJITSU LPRユーティリティ使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウの状態欄が〈未接続〉である)	FJLPR PortのIPアドレスは正しく設定されていますか。	メインウィンドウで、使用しているプリンタを選択してから〔リモートプリントメニュー〕－〔プリンタの再設定〕の順に選択し、〔IPアドレス〕がプリンタのIPアドレスを正しく設定してください。   <b>参照</b> 「FUJITSU LPRユーティリティの機能」「プリンタの再設定」(67 ページ) を参照
	メインウィンドウの〔プリンタ〕欄の名称と〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕(Windows XP/Windows Server 2003では、〔プリンタとFAX〕)フォルダの名称が一致していますか。	メインウィンドウの〔プリンタ〕欄の名称   〔プリンタ〕フォルダの名称   メインウィンドウの〔プリンタ〕欄の名称と〔プリンタ〕フォルダの名称が一致していない場合は、FUJITSU LPRユーティリティにてプリンタを削除し、〔プリンタの追加〕にて再設定を行うか、〔プリンタ〕フォルダの名称をメインウィンドウの〔プリンタ〕欄と同じ名称に変更してください。   <b>参照</b> 「FUJITSU LPRユーティリティの機能」「プリンタの追加」(62 ページ) を参照
	〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕(Windows XP/Windows Server 2003では、〔プリンタとFAX〕)フォルダからプリンタが削除されていませんか。	〔プリンタ〕フォルダからプリンタが削除されている場合は、FUJITSU LPRユーティリティでのプリンタも削除し、設定し直してください。   <b>参照</b> 「インストール」(52 ページ) を参照


症 状	チェック項目	対処方法
IPアドレスの検索/設定ができない	プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が〔DISABLE〕になっていませんか？	プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が〔DISABLE〕であれば、〔ENABLE〕に変更してください。  <b>参照</b> 『XL-C2000取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照
ジョブの自動転送ができない	転送先プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が〔DISABLE〕になっていませんか？	転送先プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が〔DISABLE〕であれば、〔ENABLE〕に変更してください。  <b>参照</b> 『XL-C2000取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照
プリンタのステータス表示ができない	プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が〔DISABLE〕になっていませんか？	プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が〔DISABLE〕であれば、〔ENABLE〕に変更してください。  <b>参照</b> 『XL-C2000取扱説明書』「第9章 オペレータパネルの操作」を参照



**参照** FUJITSU LPR ユーティリティ使用時の他の問題については、「共通のトラブル」（166 ページ）を参照してください。





## ▼ LPRポート使用時のトラブル


症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (Windows NT4.0の場合)	「Microsoft TCP/IP 印刷」サービスが設定されていますか。	<p>〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワーク〕の順に選択し、〔サービス〕タブの〔ネットワークサービス〕で「Microsoft TCP/IP印刷」が表示されるか確認してください。</p> <p>サービスが設定されていない場合は、設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」(46 ページ)を参照</p>
印刷できない (Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合)	IPアドレスでプリンタを正しく指定していますか。	<p>プリンタのIPアドレスにて、各オクテットの先頭を「0」にしていますか。</p> <p>「192.169.002.010」ではなく「192.169.2.10」のように設定してください。</p>






LPRポート使用時の他の問題については、「共通のトラブル」(166 ページ)を参照してください。

## Color Printia LASER Internet Service使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
Color Printia LASER Internet Serviceに接続できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの〔I〕側を押して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの〔O〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか。	インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合は、IPアドレスを使用して接続してください。
	IPアドレスは正しく入力されていますか。	<p>IPアドレスが変更されている可能性もあります。</p> <p>設定内容一覧の印刷（プリンタ背面のTESTスイッチを1秒間以上押してから指を離します）を行い、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「IP ADDRESS SET」：【MANUAL】に設定されていますか</li> <li>・「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。</li> </ul> <p>また、ネットワーク環境から移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。</p> <p>設定が違っている場合は、正しく設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「設定内容の一覧を印刷する」（20 ページ）を参照  「ネットワーク機能を初期化する」（19 ページ）を参照  「IPアドレスを設定する」（21 ページ）を参照</p>
Color Printia LASER Internet Serviceに接続できない	プロキシサーバを使用していますか。	<p>Webブラウザの設定で、プロキシサーバを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバを使用しないで接続するように設定してください。</p> <p> <b>参照</b> 「プロキシサーバを設定する」（99 ページ）を参照</p>

症 状	チェック項目	対処方法
〔ステータス更新〕が機能しない 各カテゴリタブでメニューの項目を選択しても、情報の画面が更新されない	使用しているパソコンのOSやWebブラウザは適切ですか。	Webブラウザのメニューを使用して、更新してみてください。 また、使用しているパソコンのOSやWebブラウザが適切かどうかを確認してください。   <b>参照</b> 「Color Printia LASER Internet Serviceの概要」(94 ページ)を参照
パスワードを忘れて、設定を変更できない	-	どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタネットワーク機能の初期化を行ってください。手順は、「ネットワーク機能を初期化する」(19 ページ)を参照してください。ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

## ▼ メールの受信時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
メールでエラーが通知されない	SMTPサーバは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。
	SMTPサーバのIPアドレスが、正しく入力されていますか。	Color Printia LASER Internet Serviceで正しい値を入力してください。  <u>参照</u> 「Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」 (93 ページ) を参照
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。	Color Printia LASER Internet Serviceで、メールで通知したい項目をチェックしてください。  <u>参照</u> 「Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」 (93 ページ) を参照
	送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。	Color Printia LASER Internet Serviceで、正しい送信先を指定してください。  <u>参照</u> 「Webサーバ機能 (Color Printia LASER Internet Service)」 (93 ページ) を参照

## ▼ エラー情報

Color Printia LASER Internet Service利用時に表示されるメッセージについて説明します。

トップページにおけるエラー情報、及び、ステータスウィンドウにおける表示メッセージは、エラーと警告に分けられます。（本情報は、E-Mailサービスで通知されるステータス情報と同一です。）

### トップページのエラー情報

- ・ エラー発生時：赤色のメッセージを表示
- ・ 警告発生時：黄色のメッセージを表示

### ステータスウィンドウの表示メッセージ（管理者モード）

ステータスウィンドウでは下記のとおりランプが点滅します。点滅しているランプをクリックするとメッセージが表示されます。

- ・ エラー発生時：赤（右側）ランプが点滅
- ・ 警告発生時：黄（真中）ランプが点燈

これらのメッセージは英語にて表示されますが、以下の内容を意味します。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージの発生要因が解除されるまで表示されないことがあります。

優先度は以下の表中の順に従います。

## ▼ メッセージ表

[illegible]



優先度	種別	エラー情報及びEmailメッセージ	メッセージ内容
(高)	エラー	Toner Sensor Error for Black	トナーセンサー（ブラック）に異常が発生しています。
	エラー	Toner Sensor Error for Yellow	トナーセンサー（イエロー）に異常が発生しています。
	エラー	Toner Sensor Error for Magenta	トナーセンサー（マゼンタ）に異常が発生しています。
	エラー	Toner Sensor Error for Cyan	トナーセンサー（シアン）に異常が発生しています。
	エラー	Toner Out for Black	ブラックトナー切れです。
	エラー	Toner Out for Yellow	イエロートナー切れです。
	エラー	Toner Out for Magenta	マゼンタトナー切れです。
	エラー	Toner Out for Cyan	シアントナー切れです。
	エラー	Paper Out	トレイ1、トレイ2、マルチパーパストレイ（MPトレイ）に用紙がありません。
	エラー	Paper Cassette Open for Tray1	トレイ1が正しくセットされていません。
	エラー	Paper Out for MP/Front Tray	マルチパーパストレイ（MPトレイ）に用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray1	印刷できません。トレイ1に用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray2	印刷できません。トレイ2に用紙がありません。
	警告	Size Mismatch for MP/Front Tray	マルチパーパストレイ（MPトレイ）の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なります。
	警告	Size Mismatch for Tray1	トレイ1の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なります。
	警告	Size Mismatch for Tray2	トレイ2の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なります。
	エラー	Paper Request for MP/Front Tray	印刷できません。マルチパーパストレイ（MPトレイ）、手差しトレイに用紙がありません。
(低)	警告	Drum Life Near Error for Black	ドラム（ブラック）の寿命寸前です。
	警告	Drum Life Near Error for Yellow	ドラム（イエロー）の寿命寸前です。

優先度	種別	エラー情報及びEmailメッセージ	メッセージ内容
(高)  低	警告	Drum Life Near Error for Magenta	ドラム（マゼンタ）の寿命寸前です。
	警告	Drum Life Near Error for Cyan	ドラム（シアン）の寿命寸前です。
	警告	Toner Near Out for Black	ブラックトナー切れ寸前です。
	警告	Toner Near Out for Yellow	イエロートナー切れ寸前です。
	警告	Toner Near Out for Magenta	マゼンタトナー切れ寸前です。
	警告	Toner Near Out for Cyan	シアントナー切れ寸前です。
	警告	Belt Life Near Error	ベルトユニットの寿命寸前です。
	警告	Fuser Life Near Error	定着器の寿命寸前です。
	警告	Belt Life Warning	まもなくベルトユニットの寿命です。
	警告	Fuser Life Warning	まもなく定着器の寿命です。
	警告	Drum Life Warning for Black	もうすぐドラム（ブラック）の寿命です。
	警告	Drum Life Warning for Yellow	もうすぐドラム（イエロー）の寿命です。
	警告	Drum Life Warning for Magenta	もうすぐドラム（マゼンタ）の寿命です。
	警告	Drum Life Warning for Cyan	もうすぐドラム（シアン）の寿命です。
	警告	Toner Low for Black	ブラックトナーの残量が少なくなっています。
	警告	Toner Low for Yellow	イエロートナーの残量が少なくなっています。
	警告	Toner Low for Magenta	マゼンタトナーの残量が少なくなっています。
	警告	Toner Low for Cyan	シアントナーの残量が少なくなっています。



# カラーデータ印刷時のトラブル

## ▼ カラー調整ユーティリティ使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
カラー調整ユーティリティが使用できない	管理者権限でWindowsにログオンしていますか。	Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 でご使用になる場合は、管理者権限でWindowsにログオンしてください。
	サーバーを経由した共有プリンタではありませんか。	サーバーを経由した共有プリンタでは、カラー調整ユーティリティをご使用できません。ローカル接続するか、IPアドレスを指定してプリンタをご使用ください。  <div>  <b>参照</b> 『XL-C2000取扱説明書』「第5章 プリンタドライバのインストール」を参照    <b>参照</b> 「第3章 IPアドレスを指定したネットワーク印刷の設定」(37 ページ) を参照 </div>
ディスプレイと同じ色に調整されない	カラー調整を登録してから期間がたっていませんか。	再度カラー調整を行ってください。

## ▼ 色見本印刷ユーティリティ使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
希望する色が印刷できない	色見本を印刷したときのプリンタドライバの設定とアプリケーションで印刷する際のプリンタドライバの設定を合わせて印刷する際のプリンタドライバの設定は同じですか。	色見本を印刷したときのプリンタドライバの設定とアプリケーションで印刷する際のプリンタドライバの設定を合わせてください。 プリンタドライバの設定が違っていたり、わからない場合には、色見本を再度印刷してください。
	色見本を印刷してから期間がたっていませんか。	色見本を再度印刷してください。

# ネットワーク用語の解説

本プリンタをネットワークで利用するときに使用される用語について説明します。

## DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後はサーバにIPアドレスを戻します。

## DNS (Domain Name System)

ホスト名からIPアドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

## HTTP (HyperText Transfer Protocol)

インターネット上のWebサーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。HTML (HyperText Markup Language) 文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。

IETF (Internet Engineering Task Force) によってRFCとして規格化されています。

## LPR (Line Printer Remote)

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003では、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

## MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータをMIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本プリンタはMIB- II およびPrinterMIBをサポートしています。

## SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用のSNMP管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報であるMIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。



# 索引

## C

Color Printia LASER Internet Service	
- を使用する .....	97, 105
概要 .....	94
画面構成 .....	96
機能一覧 .....	107
ジョブリストタブ .....	122
ステータスタブ .....	109
設定できる項目 .....	101
設定を変更する .....	129
ネットワークタブ .....	119
プリンタタブ .....	113
メンテナンスタブ .....	124
リンクタブ .....	127

## D

DHCP サーバ .....	21, 40
----------------	--------

## E

E メール	
- の設定 .....	131

## F

FUJITSU LPR ユーティリティ .....	16
- の機能 .....	57
- を使用しない場合 .....	69
- を使用する場合 .....	52
アンインストール .....	68
インストール .....	52

## I

IP アドレス .....	21
- を取得する .....	40
- を設定する .....	21, 40
自動再設定 .....	66
IP フィルタリング .....	138

## L

LAN ケーブルを接続する .....	18
---------------------	----

## S

SNMP トラップ .....	136
System Name	
- の設定 .....	130

## T

TCP/IP .....	17
TCP/IP プロトコル .....	42

## あ

アクセス制限 .....	138
--------------	-----

## い

一時停止 .....	61
色見本印刷ユーティリティ	
- について .....	154
- を起動する .....	156
アンインストール .....	159
インストール .....	154
色見本を印刷する .....	156

## か

カラー調整ユーティリティ	
- について .....	142
- を起動する .....	144
アンインストール .....	153
インストール .....	142
カラー調整を行う .....	144
管理者モード .....	107
- 時の画面 .....	108

## し

ジョブ	
削除 .....	59
自動転送 .....	65
転送 .....	59
表示 .....	59
ジョブリスト .....	122

## す

ステータス .....60, 109

## せ

### 設定

IP アドレス .....24  
 IP アドレスの取得方法 .....23  
 ゲートウェイアドレス .....26  
 サブネットマスク .....25  
 設定内容一覧 .....20, 22, 27, 41

## た

ダウンロード .....58

## つ

通常モード .....107  
 - 時の画面 .....107

## ね

ネットワーク .....119  
 - に接続する .....18  
 機能を初期化する .....19  
 使用できる環境 .....12  
 接続するときの注意事項 .....13  
 接続例 .....16  
 ネットワーク環境 .....38  
 - で使用する .....38  
 パソコン側の設定を行う .....42  
 プリンタ側の設定を行う .....39

## は

パスワード  
 - の初期化 .....130  
 - の変更 .....129

## ふ

プリンタ .....113  
 - の再設定 .....67  
 - の削除 .....64  
 - のステータス .....60  
 - の追加 .....62  
 プリントドライバ  
 - を設定する .....32  
 プリンタポート  
 - を設定する .....51  
 プロキシサーバ  
 - を設定する .....99

## め

メンテナンス .....124

## り

リンク .....127

---

# ページプリンタ XL-C2000

## オンラインマニュアル

B5WY-0591-01 Z0-02

発行日 2003年8月

発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のため予告なし変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。